

令和8年度 事業概要



茨城県教育研修センター



目 次

茨城県教育研修センターの概要	1
茨城県教育研修センターの事業	2
茨城県教育研修センター施設案内図	3
茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標	4
1 研修に関する事業	
(1) 研修体系	
ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系	10
イ キャリアステージに応じた教員研修	11
(2) 研修講座一覧（育成指標との対応）	12
(3) 市町村立学校事務職員の研修体系及び研修講座等一覧	16
(4) 研修講座の受講申込み	17
(5) Plantアカウントの事前確認	17
(6) 研修講座の受講可否	17
(7) 各種届の提出	18
(8) 研修履歴一覧の送付	18
(9) 研修講座資料等の提供方法	19
(10) 経費	19
(11) 緊急時の連絡方法	19
(12) 研修講座等日程一覧	20
(13) 研修講座実施要項	
ア 基本研修	32
イ 専門研修	
(ア) 悉皆研修	162
(イ) 推薦研修	
a 概要	201
b 実施要項	203
(ウ) 希望研修	
a 概要	213
b 実施要項	220
(14) 公開講義	275
(15) 特別研修	
ア 長期研修（内地留学）	278
イ スキルアップ研修	278
ウ 指導改善研修	278
2 教育研究に関する事業	279
3 研修支援に関する事業	281
4 教育相談に関する事業	284
5 教育情報の収集及び提供に関する事業	286
6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務	286
7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）	287
8 その他の事業	
(1) 茨城大学教職大学院との連携	290
(2) 常磐大学との連携	290
(3) 茨城キリスト教大学との連携	290

※ 本事業概要では、茨城県教育研修センターを、教育研修センター、研修センター、センターと略記しています。

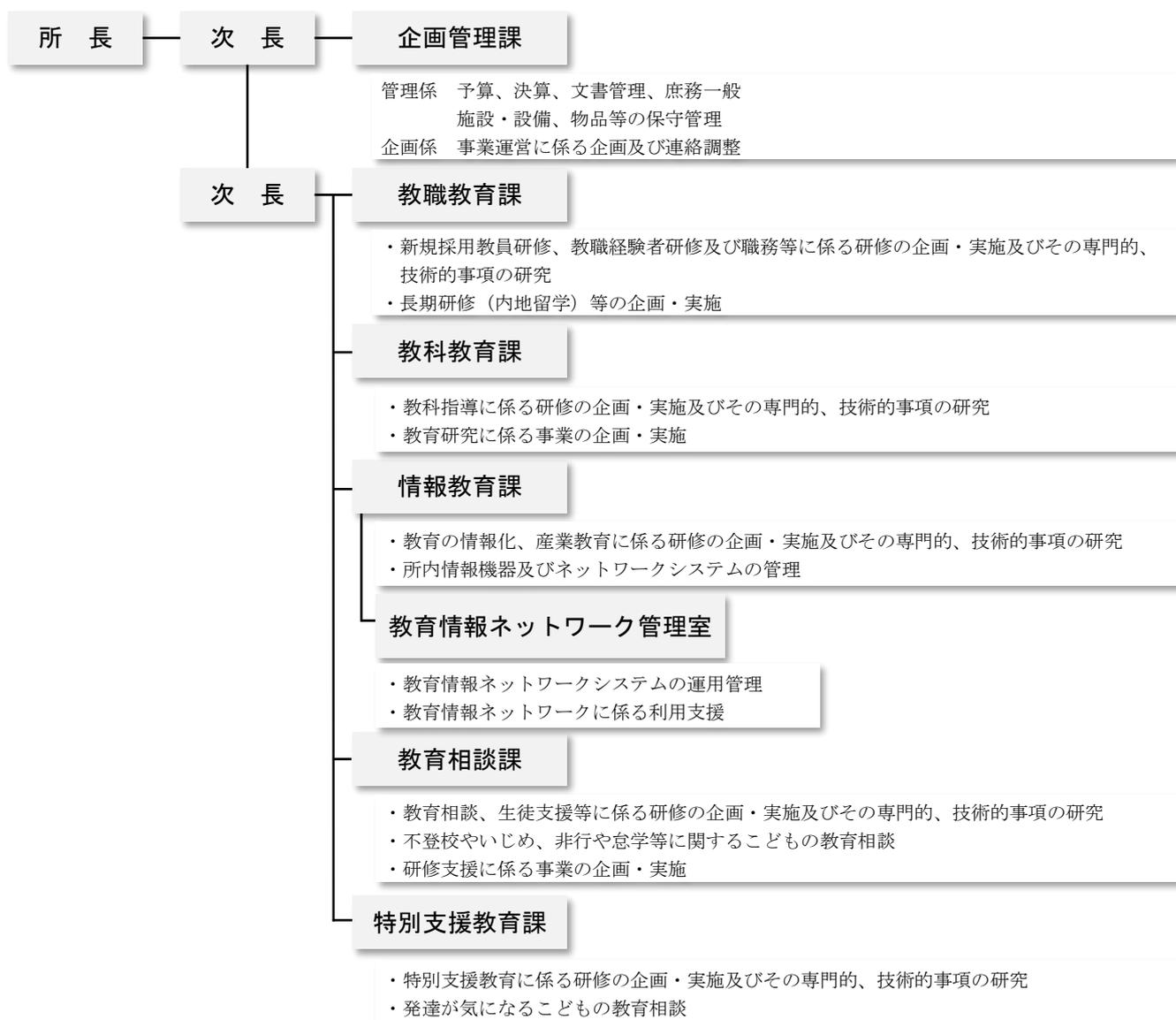
※ 本事業概要の内容（講師の役職名等を含む）は、令和8年2月13日現在の予定です。都合により変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

茨城県教育研修センターの概要

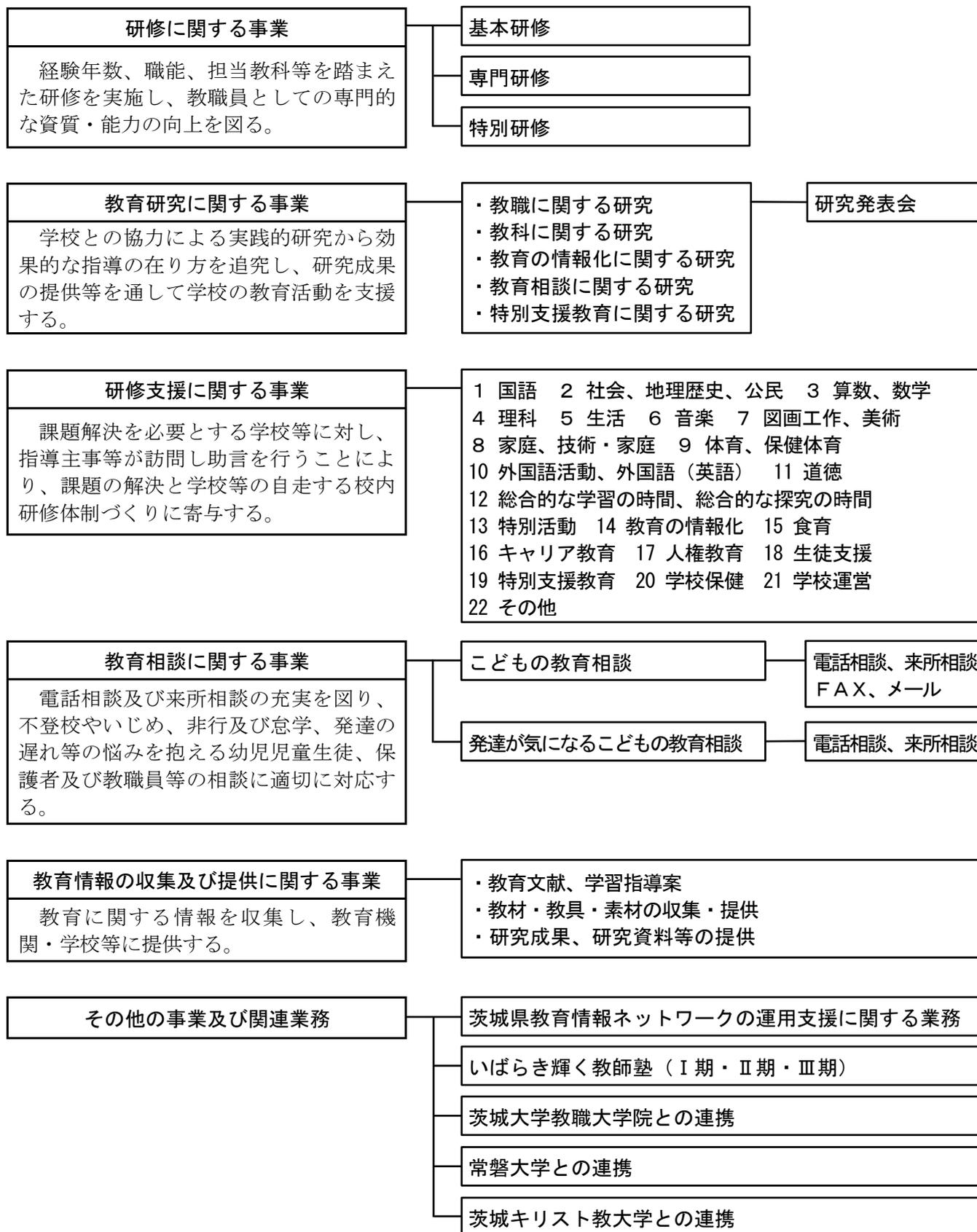
沿革

昭和37年 6月	茨城県立理科教育センターを設置
昭和39年12月	茨城県立理科教育センターを廃し、茨城県立教育研修センターを設置
昭和40年 4月	茨城県立教育研修センターの業務開始
昭和52年 3月	茨城県立情報処理教育センター管理規則制定
昭和52年 4月	茨城県立情報処理教育センターを設置
昭和60年 3月	教育庁内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）建設調査委員会設置
平成元年 4月	教育庁指導課内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）調査準備室設置
平成3年12月	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例が制定され「茨城県教育研修センター」設置決定
平成4年 4月	茨城県立情報処理教育センターを統合し、茨城県教育研修センターを設置
平成6年 4月	6課制が8課制に組織改編
平成11年 4月	8課制が6課制に組織改編
平成15年 4月	「特殊教育課」を「特別支援教育課」に改称
平成16年 4月	教職教育課内に「特別研修室」を設置
平成17年 4月	企画管理課内に教育情報ネットワーク室を設置
平成19年 4月	教育情報ネットワーク室を企画管理課から情報教育課に移管
令和4年 4月	教職教育課内に学校経営支援グループを設置

組織



茨城県教育研修センターの事業



項 目	指 標
<p>① 学校経営 ※学校組織マネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、教育の在り方を熟慮し、改革を果敢に行うことができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標について、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながら適切に作成し、公表することができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標達成へ向け、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標については、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。
<p>② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。 <input type="checkbox"/> 学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情動的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。
<p>③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標の実現のため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。
<p>④ 人材育成及び職務監督</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら、教育活動を進める学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。 <input type="checkbox"/> 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。 <input type="checkbox"/> 教職員一人一人がその意欲と能力を最大限発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、働き方改革を進めることができる。 <input type="checkbox"/> 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワーク・ライフ・バランスに関して適切に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 職場の心理的な安全性を確保し、働きやすい職場環境を構築するとともに、教職員それぞれの強みを活かし、教職員の働きがいが高めることができる。
<p>⑤ 連携・協力体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して適切な支援が行えるよう、校内の支援体制の充実を図るとともに、関係機関と連携・協力体制を構築することができる。 <input type="checkbox"/> 開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 <input type="checkbox"/> 家庭や地域社会からの信頼と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の充実した学びの実現に向けて、学校運営協議会等を通じて、地域の多様な人材や資源を活用することができる。
<p>⑥ 職務遂行能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校の最高責任者として、高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、校長職としての自己研鑽に努めることができる。 <input type="checkbox"/> 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、校長としての考えを児童生徒・保護者・教職員等に説得力をもって伝え、行動の変容を促すことができる。

※共通の対象：教諭（講師含む）、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭

《Ⅰ 基本的資質》

■1 教職に必要な素養 ※第1期～第4期…教員のキャリアを、経験年数を基に4期に分類

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
(1) 社会人として	<ul style="list-style-type: none"> 人間性が豊かで、言葉遣い、あいさつ、礼儀等の備えておくべきマナーを持って行動することができる。 ダイバーシティに関する知識があり、人権感覚を持って寛容の精神で人と接することができる。 飲酒運転・性犯罪・暴力等についてコンプライアンス意識を持ち、社会人として自分を律することができる。 相手を尊重し、コミュニケーション力を生かして、良好な対人関係を構築することができる。 働き方改革の意識を持ち、タイムマネジメント及びストレスマネジメントに配慮し、心身の健康の維持・増進に自ら努めることができる。 			
(2) 教員として	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒を尊重し、児童生徒一人一人の捉え方が異なることを理解し、一方的でなく、個々の児童生徒に寄り添った関係づくりができる。 学習指導に際し、児童生徒の実態を把握した上で、教材の選択や効果的な指導・支援方法を工夫することができる。 自身の経験した過去よりも児童生徒が生きる未来に向けて、キャリア形成につながる学びを提供できるよう、研修を重ねることができる。 ニーズが多様化する児童生徒や保護者等に柔軟に対応するとともに、困難な場合には上司や同僚から援助を受けて解決することができる。 教育者として厚く信頼されるに足るコンプライアンス意識を有し、高い使命感をもって教育活動に動じることができる。 教職員組織の一員として、カリキュラム・マネジメントに基づき、他の教職員と協働し、実践と研修を続けることができる。 			

《Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量》

■2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力 ※学力の三要素…「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
(1) 学習指導要領の理解等	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の主な目標を理解している。 学力の三要素それぞれを育む重要性を理解している。 			
(2) 授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> 教科・学年・分掌部の目標における、指導内容、指導方法を理解している。 学力の三要素の育成を目指して指導することができる。 			
(3) 学習指導要領の理解等	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の内容の系統性（学年間、教科間、校種間）を理解している。 学力の三要素を育むために効果的に指導することができる。 学習指導に、積極的に外部人材（専門家）等を活用することができる。 			
(4) 授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態に応じた評価規準を設定することができる。 本時の目標を達成させる授業をすることができる。 単元のまとめの時間に学習のリフレクションを取り入れることができる。 単元の中で、児童生徒の対話・体験・協働の場面を取り入れることができる。 			
(5) 学習指導要領の理解等	<ul style="list-style-type: none"> 単元の評価規準を適切に設定した上で指導計画を作成し、「導入・展開・まとめ」のつながりを考えて授業を実践することができる。 単元のまとめの時間にリフレクションを取り入れて、単元目標の達成状況を分析し、次の単元の指導に生かすことができる。 単元目標の達成状況を評価するに当たり、学習成果を表現・発信する場を設けることができる。 学習内容に応じて、児童生徒が自ら対話・体験・協働の学び方を選択できるような場面を設けることができる。 			
(6) 授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> 個々の教員の授業の実態を把握し、適切に指導・助言することができる。 単元における、児童生徒の対話・体験・協働の場面に関して、教員に指導・助言することができる。 			

■2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力 ※HR：ホームルーム（高）、「道徳」：「特別の教科 道徳」（小・中）

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
(3) 教育課程、主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・領域の役割を理解し、指導することができる。 各教科・領域の目標に照らし、育みたい資質・能力の定着状況を把握している。 把握した定着状況を基に、指導を改善することができる。 教育課程編成表の内容を理解している。 学校全体の指導計画を推進するための体制づくりを担うことができる。 			
(4) 探究的な（課題解決重視の）学び、ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの視点から授業を立案することが重要であることを理解している。 主体的・対話的で深い学びの視点から授業を計画し、実践することができる。 探究的な学びを軸とした授業を実践することができる。 児童生徒が疑問点を表明できる場面を設けることができる。 探究的な学びを軸とした授業を工夫して実践することができる。 児童生徒が疑問点の解決に向けて試行錯誤できる場面を設けることができる。 探究的な学びを軸とした授業を実践し、公開することができる。 探究的な学びをとおして、児童生徒が自ら次なる課題を想起する授業を実践することができる。 			
(5) 特別活動（シティズンシップ教育等）	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用の最新の知識及び技術を理解している。 授業におけるICT活用の意義や方法を理解している。 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践することができる。 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践し効果を上げることができる。 ICTを活用した教科指導を積極的に推進し、教員に指導・助言することができる。 			
(6) 道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> こども基本法に掲げられた意思決定・意見表明に係る教育の必要性を理解している。 よりよい社会の創造に貢献する市民となる資質を育む教育の重要性を理解している。 学級会・HR活動において、係活動や役員選挙、ルールづくりなど、児童生徒の意思決定・意見表明の機会を設けることができる。 学年行事・学校行事等において、学級・HRや学年の意見を集約し、反映させる自治的な取組を企画・実践し、望ましい集団づくりを推進することができる。 児童会・生徒会活動等において、学年等の意見を集約し反映させる体制づくりやリーダー育成を中心となって推進することができる。 地域と連携して、自治体等の社会の体験的活動への参画を促進することができる。 自治的な取組について、他の教員に指導・助言することができる。 			
(7) 道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校では「道徳」において、協働的な学びを取り入れた授業を構想し、実践することができる。 小・中学校では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を展開することができる。 小・中学校では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を展開することができる。 小・中学校では「道徳」における協働的な学びを取り入れた効果的な指導法を、他の教員に指導・助言することができる。 高校では学校の教育活動全体において、協働的な学びを取り入れた道徳教育に係る取組を構想し、実践することができる。 高校では学校の教育活動全体において、協働的な学びの充実を図った道徳教育の取組を展開することができる。 高校では、道徳教育に係る授業等の取組を公開することができる。 高校では、学校の教育活動全体における道徳教育の実践について、他の教員に指導・助言することができる。 			

■ 3 児童生徒を理解し支援する力

※ SC：スクールカウンセラー、SSW：スクールソーシャルワーカー

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
(1) 児童生徒の心身の発達への理解				
<input type="checkbox"/> 児童生徒の心身の発達に関する知識を身に付けている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の行動の背景を把握することが重要であることを理解している。	<input type="checkbox"/> 児童生徒の行動を多面的にアセスメント（情報収集・分析・評価）することができる。	<input type="checkbox"/> SCやSSW等の助言を、児童生徒の行動やその背景等のアセスメントに生かすことができる。	<input type="checkbox"/> SCやSSW等の助言を生かして、アセスメントの方法等を改善し、校内で共有することができる。	<input type="checkbox"/> アセスメントの方法等の改善やSC・SSW等の活用について、教員に指導・助言することができる。
(2) チーム支援				
<input type="checkbox"/> 困難等を抱えた児童生徒に対しては、チームとして支援に当たることが重要であることを理解している。	<input type="checkbox"/> 所属する学年等の教員と、情報を共有することができる。	<input type="checkbox"/> 学年等のチームで決定した支援策を一員として適切に実践することができる。	<input type="checkbox"/> 学年等のチームの会議において、支援策を提案することができる。	<input type="checkbox"/> 学年等のチームにおいて、中心となって支援策を推進することができる。
(3) 教育相談				
<input type="checkbox"/> 基本的な理論や意義を理解している。 <input type="checkbox"/> 公平かつ受容的・共感的な態度で児童生徒と関わることができる。	<input type="checkbox"/> 児童生徒や保護者との丁寧な関わりを心がけ、信頼関係を築くことができる。	<input type="checkbox"/> カウンセリングマインド（傾聴・受容・共感を意識した関わり方）を身に付け、よりよい人間関係づくりに努め、児童生徒や保護者と信頼関係を築くことができる。	<input type="checkbox"/> カウンセリングマインドを生かして、児童生徒や保護者に寄り添った対応ができる。	<input type="checkbox"/> 学校や関係機関等と保護者の連携の在り方について、教員に指導・助言することができる。
(4) 生徒指導上の諸課題や児童福祉への理解				
<input type="checkbox"/> いじめはどの児童生徒にも、どの学校でも起こりうるということを理解している。 <input type="checkbox"/> 法に示すいじめの定義を理解している。	<input type="checkbox"/> 法が示すいじめ対応の手順を理解し、組織の中において実践することができる。	<input type="checkbox"/> 法が示すいじめの未然防止に係る様々な取組について計画し、実践することができる。	<input type="checkbox"/> いじめの未然防止や解消に向けて、専門家を活用して取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> いじめの未然防止と解消に関する幅広い知識を持ち、解決へ向けた校内のチーム支援の中心的な役割を担うことができる。 <input type="checkbox"/> 解決や支援の過程・結果を検証し、未然防止へ向けて教員に指導・助言することができる。
<input type="checkbox"/> 暴力行為等いじめ以外の学校における生徒指導上の諸課題及び児童虐待、ヤングケアラー等児童生徒が抱える様々な課題を理解している。	<input type="checkbox"/> 児童生徒を支援するチームの一員として、自分の役割を理解し、教職員間の連携方法を身に付けることができる。	<input type="checkbox"/> キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力が身に付くよう、個に応じた適切な指導を行うことができる。	<input type="checkbox"/> 専門家や関係機関等との連携や校内の協力体制の整備に積極的に関わることによって、児童生徒や保護者等を指導・支援することができる。	<input type="checkbox"/> キャリア教育の全体計画・指導計画を作成することができる。 <input type="checkbox"/> 計画に沿った教育活動を教員に指導・助言することができる。
(5) キャリア教育				
<input type="checkbox"/> キャリア教育の意義や基礎的な知識を理解している。	<input type="checkbox"/> キャリア教育で育成すべき諸能力を理解し、キャリア教育を実践することができる。	<input type="checkbox"/> キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力が身に付くよう、個に応じた適切な指導を行うことができる。	<input type="checkbox"/> 専門家や関係機関等との連携や校内の協力体制の整備に積極的に関わることによって、児童生徒や保護者等を指導・支援することができる。	<input type="checkbox"/> キャリア教育の全体計画・指導計画を作成することができる。 <input type="checkbox"/> 計画に沿った教育活動を教員に指導・助言することができる。

■ 4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
(1) 特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室における特別支援教育				
<input type="checkbox"/> インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育に関する基礎的な知識を身に付けている。 <input type="checkbox"/> 自立活動の指導に当たっては、個々の障害の状態や、発達段階等に応じて行うことが重要であることを理解している。 <input type="checkbox"/> 各教科等の学習指導においては、自立活動と密接な関連があることを理解している。	<input type="checkbox"/> 適切な実態把握の下、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」について、作成の意義を理解した上で、立案し、実践することができる。 <input type="checkbox"/> 効果的な指導形態・指導方法を工夫することができる。	<input type="checkbox"/> 保護者や関係機関、教員との連携を図ることができる。 <input type="checkbox"/> その上で、個々の自立と社会参加を見据えた「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を立案し、指導や支援に生かすことができる。 《特別支援学校》 <input type="checkbox"/> 幼児教育施設、小・中・高校等に対し、対象幼児児童生徒への指導・支援に関して助言・援助することができる。	<input type="checkbox"/> 他の教員に特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うなど、校内で中心的な役割を担うことができる。	<input type="checkbox"/> 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を中心となって推進することができる。 <input type="checkbox"/> 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。
(2) 通常の学級における特別支援教育				
<input type="checkbox"/> すべての学校・学級に対象児童生徒が在籍していることを理解している。 <input type="checkbox"/> 特別支援教育の基礎的な知識を理解している。	<input type="checkbox"/> 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を活用し、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。	<input type="checkbox"/> 管理職や特別支援教育コーディネーター、特別支援学級の担任及び通級による指導の担当者との連携を図りながら、対象児童生徒に対して適切な指導ができる。	<input type="checkbox"/> 管理職や特別支援教育コーディネーター、特別支援学級の担任及び通級による指導の担当者との連携を図りながら、他の教員に対し、特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うなど、校内で中心的な役割を担うことができる。	<input type="checkbox"/> 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を中心となって推進することができる。 <input type="checkbox"/> 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。
(3) 日本語の習得等に特別な配慮を必要とする児童生徒への支援				
<input type="checkbox"/> 日本語の習得等に特別な配慮を必要とする児童生徒への支援が重要であることを理解している。	<input type="checkbox"/> 児童生徒の実態を把握し、一人一人に寄り添った支援に努めることができる。	<input type="checkbox"/> 保護者や関係機関、教員との連携を図りながら、寄り添った支援に努めることができる。	<input type="checkbox"/> 寄り添った支援について、他の教員に適切な助言を行うなど、校内で中心的な役割を担うことができる。	<input type="checkbox"/> 寄り添った支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を中心となって推進することができる。 <input type="checkbox"/> 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。

■ 5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力

採用時の姿	第1期(形成期) 1～5年	第2期(成長期) 6～11年	第3期(発展・充実期) 12～23年	第4期(貢献・深化期) 24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
(1) 学級・学年の経営				
<input type="checkbox"/> 学級(HR)経営に当たっては、児童生徒の人間関係づくりや集団づくり、児童生徒の自立的な能力を育成することが重要であると理解している。	<input type="checkbox"/> 学校及び学年の組織目標を理解し、学級(HR)経営を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の自立的な能力を把握し、学級(HR)経営に生かすことができる。	<input type="checkbox"/> 学級や集団の状況及び課題を把握できる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の自立的な能力に応じて、児童生徒による学級(HR)運営を支援することができる。	<input type="checkbox"/> 保護者との信頼関係を基に協力体制を構築して、円滑な学年経営を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の好ましい人間関係づくり等、学年や学級(HR)経営について教員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の自立的な能力を引き出すとともに、学年運営や学級(HR)運営の中心に据えて教育活動を行うことができる。	
(2) 学校組織マネジメント				
<input type="checkbox"/> 大学等において、サークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができた。 <input type="checkbox"/> 学校組織の特徴や役割を理解している。	<input type="checkbox"/> 学校教育目標を理解し、所属組織の目標達成に向け業務に当たることができる。 <input type="checkbox"/> 学校教育目標を達成するために、他の教員と連携することができる。	<input type="checkbox"/> 学校教育目標を達成するために、所属組織の行事等について、企画・実践・検証・改善を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 所属組織が主管する行事等において、教職員の協働体制を構築することができる。	<input type="checkbox"/> 学校教育目標の実現に向け、個々の教員の特性を把握した上で、教員に指導・助言するとともに、学校外部との協力体制を構築することができる。 <input type="checkbox"/> 家庭や地域社会、関係機関と連携するなど、学校内外の教育資源を活用し、学校の全体計画の立案・実践・評価・改善を行うことができる。	
(3) リスクマネジメント				
<input type="checkbox"/> 学校における児童生徒の安心・安全を常に意識し、対応すべきであると理解している。	<input type="checkbox"/> 安全指導や防災教育等、児童生徒の安全の確保に向けて適切な指導ができる。 <input type="checkbox"/> 事故発生時に的確な判断及び迅速な対応を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解することができる。	<input type="checkbox"/> 安全指導や防災教育等の実施を計画し、児童生徒の安全の確保に努め、教員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解し、指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の安全の確保のための管理及び非常事態に対応するための危機管理を行うことができる。		

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する目標

令和7年12月

【副校長・教頭】特記事項

項目	特記事項
① 学校経営 ※学校組織マネジメント	<input type="checkbox"/> 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、校長と同様の視点をもって校長を補佐し、教育の在り方を熟慮し、校長の行う改革を支えることができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標について、校長を補佐し、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながらその作成や公表を支えることができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標達成に向け、校長の指示のもと、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。 <input type="checkbox"/> 学校の教育目標については、校長の指示のもと、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。
② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント	<input type="checkbox"/> 校長を補佐し、日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。 <input type="checkbox"/> 校長の指示のもと、学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情報的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	<input type="checkbox"/> 校長の指示のもと、学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 校長を補佐し、学校の教育目標を実現するため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。
④ 人材育成及び服務監督	<input type="checkbox"/> 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら教育活動を進める、学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。 <input type="checkbox"/> 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、校長を補佐し、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。 <input type="checkbox"/> 教職員一人一人がその意欲と能力を最大限発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、校長を補佐し、働き方改革を進めることができる。 <input type="checkbox"/> 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワーク・ライフ・バランスに関して適切に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 校長を補佐し、職場の心理的な安全性を確保し、働きやすい職場環境を構築するとともに、教職員それぞれの強みを活かし、教職員の働きがい高めることができる。
⑤ 連携・協力体制の構築	<input type="checkbox"/> 校長の指示のもと、特別な配慮を必要とする児童生徒に対して適切な支援が行えるよう、関係機関と連携・協力体制を構築するとともに、教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 校長の指示のもと、開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 <input type="checkbox"/> 校長を補佐し、家庭や地域社会からの信頼感と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 校長を補佐し、児童生徒の充実した学びの実現に向けて、学校運営協議会等を通じて、地域の多様な人材や資源を活用することができる。
⑥ 職務遂行能力	<input type="checkbox"/> 高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、自己研鑽に努めることができる。 <input type="checkbox"/> 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、教職員に校長の考えを共有させるよう努めることができる。

※副校長については、教頭と異なり配置校によって異なる特命業務に従事し、校長を補佐する。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【主幹教諭】特記事項

令和7年12月

項目	特記事項
①学校運営・管理 ※学校組織マネジメント	<input type="checkbox"/> 管理職と同様の視点を持ち、学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応をとるなど、管理職を補佐することができる。 <input type="checkbox"/> 管理職を補佐して働き方改革を進め、学校運営の充実・活性化を図ることができる。
②連携・協力体制の構築	<input type="checkbox"/> 管理職を補佐して開かれた学校づくりを推進するため、学校ビジョンや教育活動の実態についての情報を発信するなど、地域社会との連携を進めることができる。 <input type="checkbox"/> 学校と保護者との信頼関係づくりをより一層進めるため、教職員に助言することができる。
③教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	<input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、教育課程等の教育計画を立案することができる。 <input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援計画を立案することができる。
④人材育成及び服務監督	<input type="checkbox"/> 教職員が高い意欲をもって研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切に助言することができる。 <input type="checkbox"/> 管理職を補佐して教職員集約をまとめるため、学校組織マネジメントを活用して校務分掌間の連携や調整を行い、協働する体制を構築することができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な法令等についての知識を持ち、管理職を補佐して教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。
⑤職務遂行能力	<input type="checkbox"/> 管理職と同様の視点を持ち、学校経営・教育実践の中核的役割を果たすため、自らの言動を絶えず省察し、常に自己研鑽に努めることができる。 <input type="checkbox"/> 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【指導教諭】特記事項

令和7年12月

項目	特記事項
①学校運営・教育計画 ※学校組織マネジメント ※カリキュラム・マネジメント	<input type="checkbox"/> 学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応を教職員に助言することができる。 <input type="checkbox"/> 教育課程等の教育計画を立案することに中心的な役割を果たすことができる。
②研修等の充実	<input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援に関して教職員に指導・助言することができる。 <input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、教職員の個別最適な学び及び協働的な学びのために校内研修を充実させることができる。
③人材育成及び業務の効率化	<input type="checkbox"/> Society5.0時代の到来に向け最新の知識・技術を普及させるため、教員のICT活用指導力の向上を図ることができる。 <input type="checkbox"/> 授業や学級経営等の改善のため、教職員の授業力や指導力を向上させることができる。 <input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、教職員の業務量の軽減を図るため、業務の効率化を向上させることができる。
④連携・協力体制の構築	<input type="checkbox"/> 管理職の指示のもと、開かれた学校づくりを推進し、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 <input type="checkbox"/> 他校での研修等への助言を通して、教職員の学びの輪を広げるなど、学校や教職員間の連携・協力体制を構築することができる。
⑤職務遂行能力	<input type="checkbox"/> 学習指導や学級経営のエキスパートとして、常に自己研鑽に努めることができ、教職員の資質能力の向上に役割を果たすことができる。 <input type="checkbox"/> 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【養護教諭】 特記事項

令和7年12月

項目	採用時の姿	第1期(形成期)	第2期(成長期)	第3期(発展・充実期)	第4期(貢献・深化期)
		養護教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校保健におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校保健推進
① 保健管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健・安全に関する法令等を正しく理解している。 保健管理に関する基礎的な知識や技能を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健情報や健康観察を通して、児童生徒の心身の実態を把握し、管理職や地域の関係機関と連携しながら適切な保健管理を実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者、地域の関係機関と連携し、児童生徒の実態や発達の段階に応じた効果的な保健管理を実践することができる。 保健管理に関する校内研修を企画・運営することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の個と集団の健康課題への組織的対応において、その中核的役割を担うことができる。 保健管理について、若手教員や地域の養護教諭等に指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における事件・事故・災害等の発生時に備え、学校内外の支援体制を整えることができる。 保健管理について、教職員に指導・助言することができる。
② 保健教育	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るため、資質・能力を育成することが重要であると理解している。 学習指導要領の保健・安全に関する内容や養護教諭の専門性を生かした指導について、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健教育における養護教諭の役割を理解し、専門性を生かして学級担任等と協働して保健教育を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級担任等と連携し、児童生徒の実態に基づいた保健教育に計画的に取り組むことができる。 様々な方法で家庭へ情報を発信し、保護者の理解や協力のもと保健教育を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている各教科等の関連や内容の系統性を理解し、教育活動全体を通じて組織的に保健教育を推進することができる。 地域の関係機関等と連携を図り、保健教育への参画を効果的に推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健教育について全体計画を作成し、計画に沿った教育活動を教職員に指導・助言することができる。
③ 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談の意義や法的根拠、心身の発達段階に応じた健康課題について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の肉体的成長を目指し、人権を尊重しながら受容的な相談活動を行うことができる。 保健室の機能や養護教諭の職務の特質を生かし、いじめや虐待等の早期発見・早期対応に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談の基本的なプロセスを理解し、教職員及び学校医等や保護者、地域の関係機関等と連携した健康相談を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の心身の健康課題を総合的に捉え、コーディネーター的役割を自覚して支援体制の整備に努めるとともに、組織的対応を働きかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会や事例検討会を積極的に開催するなど、心身の健康課題の解決に向けて、教職員に指導・助言することができる。
④ 保健室経営	<ul style="list-style-type: none"> 保健室の役割や養護教諭の職務について、理解している。 学校保健計画や保健室経営計画、学校保健活動の基本を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健室の学校保健センターの役割を認識し、児童生徒の一人一人の特性や心身の状況、生活環境等に応じた指導・支援をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者、地域の関係機関等との関わりを深め、連携・協働しながら保健室を運営することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校組織目標や実態に基づき、計画的、組織的に保健室を運営するとともに、その成果と課題を捉えて改善を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健・安全の視点を生かして学校運営に参画し、教育活動全体で学校保健を推進することができる。 地域の学校保健担当者との連携体制を構築し、地域における学校保健推進のコーディネーター的役割を果たすことができる。

注) 養護教諭については、その専門性を特記事項として示す。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【栄養教諭】 特記事項

令和7年12月

項目	採用時の姿	第1期(形成期)	第2期(成長期)	第3期(発展・充実期)	第4期(貢献・深化期)
		栄養教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校給食におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校給食推進
① 食に関する指導	給食の時間の指導	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時間における食に関する指導を年間指導計画に位置付け、教室指導や資料提供等、担任等と連携・協働することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 献立のねらいを明確にした献立計画を担任等に提示し、学校給食を「生きた教材」として活用し、給食の時間における指導の充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等における食に関する指導と相互に関連付け、総合的かつ効果的な指導を実践することができる。 食に関する指導により、児童生徒の行動変容を確認し、担任等と結果を共有してその後の指導に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導を包括的に把握し、適切に評価、改善を図ることができる。 教科等横断的な視点から、教職員に対し、情報提供や指導・助言を行うなど連携を図ることができる。
	教科等での指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標や児童生徒の実態を基に、各教科等との関連を図りながら、食に関する指導の全体計画や年間指導計画等を作成することができる。 給食主任等と連携しながら、学校における食に関する指導を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている食に関する指導内容を踏まえ、学校の課題解決のための食育を推進することができる。 専門的な立場から指導内容や課題について、担任等と協議することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等やその他の教育活動において、その内容の系統性や各学習の関連を図りながら、体系的・継続的に食育を推進するための中核的な役割を担うことができる。 自らの実践を評価し、課題解決に向けて改善を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な立場から学校運営に参画し、教育活動全体で食に関する指導を推進することができる。 地域における食育を推進するコーディネーター的役割を果たすことができる。
	個別指導	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する健康課題を有する児童生徒に対し、学級担任や養護教諭、部活動担当教員と情報を共有し、個別の指導計画を立案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者、地域の関係機関等と連携し、専門性を生かして指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題を有する児童生徒の身体状況、栄養状態や食生活など課題を知り、家庭や地域の背景、児童生徒の食に関する知識、理解度等を考慮し、課題解決に向けて指導することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の健康課題解決に向けて、教職員の指導的役割を果たすことができる。 健康課題を有する児童生徒を支援するための校内研修を企画、運営することができる。
② 学校給食の管理	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の食生活の状況を把握し、学校給食摂取基準及び食品構成、地場産物の活用配慮した献立の作成を行うことができる。 食に関して特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、配慮した献立の作成を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事状況調査や残食調査等による状況把握の実施により、課題に応じた適切な栄養管理を行うことができる。 各教科の内容や地場産物の活用、地域の食文化などを関連付けた魅力ある献立の作成を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の児童生徒の健康状態の実態及び生活活動の実態並びに地域の実情等に十分配慮して、献立の作成を行うことができる。 児童生徒の食習慣調査等の結果を基に栄養管理を評価し、改善を図るとともに、教職員に対して情報提供や指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養管理と食に関する指導を一体的に行い、児童生徒の健康課題解決に向けた地域の取組について、中核的な役割を果たすことができる。 市内町村の学校給食における栄養管理について、指導的役割を果たすことができる。
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の衛生管理に関する法令を正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の衛生管理体制が十分機能するよう、「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理責任者としての専門的な業務を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食従事者や給食施設設備などの衛生管理について、適切に指導・助言することができる。 学級担任等が行う衛生管理に係る指導について、専門的な立場から指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生時の危機管理対応計画の作成など、安全に関する危機意識を持ち、その課題を明らかにし、解決に向けた取組を実践することができる。 市内町村の学校給食における衛生管理について、指導的役割を果たすことができる。

注) 栄養教諭については、その専門性を特記事項として示す。

1 研修に関する事業

(1) 研修体系

- ・義務教育学校前期課程は「小学校」、義務教育学校後期課程は「中学校」にそれぞれ含まれる。
- ・中等教育学校前期課程は「中学校」、中等教育学校後期課程は「高等学校」にそれぞれ含まれる。

ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系

教職員としてのキャリアステージに即して、必要な研修の機会を確保するとともに、国の動向や本県教員の資質向上に関する育成指標を踏まえ、必要とされる研修を長期的展望に立って体系化し、実施する。

基本研修 (41 講座)		
新規採用〔初任者、2年次、3年次〕	採用1年次から3年次の教員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	○新規採用〔初任者〕(小・中・高・特・養・栄) ○新規採用〔2年次〕(小・中・高・特) ○新規採用〔3年次〕(小・中・高・特)
新規採用	新規採用教職員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	○新規採用(実高・実特・寄宿)
中堅〔前期〕資質向上等	教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。	○中堅〔前期〕(小・中・高・特・養・栄・実高・実特・寄宿)
中堅〔後期〕資質向上等	広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。	○中堅〔後期〕(小・中・高・特・養・栄・実・寄宿)
ベテラン教員	校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。	○ベテラン教員(小・中・高・特・養・栄)
ベテラン教員アドバンス	最新の教育動向の理解とこれまでの教育実践の省察を通して、自己の在り方を問うとともに、学校組織に貢献する上で必要な資質・能力を高め、専門性の深化を図る。	○ベテラン教員アドバンス(小中高特)

※ 新規採用養護教諭と新規採用栄養教諭の2年次、3年次は、OJTで実施する。

専門研修 (70 講座)			
悉皆研修 (23 講座)			
各職務に関する専門的資質・能力の向上を図る。			
○新任校長(小・中・高特) ○新任教頭(小・中・高特) ○新任主幹教諭 ○新任指導教諭	○新任教務主任(小・中・高特) ○新任学年主任(小・中・高) ○新任生徒指導主事 ○新任進路指導主事(中・高特)	○新任保健主事 ○新任特別支援学校部主事 ○新任特別支援学級・通級指導教室担当者 ○新任特別支援教育コーディネーター	○臨時的任用職員(高・特)
推薦研修 (8 講座)			
教職の各領域に関する専門的資質・能力の向上を図る。			
○教職員マネジメント(前・後)	○情報科教育 ○産業教育(農業・工業・商業)	○いじめ対応 ○特別支援学校寄宿舎指導員	
希望研修 (39 講座)			
教職の各領域に関する自主的研修の充実を図る。			
○高等学校等マネジメント ○学校組織マネジメント(基礎・発展) ○帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導 ○「自己を見つめ、考え、語る」道徳教育 ○自治的能力を育む特別活動	○子どもを主語にした学びをつくる国語科 ○生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン ○思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり(社会・地理歴史・公民) ○シティズンシップ教育 ○「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり ○小学校理科観察・実験 ○思考力、判断力、表現力等を育成する理科観察・実験 ○音楽科授業づくり ○我が国の伝統音楽 ○図画工作・美術科授業づくり ○ひろがれスポーツの可能性! 体育授業づくり ○みんなで創ろう! 「Technology」の授業づくり ○できるをいっぱい! 家庭科授業づくり ○英語発信力向上を目指す授業づくり ○自ら問いを立て探究する英語科 ○夏季自然体験活動 ○未来を創るSTEAM教育 ○探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～	○基礎からはじめる生成AIを活用した授業づくり ○新しい教育課題に対応するための教育の情報化 ○義務教育段階におけるプログラミング教育	
○「不登校」を考える ○思春期の子どもと保護者の心に寄り添う ○教育相談(初級・中級・上級)	○自立活動指導力向上 ○読み書き困難のある児童生徒への指導法 ○通常の学級における特別支援教育 ○特別支援教育の専門性を高めるための		

特別研修		
長期研修〔内地留学〕(3、6か月)	スキルアップ研修(6か月)	指導改善研修(1か年)
長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。	指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。	学習指導、生徒指導及び学級(ホームルーム)経営等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

イ キャリアステージに応じた教員研修

キャリアステージ	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
基本研修	新規採用教員 ※1 初任者 2年次 3年次 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 ※2 新規採用 ※3	中堅（前期） 資質向上等	中堅（後期） 資質向上等	ベテラン教員 ※4 ベテラン教員アドバンス ※5
悉皆研修 推薦研修 専門研修 希望研修	新任教務主任 新任学年主任 新任生徒指導主事 新任進路指導主事 新任保健主事 新任特別支援学校部主事 新任特別支援学級・通級指導教室担当者 新任特別支援教育コーディネーター 新任主幹教諭 新任指導教諭 新任副校長・教頭 新任校長 教職員マネジメント（前期・後期） 情報科教育 産業教育（農業・工業・商業） いじめ対応 特別支援学校寄宿舎指導員 高等学校等マネジメント 学校組織マネジメント（基礎） 学校組織マネジメント（発展） 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導 「自己を見つめ、考え、語る」道徳教育 自治的能力を育む特別活動 こどもを主語にした学びをつくる国語科 / 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン [国語] 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民） [社会・地理歴史・公民] シティズンシップ教育 [社会・地理歴史・公民] 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり [算数・数学] 小学校理科観察・実験 / 思考力、判断力、表現力等を育成する理科観察・実験 [理科] 音楽科授業づくり / 我が国の伝統音楽 [音楽] 図画工作・美術科授業づくり [図工・美術] ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり [体育・保健体育] みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり / できるをいっぱい！家庭科授業づくり [家庭・技術・家庭] 英語発信力向上を目指す授業づくり [外国語（英語）] 自ら問いを立て探究する英語科 [外国語（英語）] 夏季自然体験活動 未来を創るSTEAM教育 探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～ 体験する農業教育 / 体験する工業教育 / 体験する商業教育 基礎からはじめる生成AIを活用した授業づくり 新しい教育課題に対応するための教育の情報化 義務教育段階におけるプログラミング教育 「不登校」を考える 思春期のこどもと保護者の心に寄り添う 教育相談（初級） 教育相談（中級） 教育相談（上級） 自立活動指導力向上 読み書き困難のある児童生徒への指導法 通常の学級における特別支援教育 特別支援教育の専門性を高めるための			
特別研修	長期研修〔内地留学〕 / スキルアップ研修 / 指導改善研修			

※ 各段階は、第1期（1～5年）、第2期（6～11年）、第3期（12～23年）、第4期（24年～）を想定している。

講座番号	研修講座名	I 基本的資質		II 専門職としての教員に求められる力量													キャリアステージ				対象校種	担当課				
		1 教職に必要な素養		2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力		5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力			第1期			第2期	第3期	第4期	
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) 新たな学び課程・主体的・対話的	(4) 探究的な学び、ICTの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 児童生徒の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) 生徒指導上の諸課題や児童福祉への	(5) キャリア教育	(1) 特別支援に学校・特別支援学級	(2) 通常の学級における特別支援教育	(3) を日本語と習得する児童に特別への配慮	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント			形成期	成長期	発展・充実期	貢献・深化期
103	体験する農業教育研修講座		○	○	○	○	○							○							○	○	○	○	小中高特	情報
104	体験する工業教育研修講座		○	○	○	○	○							○							○	○	○	○	小中高特	情報
105	体験する商業教育研修講座		○	○	○	○	○							○							○	○	○	○	小中高特	情報
106	基礎から始める生成AIを活用した授業づくり研修講座		○	○	○	○	○							○							○	○	○	○	小中高特	情報
107	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座		○	○	○	○	○							○			○	○	○		○	○	○	○	小中高特	情報
108	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座		○	○	○	○	○							○							○	○	○	○	小中高特	情報
109	「不登校」を考える研修講座		○						○	○	○	○						○	○		○	○	○	○	小中高特	相談
110	思春期の子どもと保護者の心に寄り添う研修講座		○						○	○	○	○									○	○	○	○	小中高特	相談
111	教育相談（初級）研修講座		○						○		○										○	○	○	○	小中高特	相談
112	教育相談（中級）研修講座		○						○		○											○	○	○	小中高特	相談
113	教育相談（上級）研修講座		○						○		○											○	○	○	小中高特	相談
114	自立活動指導力向上研修講座		○	○	○				○					○	○		○				○	○	○	○	小中高	特支
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座		○	○	○	○			○					○	○						○	○	○	○	小中高特	特支
116	通常の学級における特別支援教育研修講座		○	○	○				○	○					○		○				○	○	○	○	小中高	特支
117	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座		○			○			○					○	○		○				○	○	○	○	小中高特	特支

(3) 市町村立学校事務職員の研修体系及び研修講座等一覧

ア 市町村立学校事務職員の資質・能力の向上を目指す研修体系

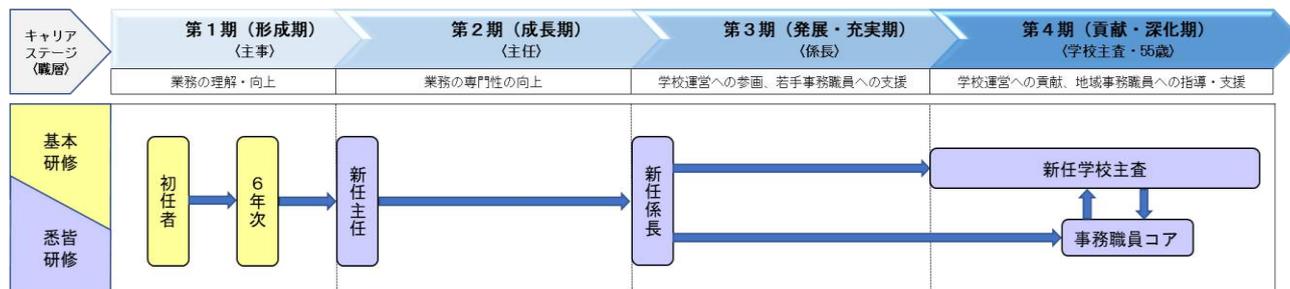
〈基本方針〉

- 学校組織における唯一の総務・財務等に通ずる専門職として、校務運営に積極的に参画する事務職員を育成
- 経験年数や実績を考慮し、学校や地域等の実情に応じて「求められる事務職員」を育成
 - ※ 対象：県費負担市町村立学校事務職員
 - ※ 第1期～第4期：事務職員のキャリアを、職層を基に4期に分類

基本研修（2講座）	
○新規採用市町村立学校事務職員	公務員としての心構えと職務上必要な基礎的知識及び技能を習得し、事務職員としての自覚を高め、資質・能力の向上を図る。
○6年次市町村立学校事務職員	若手事務職員として児童生徒の教育活動に貢献するため、職務上の基本的問題を取り上げ、業務に直接関わる研修を行い、職場への一層の適応力を養う。

専門研修（4講座）	
悉皆研修	
各職務に関する専門的資質・能力の向上を図る。	
○市町村立学校新任主任	主任として児童生徒の教育活動に貢献するため、必要な知識・技能の習得を図る研修を行い、職務能率の一層の向上を図る。
○市町村立学校新任係長	係長として、学校経営・学校運営に積極的に関わり、係長として必要な知識・技能の習得を図り、職務能率の向上に資する。
○市町村立学校新任学校主査	学校主査として、知見や技術を生かし、学校内外の幅広い視点からリーダーシップを発揮して、地域と連携を図り児童生徒の教育活動に貢献できるよう事務職員としての自覚と心構えを養い、事務職員全体の資質向上に資する。
○市町村立学校事務職員コア（行政リーダー）	専門的な知識を生かした学校運営体制の強化及び円滑化を図り、学校改善を持続的に取り組み、学校事務の共同実施組織の統括を行うなど、地域と連携・協働を主体的組織的に進め、組織の中核的（コア）役割の深化を図る。

イ キャリアステージに応じた事務職員研修



ウ 研修講座等一覧（評価項目との対応）

事務職員の資質向上のための研修		I 基本的資質					II 専門職としての事務職員に求められる力量									
		社会人として、事務職員として					事務職員の標準的な職務					事務職員が積極的に参画する職務				
		姿勢					基礎的な能力					発展的な能力				
講座番号	研修講座名	行革・コスト意識	積極性	責任感	協調性	規律・勤勉さ	知識・技術力	理解力	判断力	業務遂行力	報告・連絡・相談	企画力	変化対応力	折衝力・調整力	指導力・人材育成力	統率力・監督力
18	新規採用市町村立学校事務職員研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
28	6年次市町村立学校事務職員研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
65	市町村立学校新任主任研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
66	市町村立学校新任係長研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67	市町村立学校新任学校主査研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	市町村立学校事務職員コア（行政リーダー）研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

(4) 研修講座の受講申込み

ア 受講申込みに係る文書の送付

- 以下の各文書を、令和8年3月中に「茨城県教育情報ネットワーク」の各アカウント宛に送付します。

送付文書	送付先アカウント	送付機能
令和8年度教育研修センター事業概要	市町村立：組織代表 県立：公文書	公文書
令和8年度教育研修センター研修講座の申込みについて	市町村立：組織代表 県立：公文書	公文書

イ 受講申込み

申込方法は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）や個人によるGoogleフォーム等、研修講座によって異なります。詳細は上記ア「令和8年度教育研修センター研修講座の申込みについて」の添付資料を確認してください。

(5) Plantアカウントの事前確認

研修講座の受講者は、受講可否の確認や研修資料等のダウンロード等を行う必要があるため、Plantにログインできることを事前に確認してください。

以下の職に該当する教職員は、Plantのアカウントが付与されています。（以下「アカウント付与教職員」という。）

【職】 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、指導主事、管理主事

上記以外の職に該当する教職員は、研修センターの研修講座等に申し込む際、事前にPlantアカウントの取得（ゲストユーザの登録）が必要となります。（以下「ゲストユーザ教職員」という。）

なお、ゲストユーザの登録ができていない場合、申込みを受理することができませんので、必ず登録状況を確認してください。ゲストユーザの登録方法は、「令和8年度教育研修センター研修講座の申込みについて」の添付資料を確認してください。

(6) 研修講座の受講可否

基本研修、悉皆研修、推薦研修については、申込みまたは学校管理職からの推薦があった時点で受講者として取り扱いますので、改めて受講可否の通知は送付しません。なお、受講の詳細は、本人のPlantアカウントから確認することが可能です。希望研修については、次の方法でお知らせします。

ア アカウント付与教職員

- 受講可否の通知は送付しません。Plantにログインし、受講可否を確認してください。

イ ゲストユーザ教職員（公立学校の教職員）

- 「茨城県教育情報ネットワーク」の組織代表アカウントに受講可否の通知を送付します。確認方法については、「令和8年度教育研修センター研修講座の申込みについて」の添付資料に掲載しますので確認してください。また、受講可否は、Plantから確認することが可能です。

ウ ゲストユーザ教職員（国立・私立学校の教職員）

- 申込みの際に登録したメールアドレスに受講可否の通知を送付しますので確認してください。また、受講可否は、Plantから確認することが可能です。

(7) 各種届の提出

ア 各種届

- ・受講予定者に下記の事由が生じた場合は、**校長が当該講座担当課と協議の上**、届を提出してください。
- ・中堅教諭等〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予については、中堅教諭等資質向上研修実施細則を参照してください。

事由	提出する届
受講者を変更する	受講者変更届（様式1）
受講期日を変更する	受講期日変更届（様式2）
受講を辞退する	受講辞退届（様式3）
講座日程の一部を欠席する	欠席届（様式3）
受講当日、遅刻する	遅刻届（様式3）
宿泊を伴う講座で日帰りする	講座日帰届（様式3）
中堅実習助手〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予を願い出る ベテラン教員研修講座、ベテラン教員アドバンス研修講座の受講猶予を 願い出る	受講猶予届（様式4）

※ 届の様式は、「教育研修センターWebページ」－「研修」－「各種届等様式」からダウンロードしてください。なお、令和8年度から早退届の提出は不要となりましたので、様式が変更されています。

イ 提出先

- ・校長は各種届を次のとおり電子メールで送付してください。なお、市町村立学校の校長は、市町村教育委員会教育長及び教育事務所に提出の必要がある届（写し）がありますので、忘れずにご提出ください。

送付先：todoke@center.ibk.ed.jp

ファイル名：講座番号(半角)・提出する届名・学校名(例：1・欠席届・〇〇学校)

ファイル形式：PDF形式(作成した各種届をPDF形式で保存)

届	受講者 変更	受講期日 変更	受講 辞退	欠席	遅刻	講座 日帰	受講 猶予
提出先 教育研修センター所長	1部	1部	1部	1部	1部	1部	1部
市町村教育委員会教育長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)	/	1部 (写し)	1部 (写し)	/	/	1部 (写し)
教育事務所長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)	/	1部 (写し)	1部 (写し)	/	/	1部 (写し)

(8) 研修履歴一覧の送付

ア アカウント付与教職員

- ・研修履歴一覧は送付しません。Plantにログインし、認定(修了)の可否を確認してください。

イ ゲストユーザ教職員(公立学校の教職員)

- ・今年度の研修履歴のみ記載した一覧を「茨城県教育情報ネットワーク」の組織代表アカウントに送付します。

ウ ゲストユーザ教職員(国立・私立学校の教職員)

- ・今年度の研修履歴のみ記載した一覧を申込みの際に登録したメールアドレスに送付します。

(9) 研修講座資料等の提供方法

- ・資料等を、Plantに掲載します。
- ・実施要項をはじめ、受講に際し必要な情報を掲載しますので、受講前に必ず確認してください。
- ・Plantに掲載した資料等は、原則として紙媒体での提供はしません。

ア Plantの利用手順

- ① ブラウザ上部にある「URL欄」にURL【<https://plant.nits.go.jp/>】を入力するか、本センターWebページにあるバナー「Plant」からログイン画面に移動し、ログインする。
- ② 画面上部タブの「研修申込状況」をクリックする。
- ③ 受講する研修名をクリックする。
- ④ ダウンロードファイル一覧から必要な資料等をダウンロードする。
- ⑤ 受講当日にタブレット端末等を持参して資料等を活用する。または印刷物を持参して活用する。

イ 留意事項

- ・講座実施日の概ね3日前までに、資料等を提供します。
- ・内容や講師の意向により、講座当日に講座資料を提供する場合があります。
- ・講座担当者から個別にメール又はGoogle Classroomで連絡する場合がありますが、いずれの場合もPlantを情報の発信源としますので、必ず確認してください。
- ・Plantの「お知らせ通知」は随時更新されます。
- ・受講後の資料等の取り扱いについては、受講対象者が、振り返り、所属校での実践及び校内研修等で活用することに差し支えはありませんが、適正な範囲を超えての複製、転載及び転用等の二次利用を行うことはできません。

(10) 経費等

- ・経費負担を伴う講座については、該当講座ごとに別途お知らせします。
(実験実習を伴う講座においては、教材の一部。宿泊研修においては、宿泊費等。)

(11) 緊急時の連絡方法

- ・暴風雨や降雪等の天候による事由またはウイルス感染症のまん延等の事由により、正常な講座運営に影響が生じると判断した場合、研修講座の実施日や実施方法等について、次の方法で連絡します。

ア 茨城県教育情報ネットワーク

- ・市町村立学校及び市町村教育委員会は「組織代表アカウント」宛、県立学校は「公文書アカウント」宛に事務連絡を送付します。

イ 茨城県教育研修センターWebページ (<https://www.center.ibk.ed.jp/>)

- ・トップページの「お知らせ」及び「Plant」に掲載します。
※研修講座により、Google Classroomで案内する場合があります。

(12) 研修講座等日程一覧

- ・丸数字は、研修の実施回（第1日は①、第2日は②等）を示しています。
- ・実施方法、会場、内容等の詳細は、研修講座実施要項で確認してください。

4月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木	69 臨時的任用職員（高等学校）①A班	70 臨時的任用職員（特別支援学校）①A班	
10	金			
11	土			
12	日			
13	月			
14	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）①	13 新規採用養護教諭〔初任者〕①	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕①		
15	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）①		
16	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）①	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）①	
		15 新規採用実習助手（高等学校）①	16 新規採用実習助手（特別支援学校）①	
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	49 新任教頭（高・特）①		
22	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）② I期	49 新任教頭（高・特）②	
23	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）②	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）②	
		15 新規採用実習助手（高等学校）②	16 新規採用実習助手（特別支援学校）②	
24	金			
25	土			
26	日			
27	月			
28	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）②		
29	水			
30	木	71 教職員マネジメント（前期）①		

5月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	金	69 臨時的任用職員（高等学校）②A班	70 臨時的任用職員（特別支援学校）②A班	
2	土			
3	日			
4	月			
5	火			
6	水			
7	木			
8	金	52 新任教務主任（小学校）	53 新任教務主任（中学校）	
9	土			
10	日			
11	月	44 新任校長（小学校）①		
12	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅰ期	44 新任校長（小学校）②	
		57 新任学年主任（高等学校）	62 新任特別支援学校部主事	
13	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）②Ⅱ期	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）①	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上①	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上①	
14	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）③	18 新規採用市町村立学校事務職員①	
		63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①A班		
15	金	13 新規採用養護教諭〔初任者〕②	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）①	
16	土			
17	日			
18	月	55 新任学年主任（小学校）		教科に関する研究①
19	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅱ期	54 新任教務主任（高・特）	
		63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①B班	72 教職員マネジメント（後期）①	
20	水	43 ベテラン教員アドバンス（小中高特）①		
21	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）③	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅰ期	
		56 新任学年主任（中学校）		
22	金	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕②	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）①	
		22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）①	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上①	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上①	25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）①	
		26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）①		
23	土			
24	日			
25	月			教職に関する研究①
				教育相談に関する研究①
26	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）④	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅰ期	
27	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）③	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅱ期	
		20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅱ期	45 新任校長（中学校）①	
28	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）④	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅲ期	
		28 6年次市町村立学校事務職員①	45 新任校長（中学校）②	
		65 市町村立学校新任主任①		
29	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）①	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅳ期	特別支援教育に関する研究①
		61 新任保健主事		
30	土			
31	日			

6月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）	研究・その他の事業
1	月		
2	火	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕③	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上②
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）①	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）①
		35 中堅実習助手〔後期〕資質向上①	
3	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅰ期	58 新任生徒指導主事A班
		59 新任進路指導主事（中学校）	63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①C班
4	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）④	16 新規採用実習助手（特別支援学校）③
		39 ベテラン教員（高等学校）①	48 新任教頭（中学校）①
5	金	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）①Ⅰ期	48 新任教頭（中学校）②
6	土		
7	日		
8	月		
9	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑤	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）①
		40 ベテラン教員（特別支援学校）①	
10	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅰ期
		58 新任生徒指導主事B班	60 新任進路指導主事（高・特）
11	木	13 新規採用養護教諭〔初任者〕③	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅱ期
		22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	46 新任校長（高・特）①
12	金	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）①Ⅱ期	46 新任校長（高・特）②
13	土		
14	日		
15	月		
16	火	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅰ期	47 新任教頭（小学校）①
17	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅱ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）②
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）②	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上②
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上②	47 新任教頭（小学校）②
18	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅲ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑤
19	金	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅰ期	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅲ期
20	土		
21	日		
22	月	79 高等学校等マネジメント①	教科に関する研究②Ⅰ期
23	火	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）①	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅳ期
		79 高等学校等マネジメント②	
24	水	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅱ期	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅴ期
		23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上②	
25	木	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）②	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）②
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上③	66 市町村立学校新任係長①
26	金	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）①	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）③
27	土		
28	日		
29	月		教科に関する研究②Ⅲ期
30	火	43 ベテラン教員アドバンス（小中高特）②	

7月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）③		
2	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑥	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上③	
		37 ベテラン教員（小学校）①	113 教育相談（上級）①	
3	金	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）①	13 新規採用養護教諭〔初任者〕④	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕④	15 新規採用実習助手（高等学校）③	
		64 新任特別支援教育コーディネーター		
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）③	76 産業教育（商業）	
		79 高等学校等マネジメント③		
8	水	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）③	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）③	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）③	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）③	
		50 新任主幹教諭	51 新任指導教諭	
9	木	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）①	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上③	
10	金	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）③	38 ベテラン教員（中学校）①	
		41 ベテラン教員（養護教諭）①	42 ベテラン教員（栄養教諭）①	
11	土			
12	日			
13	月			
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火			
22	水	94 図画工作・美術科授業づくり①	99 自ら問いを立て探究する英語科①	
		112 教育相談（中級）①	117 特別支援教育の専門性を高めるための①	
23	木	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤A班	106 基礎からはじめる生成AIを活用した授業づくり I 期	
24	金	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥A班	107 新しい教育課題に対応するための教育の情報化	
25	土			
26	日			
27	月	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥A班	109 「不登校」を考える	教科に関する研究③
28	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦A班	75 産業教育（工業）A班	
		90 小学校理科観察・実験		
29	水	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑦		
30	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑥	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑧	
		100 夏季自然体験活動A班		
31	金	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑦	84 自治的能力を育む特別活動	
		102 探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～①	108 義務教育段階におけるプログラミング教育	

8月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	土			
2	日			
3	月	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤B班		
4	火	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥B班	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥B班	特別支援教育に関する研究②
		86 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン①		
5	水	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦B班	116 通常の学級における特別支援教育	
6	木			研究発表会
7	金	92 音楽科授業づくり	101 未来を創るSTEAM教育①	
8	土			
9	日			
10	月	71 教職員マネジメント（前期）②	72 教職員マネジメント（後期）③	
		80 学校組織マネジメント（基礎）		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	82 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導	91 思考力、判断力、表現力等を育成する理科観察・実験	
		94 図画工作・美術科授業づくり②A班	104 体験する工業教育	
		114 自立活動指導力向上①		
19	水	85 こどもを主語にした学びをつくる国語科①	88 シティズンシップ教育	
		93 我が国の伝統音楽	96 みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり	
20	木	78 特別支援学校寄宿舎指導員	94 図画工作・美術科授業づくり②B班	
		97 できるをいっぱい！家庭科授業づくり	100 夏季自然体験活動B班	
		106 基礎からはじめる生成AIを活用した授業づくりⅡ期	111 教育相談（初級）①A班	
21	金	75 産業教育（工業）B班		いばらき輝く教師塾Ⅰ期①
22	土			
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			

9月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）	研究・その他の事業
1	火		
2	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅰ期
3	木		
4	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）④	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅱ期
		87 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①A班	105 体験する商業教育
5	土		
6	日		
7	月		
8	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑧	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅱ期
9	水	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑤	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑤
		71 教職員マネジメント（前期）③	
10	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅲ期	18 新規採用市町村立学校事務職員②
11	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅲ期	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上④
		73 情報科教育	74 産業教育（農業）
		79 高等学校等マネジメント④	111 教育相談（初級）①B班
12	土		
13	日		
14	月		教職に関する研究②
15	火	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）④Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅳ期
		87 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①C班	89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり①C班
16	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦Ⅰ期	83 「自己を見つめ、考え、語る」道徳教育
		89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり①A班	
17	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅰ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑨
		15 新規採用実習助手（高等学校）④	28 6年次市町村立学校事務職員②
18	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）④Ⅱ期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上③
		87 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①B班	89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり①B班
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		
23	水		
24	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅱ期	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）①
25	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅰ期	長期研修（共通）
26	土		
27	日		いばらき輝く教師塾Ⅱ期①
28	月		
29	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅰ期	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）①
30	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦Ⅱ期	40 ベテラン教員（特別支援学校）②

10月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑩	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑥	
		16 新規採用実習助手（特別支援学校）④	67 市町村立学校新任学校主査	
2	金	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）④	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上④	
		34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上④		
3	土			
4	日			
5	月			長期研修（3か月）
6	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅱ期	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）④	
		69 臨時的任用職員（高等学校）①B班	70 臨時的任用職員（特別支援学校）①B班	
		79 高等学校等マネジメント⑤		
7	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧※別途連絡	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅱ期	
		63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②A班	79 高等学校等マネジメント⑥	
8	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅳ期	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）④	
		98 英語発信力向上を目指す授業づくり	103 体験する農業教育	
		113 教育相談（上級）②		
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			長期研修（共通）
14	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅰ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅰ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅲ期		
15	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑩	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）④	
		65 市町村立学校新任主任②		
16	金	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）④		
17	土			
18	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期②
19	月			
20	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅲ期	63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②B班	
21	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅱ期	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑥	
		110 思春期のこどもと保護者の心に寄り添う		
22	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅴ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑪	
23	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅴ期	
		66 市町村立学校新任係長②		
24	土			
25	日			
26	月			長期研修（6か月）
27	火	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑤	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択道徳	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択道徳	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択道徳	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択道徳		
28	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨Ⅲ期	63 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②C班	
29	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑪	77 いじめ対応A班	
30	金	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択マネジメント	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択マネジメント	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択マネジメント	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択マネジメント	
		95 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり		
31	土			

11月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）	研究・その他の事業
1	日		
2	月		
3	火		
4	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨IV期	77 いじめ対応B班
5	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫A班	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②I期
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑦	79 高等学校等マネジメント⑦
6	金	69 臨時的任用職員（高等学校）②B班	70 臨時的任用職員（特別支援学校）②B班
7	土		
8	日		
9	月		
10	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑩ ※別途連絡	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択教育相談
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択教育相談	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択教育相談
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択教育相談	117 特別支援教育の専門性を高めるための②
11	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨V期	72 教職員マネジメント（後期）④
12	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑫	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫B班
		5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②II期	13 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑦
		15 新規採用実習助手（高等学校）⑤	
13	金		
14	土		
15	日		いばらき輝く教師塾Ⅲ期①
16	月		教職に関する研究③
17	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪I期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤II期
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤IV期	
18	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑩I期	
19	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫C班	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）②I期
		7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②I期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上④
20	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤III期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤V期
		29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択情報	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択情報
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択情報	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択情報
21	土		
22	日		
23	月		
24	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪II期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤選択特支
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤選択特支	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤選択特支
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤選択特支	115 読み書き困難のある児童生徒への指導法
25	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑩II期	
26	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫D班	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）②II期
		7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②II期	68 市町村立学校 事務職員コア（行政リーダー）
27	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤II期	
28	土		
29	日		いばらき輝く教師塾Ⅲ期②
30	月		長期研修（3か月）

12月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	火	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑥	
		25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）②		
2	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅰ期		
3	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑬	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫E班	
		101 未来を創るSTEAM教育②		
4	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑥		
5	土			
6	日			
7	月			
8	火	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑥	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑥	
		31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑥	71 教職員マネジメント（前期）④	
9	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅱ期		特別支援教育に関する研究③
10	木	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑥		
11	金	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）②Ⅰ期	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）②	
		22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑥	26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	
12	土			
13	日			
14	月			長期研修（3か月）
15	火	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅱ期		
16	水	99 自ら問いを立て探究する英語科②	111 教育相談（初級）②A班	
		114 自立活動指導力向上②		
17	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅵ期	79 高等学校等マネジメント⑧	
18	金	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）②Ⅱ期		
19	土			
20	日			
21	月			長期研修（6か月）
22	火	111 教育相談（初級）②B班		
23	水			
24	木			長期研修（3か月）
25	金			
26	土			
27	日			
28	月			
29	火			
30	水			
31	木			

1月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	金			
2	土			
3	日			
4	月			
5	火			
6	水			
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月			
12	火			
13	水	112 教育相談（中級）②		
14	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑬	16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑤	
15	金	38 ベテラン教員（中学校）②	41 ベテラン教員（養護教諭）②	
		42 ベテラン教員（栄養教諭）②	113 教育相談（上級）③	
16	土			
17	日			
18	月			
19	火	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）②		教科に関する研究④
				教育相談に関する研究③
20	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑬Ⅰ期		
21	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑭	37 ベテラン教員（小学校）②	
22	金	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）②	87 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）②	
23	土			
24	日			
25	月			
26	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑬		
27	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑬Ⅱ期	39 ベテラン教員（高等学校）②	
28	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑭	85 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅰ期	
29	金	15 新規採用実習助手（高等学校）⑥	16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑥	
		35 中堅実習助手〔後期〕資質向上②	72 教職員マネジメント（後期）⑤	
		102 探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～②		
30	土			
31	日			

2月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）	研究・その他の事業
1	月		
2	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅰ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅰ期
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑦	89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり②C班
3	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅰ期	86 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン②
4	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑮	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑮
		13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑧	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑧
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上⑤	
5	金	43 ベテラン教員アドバンス（小中高特）③	
6	土		
7	日		
8	月		長期研修（6か月）
9	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅱ期	34 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上⑤
		85 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅱ期	
10	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅱ期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上⑤
11	木		
12	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅱ期	89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり②B班
13	土		
14	日		
15	月		
16	火	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑦	教職に関する研究④
			教科に関する研究⑤
17	水	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上⑤	89 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり②A班 採用前研修（中）②
18	木	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑦	
19	金	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑥	採用前研修（高）②
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		

3月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）	研究・その他の事業
1	月		
2	火		採用前研修（小）②A班
3	水		
4	木		採用前研修（特）②
5	金		採用前研修（小）②B班
			採用前研修（養・栄）②
6	土		
7	日		
8	月		長期研修（6か月）
9	火		
10	水		特別支援教育に関する研究④
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		長期研修（6か月）
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

(13) 研修講座実施要項

ア 基本研修

基本研修	1
------	---

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

I期（第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期（第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

※ 第5日と第6日の班分け及び第9日の期分けについては、第1日に連絡する。

※ 第4日と第10日の班分けについては、第3日に連絡する。

区分	期日	会場	
第1日	4月15日（水）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410	
第2日	I期：4月22日（水）		
	II期：5月13日（水）		
第3日	5月27日（水）		
第4日	I期：6月3日（水）		
	II期：6月10日（水）		
第5日 （注）	A班：7月23日（木） 宿泊可能		
	7月24日（金）		
第6日 （注）	B班：8月3日（月） 宿泊可能		
	8月4日（火）		
第7日 （注）	I期：9月16日（水）		
	II期：9月30日（水）		
第8日	10月7日（水） *月*日（*）		教育事務所管内の特別支援学校 ※別途連絡
第9日	I期：10月14日（水）		教育研修センター
	II期：10月21日（水）		
	III期：10月28日（水）		
	IV期：11月4日（水）		
	V期：11月11日（水）		
第10日	I期：11月18日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）	
	II期：11月25日（水）		
第11日	I期：12月2日（水）	各市町村で決定	
	II期：12月9日（水）		
第12日	I期：1月20日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）	
	II期：1月27日（水）		
第13日	*月*日（*）	各市町村で決定	
第14日	I期：2月3日（水）	教育研修センター	
	II期：2月10日（水）		

（注） A区分・B区分採用の者は、第5日、第6日、第7日を受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

- 7 その他
宿泊に伴う経費は、別途連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校）日程表

期日及び時間：4月15日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂 302 307
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員のサービスと基本的心構え～」 義務教育課人事担当課長補佐	
	11:25	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 義務教育課人事担当管理主事	
	12:10	昼食	
	13:10	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	14:20	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 総務課福利厚生室 教職員相談室	
	15:00	オリエンテーション センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 指定の期間内に一次救命処置に関する動画を視聴する。（詳細は、Plantに掲載する。）

期日及び時間：【Ⅰ期】4月22日（水）【Ⅱ期】5月13日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101 201 202 303 304 305 306 307 308 311
	9:45	講義・演習「生徒指導の意義と進め方」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「教育相談の意義と進め方」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：5月27日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 文部科学省講師、センター職員	
	11:00	講義・研究協議「単元を見通した国語科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・研究協議（午前に同じ）	
	15:00	講義・研究協議「安全に配慮した授業づくりの工夫」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：【Ⅰ期】6月3日(水) 【Ⅱ期】6月10日(水) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	班	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	1班	9:30	講義・演習「算数科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	別途連絡
		12:10	昼食	
		13:10	実技「体育科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
	2班	9:30	実技「体育科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	講義・演習「算数科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
	3班	9:30	観察・実験「基礎的な理科の観察・実験の方法」(4分科会) センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	講義・演習「算数科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
	4班	9:30	講義・演習「算数科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	観察・実験「基礎的な理科の観察・実験の方法」(4分科会) センター職員	

※ 第10日とセットで実施する。全員が4つの教科を必修教科として履修する。

期日及び時間：【A班】7月23日(木) 【B班】8月3日(月) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日 宿泊 可能	9:30	イントロダクション	302 304 305 306 307 308 101
	9:40	講義・演習「発達障害等のある児童の理解と支援」 センター職員	
	11:00	講義・演習「帰国・外国人児童への理解と支援」 センター職員	
	11:30	昼食	
	12:30	講義・演習「道徳科の授業づくりと評価」 センター職員	
	13:50	講義・演習「なすことによって学ぶ特別活動」 センター職員	
	14:50	講義・演習「学級担任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：【A班】7月24日（金）【B班】8月4日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	班	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	1班	9:30	講義・演習「音楽科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	別途連絡
			講義・演習「図画工作科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
		12:15	昼食	
		13:15	講義・演習「家庭科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
			講義・演習「外国語活動・外国語科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
	2班	9:30	講義・演習「家庭科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
			講義・演習「外国語活動・外国語科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
		12:15	昼食	
		13:15	講義・演習「音楽科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
			講義・演習「図画工作科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

※ 受講者は音楽と図画工作から1教科、家庭と外国語から1教科、計2教科を選択する。

期日及び時間：【I期】9月16日（水）【II期】9月30日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	101 303 304 305 306 307 308
	9:45	講義・演習「問題行動・不登校等の理解とチーム支援」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「問題行動・不登校等の未然防止につながる教員の関わり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：10月7日（水） *月*日（*） ※別途連絡

区分	時間	研修内容・講師等
第8日		各教育事務所の計画による 特別支援学校における体験研修

※ 水戸教育事務所管内（*校） 県北教育事務所管内（*校） 鹿行教育事務所管内（*校）
 県南教育事務所管内（*校） 県西教育事務所管内（*校）

※ 現地集合、現地解散とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】10月14日（水）【Ⅱ期】10月21日（水）
 【Ⅲ期】10月28日（水）【Ⅳ期】11月4日（水）
 【Ⅴ期】11月11日（水）
 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第9日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・演習「学校における教育の情報化の促進」 センター職員	
	11:20	講義・実践発表「遠隔教育の実際」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実習「授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～」 センター職員 実習「小学校段階におけるプログラミング教育の進め方」 センター職員	204 205 206 207 307
	15:40	リフレクション	

※ 第9日は、Ⅰ期～Ⅴ期に分けて実施する。詳細は、第1日に連絡する。

※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：【Ⅰ期】11月18日（水）【Ⅱ期】11月25日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	班	時間	研修内容・講師等	会場
第10日	1班	9:30	観察・実験「基礎的な理科の観察・実験の方法」（4分科会） センター職員	別途連絡
		12:10	昼食	
		13:10	講義・演習「社会科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
	2班	9:30	講義・演習「社会科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	観察・実験「基礎的な理科の観察・実験の方法」（4分科会） センター職員	
	3班	9:30	講義・演習「社会科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	実技「体育科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
	4班	9:30	実技「体育科の授業づくりの基礎・基本」 教諭、センター職員	
		12:10	昼食	
		13:10	講義・演習「社会科の授業づくりの基礎・基本」 センター職員	

※ 第4日とセットで実施する。全員が4つの教科を必修教科として履修する。

期日及び時間：【Ⅰ期】12月2日（水）【Ⅱ期】12月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場	
第11日	9:30	イントロダクション	101 301	
	9:45	講義・演習「児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり」 センター職員	302 303	
	12:15	昼食	304 305	
	13:15	研究協議「私の生徒指導・教育相談の実践」 センター職員	306 307	
	15:45	リフレクション		308 311
				312

期日：第12日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等	
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「生活科改訂のポイントと指導の改善・充実」 「小学校・総合的な学習の時間改訂のポイントと指導の改善・充実」	 

期日及び時間：【Ⅰ期】1月20日（水）【Ⅱ期】1月27日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第12日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・実践発表・研究協議「生活科の授業の実際」 教諭、センター職員	
	10:40	講義・実践発表・研究協議「総合的な学習の時間の授業の実際」 教諭、センター職員	
	11:30	昼食	
	12:30	研究協議「授業実践の成果と課題、そして次の実践へ」 センター職員	
	15:50	リフレクション センター職員	

※ 第12日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：*月*日（*）

区分	時間	研修内容・講師等
第13日		各市町村教育委員会の計画による 市町村研修

※ 各市町村教育委員会指定の期日、会場

期日及び時間：【Ⅰ期】2月3日（水）【Ⅱ期】2月10日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第14日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305 306 308 310
	9:40	講義・演習「児童がつくる学級活動(1)の指導のポイント」 センター職員	
	10:40	演習「児童がつくる学級会を目指して～模擬学級会～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「小学校における発達段階に応じたキャリア教育」 センター職員	
	14:40	研究協議「1年間の研修の成果と次年度への課題」 センター職員	
	15:45	リフレクション・2年次研修に向けて センター職員	

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校） 実施要項

- 1 目的
 3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。
- 2 対象（条件等）
 公立中学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）
- 3 年間計画
 I期（第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者
 II期（第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者
 ※ 第6日と第7日の班分け及び第9日の期分けについては、第1日に連絡する。

区分	期日	会場
第1日	4月14日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	4月28日（火）	
第3日	I期：5月12日（火）	
	II期：5月19日（火）	
第4日	5月26日（火）	授業参観実施校（教科別、別途連絡）
第5日 （注）	6月9日（火）	
第6日 （注）	A班 7月27日（月） 宿泊可能	教育研修センター
	7月28日（火）	
第7日 （注）	B班 8月4日（火） 宿泊可能	
	8月5日（水）	
第8日	9月8日（火）	教育研修センター【国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、外国語（英語）】 堀原運動公園【保健体育】 〒310-0045 水戸市新原2-11-1
第9日	I期：9月29日（火）	教育研修センター
	II期：10月6日（火）	
	III期：10月20日（火）	
第10日	11月10日（火） *月*日（*）	教育事務所管内の特別支援学校 ※別途連絡
第11日	I期：11月17日（火）	教育研修センター
	II期：11月24日（火）	
第12日	1月26日（火）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第13日	*月*日（*）	各市町村で決定
第14日	I期：2月2日（火）	教育研修センター
	II期：2月9日（火）	

（注） A区分・B区分採用の者は、第5日、第6日、第7日を受講対象外とする。

- 4 日程
 別紙のとおり
- 5 研修講座資料等
 研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
 別紙のとおり
- 7 その他
 宿泊に伴う経費は、別途連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）日程表

期日及び時間：4月14日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂 302 307
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」 義務教育課人事担当課長補佐	
	11:25	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 義務教育課人事担当管理主事	
	12:10	昼食	
	13:10	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	14:20	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 総務課福利厚生室 教職員相談室	
	15:00	オリエンテーション センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 開講式・イントロダクション、所長講話、講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」、講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」、講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」は新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座第1日、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第1日と合同開催とする。

※ 指定の期間内に一次救命処置に関する動画を視聴する。（詳細は、Plantに掲載する。）

期日及び時間：4月28日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ 第2日の前日までに、NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材「中学校学習指導要領（各教科）の改訂のポイント」を視聴する。（詳細は、Plantに掲載する。）

期日及び時間：【Ⅰ期】5月12日（火）【Ⅱ期】5月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	303 304 305 306 308 311
	9:45	講義・演習「生徒指導の意義と進め方」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「教育相談の意義と進め方」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：5月26日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ 音楽は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、音楽）第5日Ⅰ期と合同開催とする。

期日及び時間：6月9日（火） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日		【教科別研修（授業参観）】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ 所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：【A班】7月27日（月）【B班】8月4日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日 宿泊 可能	9:30	イントロダクション	302 304 306 308
	9:40	講義・演習「発達障害等のある生徒の理解と支援」 センター職員	
	11:00	講義・演習「帰国・外国人生徒への理解と支援」 センター職員	
	11:30	昼食	
	12:30	講義・演習「道徳科の授業づくりと評価」 センター職員	
	13:50	講義・演習「なすことによって学ぶ特別活動」 センター職員	
	14:50	講義・演習「学級担任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：【A班】7月28日（火）【B班】8月5日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	101 303 304 305 306 307 308
	9:45	講義・演習「問題行動・不登校等の理解とチーム支援」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「問題行動・不登校等の未然防止につながる教員の関わり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：9月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ 音楽及び保健体育は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、音楽、保健体育）第8日Ⅱ期と合同開催とする。

※ 保健体育は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月29日（火）【Ⅱ期】10月6日（火）【Ⅲ期】10月20日（火）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第9日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	講義・演習「学校における教育の情報化の促進」 センター職員	
	11:20	講義・実践発表「遠隔教育の実際」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実習「授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～」 センター職員	
	15:40	リフレクション	

- ※ 第9日は、Ⅰ期～Ⅲ期に分けて実施する。詳細は、第1日に連絡する。
 ※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：11月10日（火） *月*日（*） ※別途連絡

区分	時間	研修内容・講師等
第10日		各教育事務所の計画による 特別支援学校における体験研修

- ※ 水戸教育事務所管内（*校） 県北教育事務所管内（*校） 鹿行教育事務所管内（*校）
 県南教育事務所管内（*校） 県西教育事務所管内（*校）
 ※ 現地集合、現地解散とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】11月17日（火）【Ⅱ期】11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第11日	9:30	イントロダクション	301 303 304 305 306 307 308 311 312
	9:45	講義・演習「児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	研究協議「私の生徒指導・教育相談の実践」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：1月26日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第12日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・実践発表「総合的な学習の時間の授業の実際」 教諭、センター職員	
	10:50	【教科別研修】 研究協議「授業実践の成果と課題、そして次の実践へ」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	15:50	リフレクション	

- ※ 第12日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：*月*日（*）

区分	時間	研修内容・講師等
第13日		各市町村教育委員会の計画による 市町村研修

- ※ 各市町村教育委員会指定の期日、会場

期日及び時間：【Ⅰ期】2月2日（火）【Ⅱ期】2月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第14日	9:30	イントロダクション	303 305 306 310 304 308
	9:40	講義・演習「生徒がつくる学級活動(1)の指導のポイント」 センター職員	
	10:40	演習「生徒がつくる学級会を目指して～模擬学級会～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「生徒の思いを実現するキャリア教育」 センター職員	
	14:40	研究協議「1年間の研修の成果と次年度への課題」 センター職員	
	15:45	リフレクション・2年次研修に向けて センター職員	

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月16日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	4月23日（木）	
第3日	5月14日（木）	
第4日	5月28日（木）	
第5日	I期：5月26日（火）	教育研修センター【音楽】
	II期：5月27日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）【看護・福祉】
	III期：6月18日（木）	教育研修センター【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、美術・書道、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業、商業、水産】
第6日 （注）	7月30日（木） 宿泊可能	教育研修センター
第7日 （注）	7月31日（金）	
第8日	I期：9月2日（水）	オンライン研修【看護・福祉】
	II期：9月8日（火）	教育研修センター【音楽】 堀原運動公園【保健体育】 〒310-0045 水戸市新原2-11-1
	III期：9月10日（木）	教育研修センター【国語、地理歴史・公民、数学、理科、美術・書道、外国語（英語）、家庭】
	IV期：10月8日（木）	県立産業技術短期大学校（県立IT短大）【情報】 〒311-1131 水戸市下大野町6342 JAなめがたしおさい なめがた地域センター【農業】 〒311-3835 行方市島並857-35 キヤノン株式会社ものづくり推進センター【工業】 〒302-8501 取手市白山7-5-1
	V期：10月22日（木）	水産試験場内水面支場【水産】 〒311-3512 行方市玉造甲1560
	VI期：12月17日（木）	道の駅かさま【商業】 〒309-1621 笠間市手越22-1
第9日	I期：9月17日（木）	教育研修センター
	II期：9月24日（木）	
第10日 （注）	10月15日（木）	授業参観実施校（教科別、別途連絡）
第11日	10月29日（木）	教育研修センター
第12日	11月12日（木）	県立特別支援学校
第13日	12月3日（木）	教育研修センター
第14日	1月21日（木）	オンライン研修
第15日	2月4日（木）	教育研修センター

（注） A区分・B区分採用の者は、第6日、第7日、第10日を受講対象外とする。

- 4 日程
別紙のとおり
- 5 研修講座資料等
研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
別紙のとおり
- 7 その他
宿泊に伴う経費は、別途連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）日程表

期日及び時間：4月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」 高校教育課管理主事	
	11:30	講義・演習「教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～」 センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 総務課福利厚生室 教職員相談室	講堂
	14:00	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	15:10	オリエンテーション センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 新規採用実習助手研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。開講式、所長講話は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第1日、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

※ 指定の期間内に一次救命処置に関する動画を視聴する。詳細は、Plantに掲載する。

期日及び時間：4月23日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 311
	9:45	講義・演習「生徒指導の意義と進め方」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「教育相談の意義と進め方」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用実習助手研修講座（高等学校）第2日と合同開催とする。

期日及び時間：5月14日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	講義・演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構 特命教授 長尾 篤志	
	12:00	昼食	別途連絡
	13:00	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	

期日及び時間：5月28日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	304 307
	9:40	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	講義・演習「なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～」 センター職員	
	14:55	講義・演習「高等学校における道徳教育の基礎・基本」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：【Ⅰ期】5月26日（火）【Ⅱ期】5月27日（水）【Ⅲ期】6月18日（木）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ Ⅰ期の音楽は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校、音楽）第4日と合同開催とする。

※ Ⅱ期の看護・福祉は、埼玉県立総合教育センターとオンラインによる一部合同開催とする。

期日及び時間：7月30日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日 宿泊 可能	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習「生徒がつくるホームルーム活動の指導のポイント」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「よりよい人間関係づくりの手法と実践」 センター職員	307 308 101 図書情報室
	15:40	リフレクション	307 308

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：7月31日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305 306 308 311
	9:45	講義・演習「問題行動・不登校等の理解とチーム支援」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「問題行動・不登校等の未然防止につながる教員の関わり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月2日（水）【Ⅱ期】9月8日（火）【Ⅲ期】9月10日（木）【Ⅳ期】10月8日（木）
 【Ⅴ期】10月22日（木）【Ⅵ期】12月17日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

- ※ Ⅰ期の看護・福祉は、埼玉県立総合教育センターとオンラインによる一部合同開催とする。
- ※ Ⅰ期の看護・福祉は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、看護・福祉）第4日（Ⅰ期）と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の保健体育、音楽は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校、保健体育、音楽）第8日と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の保健体育は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。
- ※ Ⅳ期の情報、農業、工業、Ⅴ期の水産、Ⅵ期の商業は、県内の関連施設での所外研修とし、現地集合、現地解散とする。
- ※ Ⅳ期の農業は、体験する農業教育研修講座と合同開催とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月17日（木）【Ⅱ期】9月24日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第9日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「学校における教育の情報化の促進」 センター職員	
	11:20	講義・実践発表「遠隔教育の実際」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実習「授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～」 センター職員	204 205 206 207
	15:40	リフレクション	302

- ※ 第9日は、Ⅰ期、Ⅱ期に分けて実施する。
- ※ 期分けは、第1日にICT活用状況調査のためのアンケートについて連絡し、第4日に名簿を配付する。
- ※ Ⅰ期は、新規採用実習助手研修講座（高等学校）第4日と合同開催とする。
- ※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：10月15日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第10日		【教科別研修（授業参観）】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	授業参観校

- ※ 所外研修とし、現地集合、現地解散とする。
- ※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：10月29日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第11日	9:30	イントロダクション	304 307
	9:40	講義・演習「ワーク・ライフ・バランスの理解」 センター職員	
	10:50	講義・演習「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「帰国・外国人生徒への理解と支援」 センター職員	
	13:40	講義・演習「発達障害等のある生徒の理解と支援」 センター職員	
	15:30	諸連絡・リフレクション	

期日及び時間：11月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第12日	9:30	特別支援学校における体験研修 センター職員	県立特別支援学校

※ 現地集合、現地解散とする。

※ 新規採用実習助手研修講座（高等学校）第5日と合同開催とする。

期日及び時間：12月3日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第13日	9:30	イントロダクション	101 303 304 305 306 307 308 311 312
	9:45	講義・演習「児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	研究協議「私の生徒指導・教育相談の実践」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：1月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第14日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	実践発表・研究協議「総合的な探究の時間の授業の実践」 教諭、センター職員	
	11:20	【教科別研修】 研究協議「授業実践の成果と課題、そして次の実践へ」 センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	研究協議（午前に同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 第14日は、オンライン研修とする。

※ 指定の期間内に、総合的な探究の時間に関する動画を視聴する。詳細は、Plantに掲載する。

期日及び時間：2月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第15日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:40	講義・演習「ホームルーム担任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	10:40	実践発表・研究協議「生徒の主体性が育つホームルーム経営の実際」 教諭、センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	研究協議「1年間の研修の成果と次年度への課題」 センター職員	101 206 207 図書情報室
	14:30	講話「これからの教員に期待されること」 センター職員	講堂
	15:30	2年次研修に向けて・リフレクション センター職員	

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校） 実施要項

- 1 目的
 3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。
- 2 対象（条件等）
 公立特別支援学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月16日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	4月23日（木）	
第3日	5月21日（木）	
第4日	6月4日（木）	
第5日	6月18日（木）	
第6日	7月2日（木）	
第7日	7月29日（水） 宿泊可能	
第8日	7月30日（木）	
（注）		
第9日	9月17日（木）	
第10日	10月1日（木）	
第11日	10月22日（木）	各地区の会場校
第12日	A班 11月5日（木）	
	B班 11月12日（木）	
	C班 11月19日（木）	
	D班 11月26日（木）	
	E班 12月3日（木）	
第13日	1月14日（木）	教育研修センター
（注）		
第14日	1月28日（木）	
第15日	2月4日（木）	

（注） A区分・B区分採用の者は、第7日、第8日、第13日を受講対象外とする。

- 4 日程
 別紙のとおり
- 5 研修講座資料等
 研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
 別紙のとおり
- 7 その他
 宿泊に伴う経費は、別途連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）日程表

期日及び時間：4月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「国及び本県の特別支援教育の現状と課題」 特別支援教育課指導主事	307 308
	11:30	昼食	
	12:30	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	13:40	講義・演習「教職員のサービスと教育関連法規」 特別支援教育課管理主事	
	14:40	オリエンテーション「校外研修の内容及び研修に参加するにあたって」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

- ※ 開講式、所長講話は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第1日、新規採用実習助手研修講座（高等学校）第1日、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。
- ※ 講義・演習「国及び本県の特別支援教育の現状と課題」、講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」、講義・演習「教職員のサービスと教育関連法規」は、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。
- ※ 携行品 令和8年度学校教育指導方針（茨城県教育委員会）、令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、教育例規集、教育小六法
- ※ 指定の期間内に一次救命処置に関する動画を視聴する。詳細は、Plantに掲載する。

期日及び時間：4月23日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習「特別支援学校における教育課程の編成」 特別支援教育課指導主事	
	10:40	講義・演習「児童生徒の実態把握」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・演習「個別の教育支援計画と個別の指導計画」 センター職員	
	14:10	実践発表・演習「単元を見通した授業づくり～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善～」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

- ※ 講義・演習「特別支援学校における教育課程の編成」、講義・演習「児童生徒の実態把握」は、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第2日と合同開催とする。
- ※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：5月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習「国語科の授業づくり」 センター職員	
	11:00	講義・演習「算数・数学科の授業づくり」 センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	講義・演習「単元を見通した学習指導案の作成」 センター職員	306
	15:45	13:10 講義・演習「特別支援学校における専門職の役割」※スペシャリスト対象 特別支援教育課管理主事	
	14:10	講義・演習「自立活動の学習指導案の作成」※スペシャリスト対象 センター職員	307 308
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：6月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	307 308
	10:00	講義・演習「知的障害児の理解と支援」 植草学園大学 特命教授 佐藤 慎二	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「保護者との連携の在り方」 センター職員	
	14:50	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第3日と合同開催とする。

期日及び時間：6月18日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習「各教科等を合わせた指導の授業づくり」 センター職員	
	11:00	講義・演習「自立活動の授業づくり～課題の明確化を中心に～」 センター職員	
	11:40	昼食	
	12:40	実践発表「自立活動の授業づくりの実際」 教諭、センター職員	
	13:40	研究協議「自立活動における指導計画の作成」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：7月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	307 308
	10:00	講義・演習「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」 茨城大学 教授 新井 英靖	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：7月29日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日 宿泊 可能	9:30	イントロダクション	302 304
	10:00	講義・演習「教員と児童生徒との信頼関係づくり」 茨城大学 名誉教授・特任教授 正保 春彦	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・演習「視覚障害児の理解と支援」 教諭、センター職員	
	14:00	実践発表・演習「聴覚障害児の理解と支援」 教諭、センター職員	
	15:00	研究協議「児童生徒相互のよりよい人間関係づくり」 センター職員	
	15:50	リフレクション・諸連絡	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。
※ 宿泊希望者の携行品 就寝用着替え、洗面用具等

期日及び時間：7月30日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日	9:30	イントロダクション	302 304
	9:45	演習・研究協議「特別支援学校におけるティーム・ティーチングの実際」 センター職員	
	11:10	講義・演習「発達障害児の理解と支援」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・演習「肢体不自由児の理解と支援」 教諭、センター職員	
	14:00	実践発表・演習「病弱児の理解と支援」 教諭、センター職員	
	15:00	研究協議「特別支援学校教員としての今後の取組に向けて①」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

期日及び時間：9月17日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第9日	9:30	イントロダクション	201 202 301 303 305 306 307 308
	10:00	研究協議「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」（16分散会） 教諭、センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	研究協議（午前と同じ）	
	15:40	リフレクション	

※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：10月1日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第10日	9:30	イントロダクション	204 205 206 207
	9:50	実習「授業におけるICT活用」 センター職員	
	12:00	昼食	307 308
	13:00	講義・実践発表・研究協議「特別支援学校における道徳科の授業づくり」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 実習「授業におけるICT活用」は、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：10月22日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第11日	9:30	イントロダクション	307 308
	10:00	講義・演習「障害の重い児童生徒の理解と支援」 上野学園大学短期大学部、筑波大学 非常勤講師 下山 直人	
	12:00	昼食	304 307 308
	13:00	実習「実技教科の授業づくり」（選択研修）（3分科会） 第1分科会「音楽科の授業づくり」 第2分科会「図画工作・美術科の授業づくり」 第3分科会「家庭科の授業の授業づくり」 センター職員	
	14:55	講義・演習「特別支援学級及び通級指導教室の実際」 センター職員	
	15:45	リフレクション	307 308

期日及び時間：【A班】11月5日（木）、【B班】11月12日（木）、【C班】11月19日（木）、
【D班】11月26日（木）、【E班】12月3日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第12日	9:30	イントロダクション	会場校
	9:40	小学校の通常の学級及び特別支援学級の授業参観 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（日程は会場校による） センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

※ 受講者をA班、B班、C班、D班、E班に分けて実施する。

期日及び時間：1月14日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第13日	9:30	イントロダクション	302 304
	9:40	講義・演習「特別支援学校におけるキャリア教育」 センター職員	
	10:40	演習・研究協議「望ましい行動を引き出す支援の在り方」 センター職員	
	12:20	昼食	302 304 アリーナ
	13:20	実践発表・実習「障害者スポーツの実際」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ A区分、B区分採用の者は、受講対象外とする。

※ 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第5日と合同開催とする。

期日及び時間：1月28日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第14日	9:30	イントロダクション	201 202 301 303 305 306 307 308
	10:00	発表・研究協議「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」（16分散会） 教諭、センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	発表・研究協議（午前と同じ）	
	15:40	リフレクション	

※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：2月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第15日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:50	演習・研究協議「望ましい学級経営の在り方」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	実践発表・演習「特別支援学校におけるセンター的機能」 教諭、センター職員	
	14:30	研究協議「特別支援学校教員として今後の取組に向けて②」 センター職員	
	15:40	リフレクション	

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 期日及び会場

I期：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

区分	期日	会場
第1日	I期：6月5日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
	II期：6月12日（金）	
第2日	I期：11月5日（木）	
	II期：11月12日（木）	

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校）日程表

期日及び時間：【Ⅰ期】6月5日（金） 【Ⅱ期】6月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	【Ⅰ期】 101 302 306 307 308
	9:45	講義・演習・研究協議「ともに考えを深める道徳科の授業～ねらいに迫るための発問づくり～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習・研究協議「よりよい意思決定を目指す学級活動2)、(3)の授業づくり」 センター職員	【Ⅱ期】 302 303 304 305 307
	14:40	講義・演習「算数科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	15:50	リフレクション	別途連絡

※ 携行品 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成29年7月 文部科学省
小学校学習指導要領解説 特別活動編 平成29年7月 文部科学省

期日：第2日に向けて事前に視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズNo. 25 https://youtu.be/63KUompCHU0

期日及び時間：【Ⅰ期】11月5日（木） 【Ⅱ期】11月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	演習・研究協議「算数科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ） センター職員	302 304 305 306 307 308
	14:35	研究協議「道徳・学級活動2)、(3)の授業カンファレンス」 センター職員	
	15:45	リフレクション 3年次研修に向けて	

※ 携行品については、第1日に連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	6月23日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：11月19日（木）	教育研修センター【保健体育A】
	II期：11月26日（木）	教育研修センター【国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育B、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】

※ 第2日の保健体育のA班、B班については、第1日に連絡する。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校）日程表

期日及び時間：6月23日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305 306 308
	9:45	講義・演習・研究協議「よりよい意思決定を目指す学級活動(2)、(3)の授業づくり」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習・研究協議「ともに考えを深める道徳科の授業～ねらいに迫るための発問づくり～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成29年7月 文部科学省
中学校学習指導要領解説 特別活動編 平成29年7月 文部科学省

期日：第2日に向けて事前に視聴（詳細は、Plant に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズNo. 25 https://youtu.be/63KUompCHU0

期日及び時間：【Ⅰ期】11月19日（木） 【Ⅱ期】11月26日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	【教科別研修】 講義・演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	【教科別研修】 演習・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	15:20	リフレクション	
	15:45	3年次研修に向けて	

※ 保健体育は、A班、B班とし、A班は新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校、保健体育）第2日Ⅰ期と合同開催とする。

※ Ⅱ期の音楽及び美術は、新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校、音楽、美術・書道）第2日Ⅱ期と合同開催とする。

※ 携行品については、教科ごとに連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	7月3日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：11月19日（木）	教育研修センター【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、家庭・看護・福祉、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業、水産】
	II期：11月26日（木）	教育研修センター【音楽、美術・書道】

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）日程表

期日及び時間：7月3日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	304 307
	9:45	講義・演習「学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育の充実」 センター職員	
	11:10	講義・研究協議「自発的、自治的な活動を支援するホームルーム経営」 センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒への理解と支援」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒への理解と支援」は、新規採用実習助手研修講座（高等学校）第3日と合同開催とする。

期日：第2日に向けて事前に視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompCHU0

期日及び時間：【I期】11月19日（木）【II期】11月26日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	【教科別研修】 講義・演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	【教科別研修】 演習・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」 センター職員	
	15:20	リフレクション	
	15:45	3年次研修に向けて	

※ I期の保健体育は、新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校、保健体育A班）第2日I期と合同開催とする。

※ II期の音楽及び美術・書道は、新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校、音楽、美術）第2日II期と合同開催とする。

※ 携行品については、教科ごとに連絡する。

令和8年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月24日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	1月22日（金）	

4 日程

第1日の前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「実態把握を生かした自立活動」

期日及び時間：9月24日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	実践発表・研究協議「実態把握を生かした自立活動の実践」 教諭、センター職員	
	11:45	昼食	201 202
	12:45	研究協議「自立活動の指導における実践研究の内容検討」（16分散会） 教諭、センター職員	301 303 305 306
	15:45	リフレクション	307 311

期日及び時間：1月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	発表・研究協議「自立活動の指導における実践研究」（16分散会） 教諭、センター職員	201 202 301 303
	11:45	昼食	304 305
	12:45	発表・研究協議（午前に同じ）	306 307
	15:45	リフレクション	307

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼・小・中）（平成30年3月）

担当：教職教育課
 直通：0296-78-3212

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 期日及び会場

I期：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

区分	期日	会場
第1日	I期：6月19日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
	II期：6月24日（水）	
第2日	I期：12月1日（火）	
	II期：12月15日（火）	

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校）日程表

期日及び時間：【Ⅰ期】6月19日（金）【Ⅱ期】6月24日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 308 312 101 302 303 304 305 306 308 311 312
	9:45	講義・演習「教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント」 センター職員	
	10:45	講義・演習「よりよい意思決定を目指す学級活動(2)、(3)の授業づくりのポイント」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「保護者面談の実際」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：【Ⅰ期】12月1日（火）【Ⅱ期】12月15日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 第2日に向けての事前課題及び当日の携行品については、Plantに掲載する「『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』の進め方」を参照すること。

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	7月9日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：12月11日（金）	教育研修センター【音楽A、美術A、保健体育A】
	II期：12月18日（金）	教育研修センター【国語、社会、数学、理科、音楽B、美術B、保健体育B、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】

※ 第2日の音楽、美術、保健体育のA班、B班については、第1日に連絡する。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校）日程表

期日及び時間：7月9日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	
	9:45	講義・演習「教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント」 センター職員	302 303 305 306
	10:45	講義・演習「よりよい意思決定を目指す学級活動(2)、(3)の授業づくりのポイント」 センター職員	307 308 311 312
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「保護者面談の実際」 センター職員	101 201 202 302 303 305 306 307
	15:45	リフレクション	308 311

期日及び時間：【Ⅰ期】12月11日（金） 【Ⅱ期】12月18日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ Ⅰ期の音楽A班、美術A班、保健体育A班は、新規採用教員〔3年次〕研修講座(高等学校、音楽、美術・書道、保健体育)第2日と合同開催とする。

※ 第2日に向けての事前課題及び当日の携行品については、Plant に掲載する「『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』の進め方」を参照すること。

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	6月26日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	12月11日（金）	

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校）日程表

期日及び時間：6月26日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	304 307
	9:45	講義・演習「教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント」 センター職員	
	11:00	研究協議「ホームルーム経営上の課題と対応」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「保護者面談の実際」 センター職員	303 304 305 306
	15:45	リフレクション	307

期日及び時間：12月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 保健体育、音楽、美術・書道は、新規採用教員〔3年次〕研修講座(中学校、保健体育A班、音楽A班、美術A班)第2日I期と合同開催とする。

※ 第2日に向けての事前課題及び当日の携行品については、Plant に掲載する「『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』の進め方」を参照すること。

令和8年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月29日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	1月19日（火）	

※ B区分採用の者及びスペシャリスト採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 日程

1回目の授業研究実施前までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学習上の課題と対応～評価の工夫を通して～」

期日及び時間：9月29日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	講義・演習「特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進」 センター職員	
	10:35	実践発表・研究協議「評価に基づく授業改善」 教諭、センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	研究協議「評価に基づく授業改善の計画検討」（16分散会） 教諭、センター職員	201 202 301 305 306 307
	15:50	リフレクション	311 312

期日及び時間：1月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	10:00	発表・研究協議「指導と評価の一体化を目指した授業改善」（16分散会） 教諭、センター職員	201 202 301 305
	12:00	昼食	306 307
	13:00	発表・研究協議（午前と同じ）	311 312
	15:15	リフレクション	307
	15:45	修了式	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き

令和8年度 新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座 実施要項

1 目的

学校保健・学校安全における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。

2 対象（条件等）

国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、国立幼稚園の新規採用の養護教諭

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月14日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	5月15日（金）	
第3日	6月11日（木）	
第4日	7月3日（金）	
第5日	9月9日（水）	
第6日	10月21日（水）	所外研修
第7日	11月12日（木）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第8日	2月4日（木）	教育研修センター

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座 日程表

期日及び時間：4月14日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂
	10:00	所長講話「教員としてのスタートに寄せて」 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員のサービスと基本的な心構え～」 義務教育課人事担当課長補佐	
	11:25	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 義務教育課人事担当管理主事	
	12:10	昼食	101
	13:10	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	講堂
	14:20	オリエンテーション センター職員	101
15:50	リフレクション		

※ 開講式、所長講話「教員としてのスタートに寄せて」、講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員のサービスと基本的な心構え～」、講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」、講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）第1日、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：5月15日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	308
	9:40	講義・演習「情報モラル・情報セキュリティ」 センター職員	
	10:40	講義・研究協議「児童生徒の災害共済給付制度」 日本スポーツ振興センター 災害共済給付事業部東京給付課課長補佐	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・研究協議「学校保健の現状と求められる養護教諭の資質・能力」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	15:00	講義・研究協議「求められる養護教諭の役割と保健室経営」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：6月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	304
	9:40	講義・演習「心身の発達と性に関する指導の実際」 筑波大学 名誉教授 野津 有司	
	11:30	講義・演習「自校の課題を踏まえた実践の進め方」 センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「感染症の予防と管理」 茨城県衛生研究所 企画情報部主任	
	15:30	研究協議「感染症の予防と管理～感染症対策の実際～」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：7月3日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	308
	9:40	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 センター職員	
	10:30	実践発表・研究協議「保健室経営の実際」 養護教諭 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「救急処置」 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科部長 関根 一朗	
	14:50	研究協議「保健室の課題」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「教職員のメンタルヘルス」は、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第4日と合同開催とする。

期日及び時間：9月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・演習「不登校児童生徒との関わり」 センター職員	
	10:30	講義・演習「アレルギーへの対応」 鬼沢ファミリークリニック 院長 鬼澤 裕太郎	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習「心肺蘇生法」 いばらき救命教育・AEDプロジェクト 救急法専門職員 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「アレルギーへの対応」、講義・実習「心肺蘇生法」は、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第5日と合同開催とする。

期日及び時間：10月21日（水） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	10:00	開会行事	別途連絡
	10:30	特別支援学校における体験研修 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	(午前に同じ)	
	15:30	閉会行事	

※ 第6日は、所外研修とする。

期日及び時間：11月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・研究協議「特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援」 センター職員	
	10:30	講義・演習「児童生徒のメンタルヘルス」 茨城県精神保健福祉センター 相談援助課係長	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・研究協議「薬物乱用防止教育・がん教育・性に関する指導」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	14:30	講義・演習「保健室での心理的援助の実際」 埼玉県立大学 教授 上原 美子	
	15:50	リフレクション	

※ 第7日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：2月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日	9:30	イントロダクション	304
	9:40	研究協議「自校の課題を踏まえた実践の共有」（4分散会） 第1分散会 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事 第2分散会 センター職員 第3分散会 養護教諭 第4分散会 養護教諭	第1分散会：304 第2分散会：303 第3分散会：305 第4分散会：306
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	15:00	研究協議「1年間の研修を振り返って」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事 センター職員	304
		15:45	修了式

※ 修了式は、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第8日と合同開催とする。

令和8年度 新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座 実施要項

1 目的

学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。

2 対象（条件等）

国公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の新規採用の栄養教諭

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月14日（火）	教育研修センター
第2日	5月22日（金）	〒309-1722 笠間市平町1410
第3日	6月2日（火）	所外研修
第4日	7月3日（金）	
第5日	9月9日（水）	教育研修センター
第6日	10月1日（木）	
第7日	11月5日（木）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第8日	2月4日（木）	教育研修センター

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座 日程表

期日及び時間：4月14日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂
	10:00	所長講話「教員としてのスタートに寄せて」 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」 義務教育課人事担当課長補佐	
	11:25	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 義務教育課人事担当管理主事	
	12:10	昼食	202
	13:10	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	講堂
	14:20	講義・研究協議「栄養教諭に望むこと」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当室長補佐	202
	15:45	オリエンテーション「研修に参加するにあたって」 センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 開講式、所長講話「教員としてのスタートに寄せて」、講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」、講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」、講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）第1日、新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	201
	10:00	講義・研究協議「学校給食衛生管理の基準」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	11:30	講義・研究協議「学校給食関連事故発生時の対応」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「食に関する指導上の課題」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	14:45	実践発表・研究協議「食に関する指導の全体計画」 栄養教諭 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・研究協議「学校給食衛生管理の基準」、講義・研究協議「学校給食関連事故発生時の対応」、講義・演習「食に関する指導上の課題」は、中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：6月2日（火） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	10:00	開会行事	別途連絡
	10:30	授業参観「食に関する指導の実際」 栄養教諭 センター職員	
	11:30	昼食	
	12:30	給食参観「給食指導の実際」 栄養教諭（同上） センター職員	
	13:30	研究協議「食に関する指導の進め方」 栄養教諭（同上） センター職員	
	15:30	閉会行事	

※ 第3日は、所外研修とする。

※ 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

期日及び時間：7月3日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 センター職員	308
	10:30	講義・研究協議「学習指導要領と教科等との関わり」（総合的な学習の時間、体育、家庭科、特別活動） センター職員	311
	12:10	昼食	
	13:10	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 栄養教諭 センター職員	
	14:40	講義・演習「食に関する指導の進め方」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「教職員のメンタルヘルス」は、新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座第4日と合同開催とする。

期日及び時間：9月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	研究協議「食に関する学習指導案の検討」 センター職員	
	10:30	講義・演習「アレルギーへの対応」 医師	307
	12:00	昼食	311
	13:00	講義・実習「心肺蘇生法」 いばらき救命教育・AEDプロジェクト 救急法専門職員 センター職員	307
	15:50	リフレクション	311

※ 講義・演習「アレルギーへの対応」、講義・実習「心肺蘇生法」は、新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座第5日と合同開催とする。

期日及び時間：10月1日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	講義・演習「個別指導に取り組むために」 栄養教諭 センター職員	
	11:20	研究協議「給食の時間における指導の工夫」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「児童生徒の理解と保護者との連携」 センター職員	
	14:00	講義・演習「発達障害等のある児童生徒の理解と支援」 センター職員	
	15:00	講義・演習「情報モラル・情報セキュリティ」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：11月5日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・研究協議「食品の安全性」 保健医療部生活衛生課食の安全対策室食品衛生G係長	
	11:00	実践発表・研究協議「学校給食管理の実際」 栄養教諭 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・研究協議「病状に適した栄養指導」 県立こども病院 栄養科	
	14:30	実践発表・研究協議「給食献立作成上の工夫」 栄養教諭 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 第7日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：2月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	研究協議「実践研究の共有」（第3分散会） 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	第1：311 第2：312 第3：314
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:00	研究協議「1年間の研修を振り返って」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	311
	15:45	修了式	304

※ イントロダクション、研究協議「実践研究の共有」、研究協議「1年間の研修を振り返って」は、中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第5日と合同開催とする。

※ 修了式は、新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座第8日と合同開催とする。

令和8年度 新規採用実習助手研修講座（高等学校） 実施要項

- 1 目的
 実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
 県立高等学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月16日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	4月23日（木）	
第3日	7月3日（金）	
第4日	9月17日（木）	
第5日	11月12日（木）	県立特別支援学校
第6日	1月29日（金）	教育研修センター

- 4 日程
 別紙のとおり
- 5 研修講座資料等
 研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
 第1日 なし
 第2日以降は、別途連絡する。

令和8年度 新規採用実習助手研修講座（高等学校） 日程表

期日及び時間：4月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・イントロダクション	講堂
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～」 高校教育課管理主事	
	11:30	講義・演習「教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～」 センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 総務課福利厚生室 教職員相談室	講堂
	14:00	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	15:10	オリエンテーション センター職員	202
15:50	リフレクション		

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。開講式、所長講話は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第1日、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

※ 指定の期間内に一次救命処置に関する動画を視聴する。詳細は、Plantに掲載する。

期日及び時間：4月23日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 311
	9:45	講義・演習「生徒指導の意義と進め方」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「教育相談の意義と進め方」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第2日と合同開催とする。

期日及び時間：7月3日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	310
	9:40	講義・演習「安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～」 センター職員	
	11:00	講義・実践発表・研究協議「実習助手の職務」 実習教諭、センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒への理解と支援」 センター職員	304 307
	15:45	リフレクション	310

※ 講義・研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒への理解と支援」は、新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。

期日及び時間：9月17日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「学校における教育の情報化の促進」 センター職員	
	11:20	講義・実践発表「遠隔教育の実際」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実習「授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～」 センター職員	204 205 206 207
	15:40	リフレクション	302

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第9日（I期）と合同開催とする。

※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：11月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	特別支援学校における体験研修 センター職員	県立特別支援学校

※ 現地集合、現地解散とする。

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第12日と合同開催とする。

期日及び時間：1月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	310
	9:50	講義・演習「授業への取組の改善」 センター職員	
	10:50	実践発表・研究協議「実習助手としての授業への関わり方」 実習教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「実習助手としての課題とその改善」 高等学校実習教諭、特別支援学校実習教諭、センター職員	
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 研究協議「実習助手としての課題とその改善」および修了式は、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第6日と合同開催とする。

令和8年度 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校） 実施要項

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
県立特別支援学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。
- 3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	4月16日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	4月23日（木）	
第3日	6月4日（木）	
第4日	10月1日（木）	
第5日	1月14日（木）	
第6日	1月29日（金）	

- 4 日程
別紙のとおり
- 5 研修講座資料等
研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
別紙のとおり

令和8年度 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）日程表

期日及び時間：4月16日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	307 308
	10:00	所長講話 教育研修センター所長	
	10:30	講義・演習「国及び本県の特別支援教育の現状と課題」 特別支援教育課指導主事	
	11:30	昼食	
	12:30	講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」 総務課人権教育室指導主事	
	13:40	講義・演習「教職員の服務と教育関連法規」 特別支援教育課管理主事	
	14:40	オリエンテーション「校外研修の内容及び研修に参加するにあたって」 センター職員	201
15:45	リフレクション		

- ※ 開講式、所長講話は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第1日・新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）第1日・新規採用実習助手研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。
- ※ 講義・演習「国及び本県の特別支援教育の現状と課題」、講義・演習「人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～」、講義・演習「教職員の服務と教育関連法規」は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。
- ※ 携行品 令和8年度学校教育指導方針（茨城県教育委員会）、令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、教育例規集、教育小六法
- ※ 指定の期間内に、一次救命処置に関する動画を視聴する。（詳細は、Plantに掲載する。）

期日及び時間：4月23日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習「特別支援学校における教育課程の編成」 特別支援教育課指導主事	
	10:40	講義・演習「児童生徒の実態把握」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・演習「特別支援学校における実習助手の役割」 センター職員	201
	13:45	実践発表「特別支援学校における実習助手の実践と取組」 実習助手、センター職員	
	14:45	研究協議「特別支援学校における実習助手の課題の整理」 実習助手、センター職員	
	15:45	リフレクション	

- ※ 講義・演習「特別支援学校における教育課程の編成」、講義・演習「児童生徒の実態把握」は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第2日と合同開催とする。
- ※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き、特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼・小・中）（平成30年3月）、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）

期日及び時間：6月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	307 308
	10:00	講義・演習「知的障害児の理解と支援」 植草学園大学 特命教授 佐藤 慎二	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「保護者との連携の在り方」 センター職員	
	14:50	講義・演習「教職員のメンタルヘルス」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：10月1日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	204 205 206 207
	9:50	実習「授業におけるICT活用」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「特別支援学校における実習助手の課題と今後の取組」 実習助手、センター職員	201
	15:45	リフレクション	

※ 実習「授業におけるICT活用」は、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第10日と合同開催とする。

期日及び時間：1月14日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	302 304
	9:40	講義・演習「特別支援学校におけるキャリア教育」 センター職員	
	10:40	演習・研究協議「望ましい行動を引き出す支援の在り方」 センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	実践発表・実習「障害者スポーツの実際」 教諭、センター職員	302 アリーナ
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）第13日と合同開催とする。

期日及び時間：1月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	201
	9:40	講義・演習「授業への取組の改善～次年度に向けた実践を考える～」 センター職員	
	10:40	実践発表・研究協議「実習助手としての専門性とキャリアを考える」 特別支援学校実習助手、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「実習助手としての課題とその改善」 特別支援学校実習助手、高等学校実習教諭 センター職員	310
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 研究協議「実習助手としての課題とその改善」、修了式は、新規採用実習助手研修講座（高等学校）第6日、中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第2日と合同開催とする。

令和8年度 新規採用寄宿舍指導員研修講座 実施要項

※ 令和8年度は新規採用者がいないため、本講座は実施しない。

- 1 目的
 実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
 県立特別支援学校新規採用寄宿舍指導員

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 所長講話 国及び本県の特別支援教育の現状と課題 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置
第2日	*月*日（*）	特別支援学校における教育課程の編成 児童生徒の実態把握 寄宿舍指導員の役割 寄宿舍指導員の支援の実際
第3日	*月*日（*）	知的障害児の理解と支援 保護者との連携の在り方 教職員のメンタルヘルス
第4日	*月*日（*）	授業におけるICT活用 寄宿舍指導員としてのこれから
第5日	*月*日（*）	特別支援学校におけるキャリア教育 望ましい行動を引き出す支援の在り方 障害者スポーツの実際
第6日	*月*日（*）	寄宿舍における危機管理 寄宿舍における余暇活動 寄宿舍指導員としての今後の課題 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 新規採用市町村立学校事務職員研修講座 実施要項

1 目的

公務員としての心構えと職務上必要な基礎的知識及び技能を習得し、事務職員としての自覚を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

令和8年4月1日付け採用の県費負担市町村立学校事務職員

3 期日及び会場

第1日 5月14日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 9月10日（木） 同上

4 日程

期日及び時間：5月14日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式・所長講話・イントロダクション	101
	10:00	講義・演習「事務職員の服務及び接遇～基礎基本を身に付ける～」 義務教育課担当	
	10:30	講義・演習「給与事務の基礎Ⅰ」 総務課給与担当	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「正確な事務処理・効率的な業務の進め方の実践」 市町村立学校事務職員	
	13:40	実践発表・演習「財務事務を考える～学校徴収金の取扱いを中心に～」 市町村立学校事務職員	
	14:30	研究協議「事務職員としての服務、人間関係の構築を求めて」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：9月10日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「人権教育の現状と課題－基礎編－」 総務課人権教育室担当	
	10:20	講義・演習「生徒指導の現状－基礎編－」 生徒支援・いじめ対策推進室担当	
	11:10	講義・演習「本県教育の現状を知る」 義務教育課管理主事	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「給与事務の基礎Ⅱ」 総務課給与担当	
	14:20	実践発表「学校事務の共同実施の実践」 市町村立学校事務職員	
	14:50	研究協議「事務職員としての知識及び技能の向上を求めて」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 茨城県市町村立学校事務職員初任者ハンドブックー学校事務をつかさどる学校事務職員としてー
- (2) 給与事務の手引（最新版）
- (3) 学校教育指導方針
- (4) 電卓

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月29日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：6月16日（火）	
	II期：6月17日（水）	
	III期：6月19日（金）	
	IV期：6月23日（火）	
	V期：6月24日（水）	
第3日	7月1日（水）	教育研修センター【算数、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語活動・外国語、自立活動】 オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）【国語、社会、理科】
第4日	9月4日（金）	教育研修センター【国語、算数、理科、生活、音楽、家庭、体育、外国語活動・外国語、自立活動】 県立歴史館【社会】 〒310-0034 水戸市緑町2丁目1-15 県陶芸美術館【図画工作】 〒309-1611 笠間市笠間2345
第5日	I期：10月23日（金）	教育研修センター【国語、社会、理科、生活、音楽、図画工作、体育、自立活動】
	II期：11月27日（金）	教育研修センター【算数、家庭、外国語活動・外国語】
第6日	12月10日（木）	オンライン研修
第7日	2月18日（木）	教育研修センター【国語、算数、体育】 オンライン研修【社会、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、外国語活動・外国語、自立活動】

※ 第2日のI期～V期の市町村等については、次ページの表1のとおり。

※ 第3日からの教科別研修の選択教科については、第1日に希望教科を調査し、決定後、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。

※ 教科別研修の期日、会場（実施方法）は、次ページの表2のとおり。

表1：第2日のI期～V期の市町村等

市町村名等	
I期：6月16日（火）	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市、稲敷市、かすみがうら市
II期：6月17日（水）	笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、筑西市、桜川市、五霞町、境町、国立小学校
III期：6月19日（金）	つくば市、つくばみらい市
IV期：6月23日（火）	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、牛久市、美浦村、阿見町、河内町、利根町、下妻市、坂東市
V期：6月24日（水）	取手市、守谷市、古河市、結城市、常総市、八千代町、※

※ スペシャリスト採用の者はV期とする。

表2：教科別研修

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月1日（水） オンライン研修	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） 教育研修センター
社会	7月1日（水） オンライン研修	9月4日（金） 県立歴史館	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
算数	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	11月27日（金） 教育研修センター	2月18日（木） 教育研修センター
理科	7月1日（水） オンライン研修	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
生活	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
音楽	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
図画工作	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 県陶芸美術館	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
家庭	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	11月27日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
体育	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） 教育研修センター
外国語活動 外国語	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	11月27日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修
自立活動	7月1日（水） 教育研修センター	9月4日（金） 教育研修センター	10月23日（金） 教育研修センター	2月18日（木） オンライン研修

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

別紙

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校）日程表

期日及び時間：5月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	101 302
	9:45	イントロダクション	303 304
	10:00	講義・演習「問題行動・不登校等における専門家との連携」 センター職員、臨床心理士 守屋 英子	305 306
			307 308
	12:30	昼食	311 312
	13:30	演習「特別な教育的支援を必要とする児童への対応」 センター職員	101 302
	14:30	研究協議「特別な教育的支援を必要とする児童のケース会議の進め方」 センター職員	303 304
305 306			
15:50	リフレクション	307 308	

期日及び時間：【Ⅰ期】6月16日（火）【Ⅱ期】6月17日（水）【Ⅲ期】6月19日（金）
【Ⅳ期】6月23日（火）【Ⅴ期】6月24日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・実践発表「授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～」 教諭、センター職員	307
	11:00	演習・実習「探究的な学習におけるICT活用」 センター職員	204 205
			206 207
	12:00	昼食	
	13:00	演習・実習（午前と同じ）	204 205
15:45	リフレクション	206 207	

※ 第2日は、Ⅰ期～Ⅴ期に分けて実施する。

※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：7月1日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:45	（公開講義_教科07） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 早稲田大学 教授 田中 博之	
	11:45	昼食	
	12:45	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	

※ 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」は、公開講義とする。

期日及び時間：9月4日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

※ 社会は、思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）【A班】第1日と合同開催とする。

※ 社会と図画工作は所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

※ 図画工作の研修時間は10時～16時30分（受付開始9時30分）とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】10月23日（金） 【Ⅱ期】11月27日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

期日：第6日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
事前 視聴		文部科学省 道徳教育アーカイブ 実践事例 授業映像 「小学校」の中から自分で選んだ授業 https://doutoku.mext.go.jp/html/about.html	
		国立教育政策研究所 小学校特別活動映像資料 児童会活動の指導のポイント https://www.youtube.com/watch?v=afK4gBM_xR0	
		国立教育政策研究所 小学校特別活動映像資料 委員会活動の指導のポイント https://www.youtube.com/watch?v=FZelgzWmM4I	

期日及び時間：12月10日（木） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	13:00	イントロダクション	オンライン
	13:10	講義・演習「学校のリスクマネジメント」 センター職員	
	14:10	講義・演習「考え、議論する道徳科の授業」 センター職員	
	15:10	講義・演習「自治的能力を育むための学級経営、特別活動の工夫改善」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 第6日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：2月18日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡 (公開講義 教科24) (図画工作) 講義・研究協議「豊かな情操を培う造形遊び」 茨城大学 准教授 小口 あや	別途連絡
	15:45	後期に向けて	

※ 図画工作の講義・研究協議「豊かな情操を培う造形遊び」は、公開講義とする。

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月15日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：5月21日（木）	
	II期：5月27日（水）	
	III期：5月28日（木） IV期：5月29日（金）	
第3日	7月7日（火）	教育研修センター【数学、音楽、美術、保健体育、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）【国語、社会、理科】
第4日	I期：9月15日（火）	教育研修センター【音楽、美術、保健体育】
	II期：9月18日（金）	教育研修センター【国語、数学、理科、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 県立歴史館【社会】 〒310-0034 水戸市緑町2丁目1-15
第5日	I期：10月14日（水）	教育研修センター【国語、社会、理科、美術A班】
	II期：11月17日（火）	教育研修センター【音楽A班】
	III期：11月20日（金）	教育研修センター【数学、音楽B班、美術B班、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 笠松運動公園【保健体育】 〒312-0001 ひたちなか市大字佐和2197-28
第6日	12月4日（金）	オンライン研修
第7日	I期：2月2日（火）	オンライン研修【音楽、美術】
	II期：2月12日（金）	教育研修センター【国語、数学、保健体育】 オンライン研修【社会、理科、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】

※ 第2日のI期～IV期の市町村等については、次ページの表1のとおり。

※ 第3日、第4日、第5日、第7日は教科別研修。期日、会場（実施方法）は、次ページの表2のとおり。

※ 第5日の音楽と美術の班分けについては、第1日に連絡する。

表1：第2日のI期～IV期の市町村等

市町村名等	
I期：5月21日（木）	常陸太田市、高萩市、北茨城市、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市、土浦市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市
II期：5月27日（水）	笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、日立市、龍ヶ崎市、取手市、※
III期：5月28日（木）	石岡市、牛久市、つくば市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
IV期：5月29日（金）	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町、国立中学校、県立中等教育学校（前期）、県立中学校

※ スペシャリスト採用の者はII期とする。

表2：教科別研修

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月7日（火） オンライン研修	9月18日（金） 教育研修センター	10月14日（水） 教育研修センター	2月12日（金） 教育研修センター
社会	7月7日（火） オンライン研修	9月18日（金） 県立歴史館	10月14日（水） 教育研修センター	2月12日（金） オンライン研修
数学	7月7日（火） 教育研修センター	9月18日（金） 教育研修センター	11月20日（金） 教育研修センター	2月12日（金） 教育研修センター
理科	7月7日（火） オンライン研修	9月18日（金） 教育研修センター	10月14日（水） 教育研修センター	2月12日（金） オンライン研修
音楽	7月7日（火） 教育研修センター	9月15日（火） 教育研修センター	A班：11月17日（火） B班：11月20日（金） 教育研修センター	2月2日（火） オンライン研修
美術	7月7日（火） 教育研修センター	9月15日（火） 教育研修センター	A班：10月14日（水） B班：11月20日（金） 教育研修センター	2月2日（火） オンライン研修
保健体育	7月7日（火） 教育研修センター	9月15日（火） 教育研修センター	11月20日（金） 笠松運動公園	2月12日（金） 教育研修センター
技術・家庭 〔技術〕	7月7日（火） 教育研修センター	9月18日（金） 教育研修センター	11月20日（金） 教育研修センター	2月12日（金） オンライン研修
技術・家庭 〔家庭〕	7月7日（火） 教育研修センター	9月18日（金） 教育研修センター	11月20日（金） 教育研修センター	2月12日（金） オンライン研修
外国語 （英語）	7月7日（火） 教育研修センター	9月18日（金） 教育研修センター	11月20日（金） 教育研修センター	2月12日（金） オンライン研修

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から 資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）日程表

期日及び時間：5月15日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	101 301
	9:45	イントロダクション	302 303
	10:00	講義・演習「問題行動・不登校等における専門家との連携」 センター職員、臨床心理士 守屋 英子	304 305 306 311
	12:30	昼食	312
	13:30	演習「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応」 センター職員	101 302
	14:30	研究協議「特別な教育的支援を必要とする児童生徒のケース会議の進め方」 センター職員	303 304 305 306
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：【Ⅰ期】5月21日（木）【Ⅱ期】5月27日（水）【Ⅲ期】5月28日（木）【Ⅳ期】5月29日（金）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	
	9:40	講義・実践発表「授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～」 教諭、センター職員	204 207
	11:00	演習・実習「探究的な学習におけるICT活用」 センター職員	204 205 206 207
	12:00	昼食	
	13:00	演習・実習（午前と同じ）	204 205
	15:45	リフレクション	206 207

※ 第2日は、Ⅰ期～Ⅳ期に分けて実施する。

※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：7月7日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:45	（公開講義 教科09） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 文部科学省初等中等教育局 主任視学官 田村 学	
	11:45	昼食	
	12:45	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	

※ 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」は、公開講義とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月15日（火）【Ⅱ期】9月18日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡 （公開講義_教科18）（国語） 講義・研究協議「国語科の授業づくりと評価の改善」 国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官 山内 裕介 （公開講義_教科17）（数学） 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 文教大学 教授 永田 潤一郎	別途連絡

- ※ Ⅰ期の音楽、美術、保健体育は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、音楽、美術・書道、保健体育）第4日（Ⅳ期）と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の社会は、思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）【B班】第1日と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の社会は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。
- ※ Ⅱ期の数学は、「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座【B班】第1日と一部合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の国語の講義・研究協議「国語科の授業づくりと評価の改善」は、公開講義とする。
- ※ Ⅱ期の数学の講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、公開講義とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】10月14日（水）【Ⅱ期】11月17日（火）【Ⅲ期】11月20日（金）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

- ※ Ⅰ期・Ⅲ期の美術は、A班・B班とし、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、美術・書道）第5日（Ⅲ期・Ⅴ期）と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期・Ⅲ期の音楽は、A班・B班とし、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、音楽）第5日（Ⅳ期・Ⅴ期）と合同開催とする。
- ※ Ⅲ期の保健体育は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、保健体育）第5日（Ⅴ期）と合同開催とする。
- ※ Ⅲ期の保健体育は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

期日：第6日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
事前 視聴		文部科学省 道德教育アーカイブ 実践事例 授業映像 「中学校」の中から自分で選んだ授業 https://doutoku.mext.go.jp/html/about.html	
		国立教育政策研究所 小学校特別活動映像資料 児童会活動の指導のポイント https://www.youtube.com/watch?v=afK4gBM_xRO	
		国立教育政策研究所 小学校特別活動映像資料 委員会活動の指導のポイント https://www.youtube.com/watch?v=FZelgzWmM4I	

期日及び時間：12月4日（金） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	13:00	イントロダクション	オンライン
	13:10	講義・演習「学校のリスクマネジメント」 センター職員	
	14:10	講義・演習「考え、議論する道德科の授業」 センター職員	
	15:10	講義・演習「自治的能力を育むための学級経営、特別活動の工夫改善」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

- ※ 第6日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】2月2日（火）【Ⅱ期】2月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡 （公開講義_教科22）（美術） 講義・研究協議「創造的思考力を育むアート」 武蔵野美術大学 准教授 石川 卓磨 （公開講義_教科23）（理科） 講義・研究協議「創造的な学びに着目した理科教育」 玉川大学教職大学院 教授 久保田 善彦	別途連絡
	15:45	後期に向けて	

※ Ⅰ期の音楽、美術は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、音楽、美術・書道）第7日と合同開催とする。

※ Ⅱ期の数学は、「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座【B班】第2日と一部合同開催とする。

※ Ⅰ期の美術の講義・研究協議「創造的思考力を育むアート」は、公開講義とする。

※ Ⅱ期の理科の講義・研究協議「創造的な学びに着目した理科教育」は、公開講義とする。

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月22日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	I期：6月10日（水） II期：6月11日（木）	
第3日	6月26日（金）	教育研修センター【数学、保健体育、音楽、美術・書道、家庭、看護・福祉、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業、水産】 オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）【国語、地理歴史・公民、理科】
第4日	I期：9月2日（水）	オンライン研修【看護・福祉】
	II期：9月4日（金）	午前：株式会社カスミつくばセンター【商業、水産】 〒305-0831 つくば市西大橋599-1 午後：株式会社カスミ中央流通センター【同上】 〒315-0056 かすみがうら市上稲吉2045-1
	III期：9月11日（金）	県立産業技術短期大学校（県立IT短大）【情報】 〒311-1131 水戸市下大野町6342 株式会社ティー・エム・ピー【工業】 〒319-1234 日立市大和田町645
	IV期：9月15日（火）	教育研修センター【国語、数学、理科、保健体育、音楽、美術・書道、外国語（英語）、家庭】 県立歴史館【地理歴史・公民】 〒310-0034 水戸市緑町2丁目1-15
	V期：10月23日（金）	県農業総合センター農業研究所【農業】 〒311-4203 水戸市上国井町3402
第5日	I期：9月25日（金）	教育研修センター【水産】
	II期：10月7日（水）	教育研修センター【国語、地理歴史・公民、理科、情報、農業、工業、商業】
	III期：10月14日（水）	教育研修センター【美術・書道A班】
	IV期：11月17日（火）	教育研修センター【数学、音楽A班、外国語（英語）、家庭、看護・福祉】
	V期：11月20日（金）	教育研修センター【音楽B班、美術・書道B班】 笠松運動公園【保健体育】 〒312-0001 ひたちなか市大字佐和2197-28
第6日	12月1日（火）	オンライン研修
第7日	2月2日（火）	教育研修センター【国語、数学、保健体育、情報、農業、工業、商業、水産】 オンライン研修【地理歴史・公民、理科、音楽、美術・書道、外国語（英語）、家庭、看護・福祉】

- ※ 第2日の期分けについては、5月上旬に、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。
- ※ 第5日の音楽、美術・書道の班分けについては、第1日に連絡する。
- ※ 教科別研修の詳細は、次ページの表のとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	6月26日(金) オンライン研修	9月15日(火) 教育研修センター	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
地理歴史・公民	6月26日(金) オンライン研修	9月15日(火) 県立歴史館	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
数学	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	11月17日(火) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
理科	6月26日(金) オンライン研修	9月15日(火) 教育研修センター	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
保健体育	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	11月20日(金) 笠松運動公園	2月2日(火) 教育研修センター
音楽	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	A班:11月17日(火) B班:11月20日(金) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
美術・書道	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	A班:10月14日(水) B班:11月20日(金) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
外国語 (英語)	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	11月17日(火) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
家庭	6月26日(金) 教育研修センター	9月15日(火) 教育研修センター	11月17日(火) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
看護・福祉	6月26日(金) 教育研修センター	9月2日(水) オンライン研修	11月17日(火) 教育研修センター	2月2日(火) オンライン研修
情報	6月26日(金) 教育研修センター	9月11日(金) 県立産業技術短期大学 校(県立IT短大)	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
農業	6月26日(金) 教育研修センター	10月23日(金) 県農業総合センター 農業研究所	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
工業	6月26日(金) 教育研修センター	9月11日(金) 株式会社ティー ・エム・ピー	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
商業	6月26日(金) 教育研修センター	9月4日(金) 株式会社カスミつくば センター・株式会社カ スミ中央流通センター	10月7日(水) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター
水産	6月26日(金) 教育研修センター	9月4日(金) 株式会社カスミつくば センター・株式会社カ スミ中央流通センター	9月25日(金) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター

4 日程
別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）日程表

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	9:45	イントロダクション	
	10:00	講義・演習「問題行動・不登校等における専門家との連携」 センター職員、臨床心理士 深谷 佳子	206 301 303 305 310 311 312
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」 センター職員	301 302 303
	14:30	研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅰ」 センター職員	302 304 307 308
	15:45	リフレクション	

※ 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日、中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」は、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅰ」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】6月10日（水）【Ⅱ期】6月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	講義・実践発表「授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～」 教諭、センター職員	
	11:00	演習・実習「探究的な学習におけるICT活用」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・実習（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 第2日は、Ⅰ期、Ⅱ期に分けて実施する。

※ 携行品 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

期日及び時間：6月26日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:45	（公開講義 教科05） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 白水 始	
	11:45	昼食	
	12:45	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	

※ 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」は、公開講義とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月2日(水) 【Ⅱ期】9月4日(金) 【Ⅲ期】9月11日(金) 【Ⅳ期】9月15日(火)
 【Ⅴ期】10月23日(金) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡 (公開講義_教科15) (数学) 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉	別途連絡

- ※ Ⅰ期の看護・福祉は、埼玉県立総合教育センターとオンラインによる一部合同開催とする。
- ※ Ⅰ期の看護・福祉は、新規採用教員〔初任者〕研修講座(高等学校、看護・福祉)第8日(Ⅰ期)と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の商業は、体験する商業教育研修講座と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の商業は、水産と合同開催とする。
- ※ Ⅲ期の情報は、情報科教育研修講座第1日と合同開催とする。
- ※ Ⅳ期の地理歴史・公民は、思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり研修講座(社会・地理歴史・公民)【C班】第1日と合同開催とする。
- ※ Ⅳ期の数学は、「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座【C班】第1日と一部合同開催とする。
- ※ Ⅳ期の保健体育、音楽、美術・書道は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、保健体育、音楽、美術)第4日(Ⅰ期)と合同開催とする。
- ※ Ⅱ期の商業、水産、Ⅲ期の情報、工業、Ⅳ期の地理歴史・公民、Ⅴ期の農業は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。
- ※ Ⅳ期の数学の講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、公開講義とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】9月25日(金) 【Ⅱ期】10月7日(水) 【Ⅲ期】10月14日(水)
 【Ⅳ期】11月17日(火) 【Ⅴ期】11月20日(金) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日		【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡	別途連絡

- ※ Ⅰ期の水産は、福島県教育センターとオンラインによる合同開催とする。
- ※ Ⅲ期・Ⅴ期の美術・書道は、A班・B班とし、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、美術)第5日(Ⅰ期・Ⅲ期)と合同開催とする。
- ※ Ⅳ期・Ⅴ期の音楽は、A班・B班とし、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、音楽)第5日(Ⅱ期・Ⅲ期)と合同開催とする。
- ※ Ⅴ期の保健体育は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、保健体育)第5日(Ⅲ期)と合同開催とする。
- ※ Ⅴ期の保健体育は、所外研修とし、現地集合、現地解散とする。

期日及び時間：12月1日(火) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校のリスクマネジメント」 センター職員	
	11:05	講義・演習「自己実現を支援するキャリア教育の充実」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「生徒がつくる特別活動の工夫改善～自治的能力の育成の視点から～」 センター職員	
	14:45	講義・演習「高等学校における道德教育の充実」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

- ※ 第6日はオンライン研修とする。
- ※ 講義・演習「学校のリスクマネジメント」、講義・演習「自己実現を支援するキャリア教育の充実」は中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座(高等学校)第2日と合同開催とする。

期日及び時間：2月2日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	【教科別研修】 日程詳細・内容等は教科ごとに別途連絡 （公開講義_教科21）（理科） 講義・研究協議「創造的な学びに着目した理科教育」 日本大学 教授 野内 頼一 （公開講義_教科22）（美術・書道） 講義・研究協議「創造的思考力を育むアート」 武蔵野美術大学 准教授 石川 卓磨	別途連絡
	15:45	後期に向けて	

※ 数学は、「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座【C班】第2日と一部合同開催とする。

※ 音楽、美術・書道は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、音楽、美術）第7日（I期）と合同開催とする。

※ 理科の講義・研究協議「創造的な学びに着目した理科教育」は、公開講義とする。

※ 美術・書道の講義・研究協議「創造的思考力を育むアート」は、公開講義とする。

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月22日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月11日（木）	
第3日	7月8日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第4日	10月8日（木）	教育研修センター
第5日	10月27日（火）	
第6日	12月11日（金）	
第7日	2月16日（火）	オンライン研修

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）日程表

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	9:45	イントロダクション	
	10:10	講義・演習「ミドルリーダーに向けての心構え」 センター職員	
	11:05	演習・実践発表「児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の進め方」 教諭、センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「特別支援学校のセンター的機能とその役割～専門性を生かした積極的な地域支援～」 センター職員	
	14:30	研究協議「高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」 センター職員	302 304 307 308
	15:45	リフレクション	

※ 開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日・中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日・中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。研究協議「高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。講義・演習「ミドルリーダーに向けての心構え」は、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

※ 携行品 令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き

期日及び時間：6月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	10:00	講義・演習「自立活動の指導における工夫・改善」 大学教授	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・研究協議「自立活動の指導における工夫・改善～児童生徒が主体的に取り組むための授業づくり～」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学年・学級経営における生徒指導～チーム学校による体制づくり～」 センター職員	
	11:10	研究協議「児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の計画検討」（13分散会） 教諭、センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	研究協議（午前と同じ）	
	15:50	リフレクション	

※ 第3日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：10月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	307
	10:00	講義・演習「学習指導要領と特別支援学校の授業づくり～主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント～」 茨城大学 教授 新井 英靖	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・実践発表・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：10月27日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	演習・研究協議「子供の思考を促す特別の教科道徳の授業づくり」 センター職員	
	11:40	昼食	201 202
	12:40	研究協議「児童生徒の課題解決を目指した事例研究の中間検討」（13分散会） 教諭、センター職員	205 301 303 304 305 306 307 311
	15:50	リフレクション	312 314

期日及び時間：12月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・演習「キャリア形成支援の充実」 センター職員	
	10:30	講義・演習「福祉事業所との連携の実際」 社会福祉法人ユアアイ村 理事長 藤澤 利枝	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ICTを活用した授業の工夫」 センター職員	
	13:40	実践発表「特別支援学校におけるICTを活用した授業実践」 教諭、センター職員	
	14:20	演習・研究協議「特別支援学校におけるICTを活用した授業実践」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「キャリア形成支援の充実」、講義・演習「福祉事業所との連携の実際」、講義・演習「ICTを活用した授業の工夫」、実践発表「特別支援学校におけるICTを活用した授業実践」は、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第2日と合同開催とする。

期日及び時間：2月16日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	発表・研究協議「児童生徒の課題の解決を目指した事例研究」（13分散会） 教諭、センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	発表・研究協議（午前に同じ）	
	15:50	リフレクション	

※ 第7日は、オンライン研修とする。

令和8年度 中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座 実施要項

1 目的

中堅養護教諭として、学校保健や学校安全に関する基本的事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象(条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、国立幼稚園
職	養護教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月22日(金)	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月24日(水)	所外研修
第3日	9月18日(金)	教育研修センター
第4日	11月19日(木)	
第5日	2月10日(水)	

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座 日程表

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	207
	9:45	イントロダクション	
	10:00	オリエンテーション「中堅養護教諭〔前期〕に望むこと」 センター職員	
	10:30	実践発表・研究協議「保健室経営を振り返って」 養護教諭 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・研究協議「学校保健・学校安全の動向」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	207
	14:20	講義・演習・研究協議「自校の課題を踏まえた実践の進め方」 センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：6月24日（水） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	10:00	開会行事	別途連絡
	10:30	授業参観「健康教育におけるティーム・ティーチングの実際」 養護教諭 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「健康教育の進め方」 養護教諭（午前に同じ） センター職員	
	15:30	閉会行事	

※ 第2日は、所外研修とする。

期日及び時間：9月18日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義「精神保健」 県立こころの医療センター 医師	
	11:30	昼食	
	12:30	講義・研究協議「児童生徒への福祉的支援の実際」 笠間市教育委員会 スクールソーシャルワーカー	
	13:50	講義・演習「健康相談」 茨城キリスト教大学 教授 松永 恵	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：11月19日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・実習「心肺蘇生法」 いばらき救命教育・AEDプロジェクト 救急法専門職員 センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「健康相談の見直しと連携の進め方」 杏林大学 教授 亀崎 路子	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：2月10日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	研究協議「自校の課題を踏まえた実践の共有」（5分散会） 第1分散会 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事 第2分散会 養護教諭 第3分散会 養護教諭 第4分散会 センター職員 第5分散会 センター職員	第1分散会：307（前） 第2分散会：307（後） 第3分散会：301 第4分散会：309 第5分散会：314
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	15:45	中堅後期に向けて センター職員	307
	15:50	リフレクション	

令和8年度 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座 実施要項

1 目的

中堅栄養教諭として、学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校
職	栄養教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月22日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月2日（火）	所外研修
第3日	7月2日（木）	教育研修センター
第4日	9月11日（金）	
第5日	2月4日（木）	

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

期日及び時間：5月22日（金）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	9:45	イントロダクション	201
	10:00	講義・研究協議「学校給食衛生管理の基準」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	11:30	講義・研究協議「学校給食関連事故発生時の対応」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「食に関する指導上の課題」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	14:45	研究協議「食に関する指導上の課題」 センター職員	202
15:50	リフレクション	201	

※ 開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

※ 講義・研究協議「学校給食衛生管理の基準」、講義・研究協議「学校給食関連事故発生時の対応」、講義・演習「食に関する指導上の課題」は、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第2日と合同開催とする。

期日及び時間：6月2日（火）10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	10:00	開会行事	別途連絡
	10:30	授業参観「食に関する指導の実際」 栄養教諭 センター職員	
	11:30	昼食	
	12:30	給食参観「給食指導の実際」 栄養教諭 センター職員	
	13:30	研究協議「食に関する指導の進め方」 栄養教諭 センター職員	
	15:30	閉会行事	

※ 第2日は、所外研修とする。

※ 新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第3日と合同開催とする。

期日及び時間：7月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	講義・研究協議「栄養教諭を中核とした学校の食育の在り方」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	
	11:00	実践発表・研究協議「個別的な相談指導」 栄養教諭 センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	実践発表・研究協議「衛生管理・栄養管理の現状と課題」 栄養教諭 センター職員	
	14:30	講義・演習「実践研究の進め方」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：9月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	研究協議「実践研究の中間検討」（3分散会） 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	第1：311 第2：312 第3：314
	11:00	実践発表・研究協議「地場産物を活用した献立作成上の工夫」 栄養教諭 センター職員	311
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・研究協議「給食を生きた教材として活用した食に関する指導の工夫」 栄養教諭 センター職員	
	14:00	講義・演習「食に関する指導に係る全体計画の作成」 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 学校給食調査官 齊藤 るみ	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：2月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	研究協議「実践研究の共有」（第3分散会） 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	第1：311 第2：312 第3：314
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:00	研究協議「1年間の研修を振り返って」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	311
	15:45	中堅後期に向けて センター職員	311

※ イントロダクション、研究協議「実践研究の共有」、研究協議「1年間の研修を振り返って」は、新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座第8日と合同開催とする。

令和8年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的
中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校
職	実習助手、実習講師
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

第1日 5月22日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日 12月1日（火） 同上

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

第1日 なし
第2日 別途連絡する。

令和8年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校） 日程表

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	9:45	イントロダクション	101
	10:00	講義・演習「問題行動・不登校等における専門家との連携」 センター職員、臨床心理士 深谷 佳子	206 301 303 305 310 311 312
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」 センター職員	301 302 303
	14:30	研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅰ」 センター職員	302 304 307 308
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日、中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」は、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅰ」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日、中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

期日及び時間：12月1日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	205
	9:45	講義・演習「学校のリスクマネジメント」 センター職員	
	11:05	講義・演習「自己実現を支援するキャリア教育の充実」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「学習指導要領と授業への関わり方」 センター職員	
	14:40	研究協議「実習助手としての課題とその改善」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「学校のリスクマネジメント」、講義・演習「自己実現を支援するキャリア教育の充実」は中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第6日と合同開催とする。

令和8年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的
中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

第1日 5月22日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日 12月11日（金） 同上

4 日程

期日及び時間：5月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	講堂
	9:45	イントロダクション	307
	10:10	講義・演習「ミドルリーダーに向けての心構え」 センター職員	
	11:05	講義・演習「特別支援学校における実習助手としての役割～チームでの支援を中心に～」 センター職員	306
	12:30	昼食	講堂
	13:30	講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」 センター職員	
	14:30	研究協議「高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」 センター職員	
	15:45	リフレクション	302 304 307 308

※ 開講式は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日・中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日・中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日・中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座第1日・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。研究協議「高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）・中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）と合同開催とする。講義・演習「ミドルリーダーに向けての心構え」は中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。講義・演習「特別な教育的支援を必要とする生徒への対応」は中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）・中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）と合同開催とする。

期日及び時間：12月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・演習「キャリア形成支援の充実」 センター職員	
	10:30	講義・演習「福祉事業所との連携の実際」 社会福祉法人ユアアイ村 理事長 藤澤 利枝	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ICTを活用した授業の工夫」 センター職員	
	13:40	実践発表「特別支援学校におけるICTを活用した授業実践」 教諭、センター職員	
	14:20	研究協議「特別支援学校における実習助手としての課題とその改善」 センター職員	306
15:45	リフレクション		

※ 講義・演習「キャリア形成支援の充実」、講義・演習「福祉事業所との連携の実際」、講義・演習「ICTを活用した授業の工夫」、実践発表「特別支援学校におけるICTを活用した授業実践」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第6日と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 中堅寄宿舍指導員〔前期〕資質向上研修講座 実施要項

※ 令和8年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 ミドルリーダーに向けての心構え 寄宿舍における教育相談 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	*月*日（*）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 ICTを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるICTを活用した授業実践 寄宿舍における課題解決に向けての取組

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 6年次市町村立学校事務職員研修講座 実施要項

1 目的

若手事務職員として児童生徒の教育活動に貢献するため、職務上の基本的問題を取り上げ、業務に直接関わる研修を行い、職場への一層の適応力を養う。

2 対象（条件等）

令和8年度に6年次を迎える県費負担市町村立学校事務職員

3 期日及び会場

第1日 5月28日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 9月17日（木） 同上

4 日程

期日及び時間：5月28日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）【午前：市町村立学校新任主任研修講座と合同開催】

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308
	9:40	講義・演習「給与事務－応用編－」 総務課給与担当	
	11:10	講義「生徒指導の現状と課題－実践編－」 生徒支援・いじめ対策推進室室長補佐	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「人権教育の現状と課題－実践編－」 総務課人権教育室社会教育主事	
	13:50	講義「学校教育におけるカリキュラム・マネジメントに関する事務職員の果たす役割」 大阪教育大学 准教授 田中 真秀	
	15:20	研究協議「若手事務職員としての役割とは」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：9月17日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	実践発表「若手事務職員としてのリスクマネジメントの実践」 市町村立学校事務職員	
	10:20	実践発表「若手事務職員としての学校組織マネジメントの実践」 市町村立学校事務職員	
	11:00	実践発表「若手事務職員としての財務マネジメントの実践(学校徴収金を含む)」 市町村立学校事務職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「若手事務職員としての財務マネジメントとカリキュラム・マネジメントを考える(学校徴収金を含む)」 義務教育課管理主事、センター職員	
	14:00	研究協議「マネジメント業務に関わる事務職員を目指して」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 電卓
- (5) 所属校の学校グラウンドデザイン

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程
職	教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

【共通研修】

区分	期日	会場
第1日	6月9日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月17日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第3日	7月8日（水）	オンライン研修
第4日	10月2日（金）	教育研修センター
第6日	12月8日（火）	オンライン研修

【選択研修】

区分	期日	分野	会場
第5日	10月27日（火）	道徳教育	教育研修センター
	10月30日（金）	マネジメント	
	11月10日（火）	教育相談	
	11月20日（金）	情報教育	オンライン研修
	11月24日（火）	特別支援教育	オンライン研修
	*月*日（*）	キャリア教育	未定（県内の企業）

※【選択研修】は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校、高等学校、特別支援学校）と合同開催とする。

※【選択キャリア教育】の期日、会場については、第1日に知らせる。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

【共通研修】

期日及び時間：6月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302 304 305 306 307 308 講堂
	9:45	講義・演習「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	10:55	研究協議「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」 センター職員	
	14:40	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【共通研修】

期日及び時間：6月17日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校教育と教育法規」 義務教育課管理主事	
	11:15	講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	14:25	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:45	リフレクション	

※ 第2日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 人権教育指導資料 第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会

【共通研修】

期日及び時間：7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 第3日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第3日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第3日と合同開催とする。

※ 携行品

- (1) 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 文部科学省
 (2) 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【共通研修】

期日及び時間：10月2日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	101 301 302 303 304 305 306 307 308 311
	9:40	講義・演習「児童生徒を支援する関係法規」 センター職員	
	10:35	講義・演習「関係機関との連携の実際」 福祉相談センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第4日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第4日と合同開催とする。

【共通研修】

期日及び時間：12月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「組織的な授業改善を目指した校内研修の企画と提案」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:20	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 第6日は、オンライン研修とする。

※ イントロダクション、講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」、リフレクション、修了式は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第6日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第6日と合同開催とする。

※ 携行品 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【選択研修 道徳教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方

期日及び時間：10月27日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	204 302 308
	9:40	講義・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	演習・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校で使用している道徳科の教科書

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編 文部科学省

【選択研修 マネジメント】

期日及び時間：10月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	演習「中堅教員に求められるマネジメント力」 センター職員	
	11:00	演習「自己実現のためのセルフマネジメント」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「実践発表校の教育課題解決への取組から」 教諭、センター職員	
	14:30	演習・研究協議「自校の教育課題解決に向けた構想」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校のグランドデザイン

【選択研修 教育相談】

期日及び時間：11月10日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 308
	9:45	講義・演習「問題行動等の未然防止の理論と方法」 センター職員	
	10:20	講義・演習「児童生徒のよさや可能性を伸ばす関わり」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 講義・演習「児童生徒のよりよい人間関係づくり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【選択研修 情報教育】

期日及び時間：11月20日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割」 センター職員	
	10:00	（公開講義_情報02） 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事、国際大学GLOCOM 客員研究員 今度 珠美	
		研究協議「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 センター職員	
12:00	昼食		

	13:00	演習・研究協議「自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントする～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 事前課題として、自校の教育の情報化推進に向けてデジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントするにあたり実態を把握してGoogleフォームで回答する。後日案内するメールに従って回答すること。

※ 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」は、公開講義とする。

【選択研修 特別支援教育】

期日及び時間：11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	（公開講義 特支05） 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」 教諭、センター職員	
	14:10	演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 教諭、センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座と合同開催とする。

※ 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」は、公開講義とする。

【選択研修 キャリア教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 ・校内研修シリーズ No. 149 「キャリア教育の実践」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/149.html ・校内研修シリーズ No. 109 「キャリア・パスポート」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/109.html

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	10:00	講話「社会が求める人材」 企業担当者	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「これからを生きる児童・生徒に必要な力」 企業担当者、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 グランドデザイン、キャリア教育全体計画、年間行事予定

※ 期日、会場については、第1日に知らせる。

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

【共通研修】

区分	期日	会場
第1日	5月13日（水）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月17日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第3日	7月8日（水）	オンライン研修
第4日	10月15日（木）	教育研修センター
第6日	12月8日（火）	オンライン研修

【選択研修】

区分	期日	分野	会場
第5日	10月27日（火）	道徳教育	教育研修センター
	10月30日（金）	マネジメント	
	11月10日（火）	教育相談	
	11月20日（金）	情報教育	オンライン研修
	11月24日（火）	特別支援教育	オンライン研修
	*月*日（*）	キャリア教育	未定（県内の企業）

※【選択研修】は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、高等学校、特別支援学校）と合同開催とする。

※【選択キャリア教育】の期日、会場については、第1日に知らせる。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）日程表

【共通研修】

期日及び時間：5月13日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207 302 307 講堂
	9:45	講義・演習「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	10:55	研究協議「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」 センター職員	
	14:40	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第1日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

【共通研修】

期日及び時間：6月17日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校教育と教育法規」 義務教育課管理主事	
	11:15	講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	14:25	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:45	リフレクション	

※ 第2日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 人権教育指導資料 第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会

【共通研修】

期日及び時間：7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 第3日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第3日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第3日と合同開催とする。

※携行品

- (1) 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 文部科学省
 (2) 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【共通研修】

期日及び時間：10月15日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305 307 308 311 312
	9:40	講義・演習「児童生徒を支援する関係法規」 センター職員	
	10:35	講義・演習「関係機関との連携の実際」 福祉相談センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【共通研修】

期日及び時間：12月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「組織的な授業改善を目指した校内研修の企画と提案」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:20	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 第6日は、オンライン研修とする。

※ イントロダクション、講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」、リフレクション、修了式は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第6日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第6日と合同開催とする。

※ 携行品 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【選択研修 道徳教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方

期日及び時間：10月27日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	204 302 308
	9:40	講義・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	演習・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校で使用している道徳科の教科書

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編 文部科学省

【選択研修 マネジメント】

期日及び時間：10月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	演習「中堅教員に求められるマネジメント力」 センター職員	
	11:00	演習「自己実現のためのセルフマネジメント」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「実践発表校の教育課題解決への取組から」 教諭、センター職員	
	14:30	演習・研究協議「自校の教育課題解決に向けた構想」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校のグランドデザイン

【選択研修 教育相談】

期日及び時間：11月10日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 308
	9:45	講義・演習「問題行動等の未然防止の理論と方法」 センター職員	
	10:20	講義・演習「児童生徒のよさや可能性を伸ばす関わり」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 講義・演習「児童生徒のよりよい人間関係づくり」 センター職員	
		【Bコース（クラス会議）】 講義・演習「児童生徒が安心できる学級づくり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【選択研修 情報教育】

期日及び時間：11月20日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割」 センター職員	
	10:00	(公開講義_情報02) 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事、国際大学GLOCOM 客員研究員 今度 珠美 研究協議「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 センター職員	
		12:00	

	13:00	演習・研究協議「自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントする～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 事前課題として、自校の教育の情報化推進に向けてデジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントするにあたり実態を把握してGoogleフォームで回答する。後日案内するメールに従って回答すること。

※ 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」は、公開講義とする。

【選択研修 特別支援教育】

期日及び時間：11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	(公開講義 特支05) 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」 教諭、センター職員	
	14:10	演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」(3分科会) 【第1分科会(ひらがな・漢字の指導)】 教諭、センター職員 【第2分科会(文・文章の指導)】 教諭、センター職員 【第3分科会(アルファベット・英単語の指導)】 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座と合同開催とする。

※ 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」は、公開講義とする。

【選択研修 キャリア教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 ・校内研修シリーズ No. 149 「キャリア教育の実践」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/149.html ・校内研修シリーズ No. 109 「キャリア・パスポート」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/109.html

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	10:00	講話「社会が求める人材」 企業担当者	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「これからを生きる児童・生徒に必要な力」 企業担当者、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 グランドデザイン、キャリア教育全体計画、年間行事予定

※ 期日、会場については、第1日に知らせる。

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程
職	教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

【共通研修】

区分	期日	会場
第1日	6月2日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月25日（木）	教育研修センター
第3日	7月8日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第4日	10月6日（火）	教育研修センター
第6日	12月8日（火）	オンライン研修

【選択研修】

区分	期日	分野	会場
第5日	10月27日（火）	道徳教育	教育研修センター
	10月30日（金）	マネジメント	
	11月10日（火）	教育相談	
	11月20日（金）	情報教育	オンライン研修
	11月24日（火）	特別支援教育	オンライン研修
	*月*日（*）	キャリア教育	未定（県内の企業）

※【選択研修】は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、特別支援学校）と合同開催とする。

※【選択キャリア教育】の期日、会場については、第1日に知らせる。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）日程表

【共通研修】

期日及び時間：6月2日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:50	講義・演習「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	11:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」 センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」 センター職員	302 306 307
	14:20	研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅱ」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」、講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」は中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅱ」は、中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座第1日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

【共通研修】

期日及び時間：6月25日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307 308
	9:40	講義・演習・協議「服務規律の徹底におけるミドルリーダーの役割」 高校教育課管理主事	
	11:50	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	12:40	昼食	
	13:40	講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	講堂
	14:50	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「原子力災害対応」、講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」、講義・演習「人権教育の組織的な推進」は中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 人権教育指導資料48集 令和8年3月 茨城県教育委員会

【共通研修】

期日及び時間：7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 第3日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第3日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第3日と合同開催とする。

※ 携行品

- (1) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編 文部科学省
- (2) 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【共通研修】

期日及び時間：10月6日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305 306 308
	9:40	講義・演習「児童生徒を支援する関係法規」 センター職員	
	10:35	講義・演習「関係機関との連携の実際」 福祉相談センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【共通研修】

期日及び時間：12月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」 センター職員	
	10:45	演習・研究協議「組織的な授業改善を目指した校内研修の企画と提案」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議（午前と同じ）	
	15:20	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 第6日は、オンライン研修とする。

※ イントロダクション、講義・演習「学校全体における教科学習の現状と課題」、リフレクション、修了式は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第6日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第6日と合同開催とする。

※ 携行品 勤務校の「教育目標」や「目指す学校像」が分かる資料 例) グランドデザイン、学校経営計画など

【選択研修 道徳教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方

期日及び時間：10月27日(火) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	204 302 308
	9:40	講義・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	演習・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校で使用している道徳教育の資料

【選択研修 マネジメント】

期日及び時間：10月30日(金) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	演習「中堅教員に求められるマネジメント力」 センター職員	
	11:00	演習「自己実現のためのセルフマネジメント」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「実践発表校の教育課題解決への取組から」 教諭、センター職員	
	14:30	演習・研究協議「自校の教育課題解決に向けた構想」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校のグランドデザイン

【選択研修 教育相談】

期日及び時間：11月10日(火) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 308
	9:45	講義・演習「問題行動等の未然防止の理論と方法」 センター職員	
	10:20	講義・演習「児童生徒のよさや可能性を伸ばす関わり」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 講義・演習「児童生徒のよりよい人間関係づくり」 センター職員	
		【Bコース（クラス会議）】 講義・演習「児童生徒が安心できる学級づくり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【選択研修 情報教育】

期日及び時間：11月20日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割」 センター職員	
	10:00	(公開講義_情報02) 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事、国際大学GLOCOM 客員研究員 今度 珠美 研究協議「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントする～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 事前課題として、自校の教育の情報化推進に向けてデジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントするにあたり実態を把握してGoogleフォームで回答する。後日案内するメールに従って回答すること。

※ 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」は、公開講義とする。

【選択研修 特別支援教育】

期日及び時間：11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	(公開講義_特支05) 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」 教諭、センター職員	
	14:10	演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 教諭、センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座と合同開催とする。

※ 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」は、公開講義とする。

【選択研修 キャリア教育】

期日：研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 ・校内研修シリーズ No. 149 「キャリア教育の実践」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/149.html ・校内研修シリーズ No. 109 「キャリア・パスポート」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/109.html

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	10:00	講話「社会が求める人材」 企業担当者	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「これからを生きる児童・生徒に必要な力」 企業担当者、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 グランドデザイン、キャリア教育全体計画、年間行事予定

※ 期日、会場については、第1日に知らせる。

令和8年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

【共通研修】

区分	期日	会場
第1日	6月2日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月25日（木）	
第3日	7月10日（金）	
第4日	10月16日（金）	
第6日	2月19日（金）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

【選択研修】

区分	期日	分野	会場
第5日	10月27日（火）	道徳教育	教育研修センター
	10月30日（金）	マネジメント	
	11月10日（火）	教育相談	
	11月20日（金）	情報教育	オンライン研修
	11月24日（火）	特別支援教育	オンライン研修
	*月*日（*）	キャリア教育	未定（県内の企業）

※【選択研修】は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校、高等学校、特別支援学校）と合同開催とする。

※【選択キャリア教育】の期日、会場については、第1日に知らせる。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

【共通研修】

期日及び時間：6月2日（火） 9時30分～16時00分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・実践発表「学校の課題の把握と分析」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「特別支援学校におけるセンター的機能とファシリテーターの役割」 センター職員	
	14:20	研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅱ」 センター職員	302 306 307
	15:45	リフレクション	

※ 研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方」は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日および中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

※ 携行品 勤務校の「グラウンドデザイン」

【共通研修】

期日及び時間：6月25日（木） 9時30分～16時00分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「教職員のサービスとミドルリーダーとしての役割」 特別支援教育課人事計画担当課長補佐	
	11:50	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	12:40	昼食	
	13:40	演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	講堂
	14:50	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「原子力災害対応」、演習「校務の情報化における情報セキュリティ」、講義・演習「人権教育の組織的な推進」は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 令和8年度学校教育指導方針 茨城県教育委員会

令和8年度基本研修（特別支援学校）研修の手引き 茨城県教育研修センター特別支援教育課
人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会

【共通研修】

期日及び時間：7月10日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「ミドルリーダーが身に付けたいコーチングの基本」 センター職員	
	10:30	講義・演習「企業の視点から考えるミドルリーダーの役割」 株式会社谷沢製作所 渡辺 光史	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の計画検討」（11分散会） 教諭、センター職員	201 202 203 301 303 304 305 306 308 311 314
	15:45	リフレクション	

【共通研修】

期日及び時間：10月16日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「保護者の心に寄り添う教育相談」 センター職員	
	12:00	昼食	201 202 301
	13:00	研究協議「ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の中間検討」（11分散会） 教諭、センター職員	303 304 305 306 308 311
	15:45	リフレクション	312 314

【共通研修】

期日及び時間：2月19日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	発表・研究協議「ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究発表」（11分散会） 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	発表・研究協議（午前に同じ）	
	15:40	リフレクション	
	15:50	修了式	

※ 第6日はオンライン研修とする。

【選択研修 道徳教育】

研修日の前日までに視聴（詳細は、Plant に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方

期日及び時間：10月27日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	204 302 308
	9:40	講義・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際」 センター職員	
	11:50	昼食	
	12:50	演習・研究協議「道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校で使用している道徳科の教科書、または、道徳資料

【選択研修 マネジメント】

期日及び時間：10月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	演習「中堅教員に求められるマネジメント力」 センター職員	
	11:00	演習「自己実現のためのセルフマネジメント」 センター職員	
	12:00	昼食	

	13:00	実践発表「実践発表校の教育課題解決への取組から」 教諭、センター職員	
	14:30	演習・研究協議「自校の教育課題解決に向けた構想」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 勤務校のグランドデザイン

【選択研修 教育相談】

期日及び時間：11月10日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	101 302 303 304 305 306 308
	9:45	講義・演習「問題行動等の未然防止の理論と方法」 センター職員	
	10:20	講義・演習「児童生徒のよさや可能性を伸ばす関わり」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 講義・演習「児童生徒のよりよい人間関係づくり」 センター職員	
		【Bコース（クラス会議）】 講義・演習「児童生徒が安心できる学級づくり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

【選択研修 情報教育】

期日及び時間：11月20日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割」 センター職員	
	10:00	（公開講義 情報02） 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事、国際大学 GLOCOM 客員研究員 今度 珠美 研究協議「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントする～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 事前課題として、自校の教育の情報化推進に向けてデジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントするにあたり実態を把握してGoogle フォームで回答する。後日案内するメールに従って回答すること。

※ 講義「学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～」は、公開講義とする。

【選択研修 特別支援教育】

期日及び時間：11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	(公開講義_特支05) 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 教諭、センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ オンライン研修とする。

※ 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座と合同開催とする。

※ 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」は、公開講義とする。

【選択研修 キャリア教育】

研修日の前日までに視聴（詳細は、Plantに掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 ・校内研修シリーズ No. 149 「キャリア教育の実践」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/149.html ・校内研修シリーズ No. 109 「キャリア・パスポート」 https://www.nits.go.jp/materials/intramural/109.html

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	10:00	講話「社会が求める人材」 企業担当者	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「これからを生きる児童・生徒に必要な力」 企業担当者、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 携行品 グランドデザイン、キャリア教育全体計画、年間行事予定

※ 期日、会場については、第1日に知らせる。

令和8年度 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座 実施要項

1 目的

中堅養護教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象(条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、国立幼稚園
職	養護教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月13日(水)	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月17日(水)	オンライン研修(所属校等、研修に専念できる場所)
第3日	7月9日(木)	教育研修センター
第4日	10月2日(金)	
第5日	2月17日(水)	

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム(以下「Plant」という。)に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

別紙

令和8年度 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座 日程表

期日及び時間：5月13日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207 302 307 講堂
	9:45	講義・演習「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	10:55	研究協議「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチング力の視点」 センター職員	
	14:40	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーの役割」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第1日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：6月17日（水） 9時30分～15時30分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校教育と教育法規」 義務教育課管理主事	
	11:15	講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	14:25	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:45	リフレクション	

※ 第2日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第2日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 人権教育指導資料 第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会

期日及び時間：7月9日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	304
	9:40	講義・研究協議「学校と児童相談所との連携」 土浦児童相談所 主査	
	10:40	講義・研究協議「自校の課題を踏まえた実践の進め方」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「児童虐待」 茨城大学 准教授 金丸 隆太	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：10月2日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	101 301 302 303 304 305 306 307 308 311
	9:40	講義・演習「児童生徒を支援する関係法規」 センター職員	
	10:35	講義・演習「関係機関との連携の実際」 福祉相談センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第4日、中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月17日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	研究協議「自校の課題を踏まえた実践の共有」（4分散会）	第1分散会：307（前） 第2分散会：307（後） 第3分散会：303 第4分散会：310
		第1分散会 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
		第2分散会 養護教諭	
		第3分散会 センター職員	
	第4分散会 センター職員		
12:00	昼食		
13:00	研究協議（午前と同じ）		
15:45	修了式	307	

令和8年度 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座 実施要項

1 目的

中堅栄養教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校
職	栄養教諭（任用替え栄養教諭含む）
条件	<p>栄養教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 <p>任用替え栄養教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月1日現在で45歳未満の者 ・実質勤務年数11年以上を有する者 ・実質勤務年数11年以上を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	5月13日（水）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月17日（水）	オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
第3日	6月25日（木）	所外研修
第4日	10月2日（金）	教育研修センター
第5日	2月9日（火）	教育研修センター

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

期日及び時間：5月13日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207 302 307 講堂
	9:45	講義・演習「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	10:55	研究協議「ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチング力の視点」 センター職員	
	14:40	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーの役割」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第1日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第1日と合同開催とする。

期日及び時間：6月17日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「学校教育と教育法規」 義務教育課管理主事	
	11:15	講義・演習「校務の情報化における情報セキュリティ」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「原子力災害対応」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	14:25	講義・演習「人権教育の組織的な推進」 総務課人権教育室指導主事	
	15:45	リフレクション	

※ 第2日は、オンライン研修とする。

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第2日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）第2日、中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座第2日と合同開催とする。

※ 携行品 人権教育指導資料 第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会

期日及び時間：6月25日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	10:00	開会行事	別途連絡
	10:30	授業参観「食に関する指導と給食指導の実際」 栄養教諭 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「食に関する指導の進め方」 栄養教諭 センター職員	
	14:45	講義・演習「個別的な相談指導の進め方」 栄養教諭 センター職員	
	15:30	閉会行事	

※ 第3日は所外研修とする。

期日及び時間：10月2日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	101 301 302 303 304 305 306 307 308 311
	9:40	講義・演習「児童生徒を支援する関係法規」 センター職員	
	10:35	講義・演習「関係機関との連携の実際」 福祉相談センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習「チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）第4日、中堅養護教諭〔後期〕第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	講義・演習「カリキュラム・マネジメントと学校における食育の推進」 大学教授	
	11:40	昼食	
	12:40	講義・演習「事故発生時の危機管理対応計画の作成」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事	第1:311 第2:312 第3:314
	13:40	研究協議「個別的な相談指導の共有」（第3分散会） 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	
	15:10	研究協議「1年間の研修を振り返って」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事 センター職員	311
	15:45	修了式	

令和8年度 中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座 実施要項

1 目的

中堅実習助手として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校、公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師、実習教諭
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の10年次研修講座（実）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

第1日 6月2日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日 1月29日（金） 同上

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

第1日 なし
第2日 別途連絡する。

令和8年度 中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座日程表

期日及び時間：6月2日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	205
	9:40	講義・演習「中堅実習助手〔後期〕に望むこと」 センター職員	
	11:00	講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」 センター職員	307 308
	12:20	昼食	
	13:20	講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」 センター職員	
	14:20	研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅱ」 センター職員	302 306 307
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「ミドルリーダーに必要なコーチングの視点」、講義・演習「特別支援教育におけるミドルリーダーとしての役割」は中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日と合同開催とする。研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方Ⅱ」は、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）第1日、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）第1日と合同開催とする。

期日及び時間：1月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	310
	9:50	講義・演習「授業への取組の改善」 センター職員	
	10:50	実践発表・研究協議「実習助手としての授業への関わり方」 実習教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「実習助手としての課題とその改善」 高等学校実習教諭、特別支援学校実習教諭、センター職員	
	15:30	リフレクション	
	15:45	修了式	

※ 新規採用実習助手研修講座（高等学校）第6日と合同開催とする。

※ 研究協議「実習助手としての課題とその改善」および修了式は、新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）第6日と合同開催とする。

令和8年度 中堅寄宿舍指導員〔後期〕資質向上研修講座 実施要項

※ 令和8年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の10年次研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・本県の中堅教諭等資質向上研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	教職員のサービスとミドルリーダーとしての役割 原子力災害対応 校務の情報化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進
第2日	*月*日（*）	寄宿舍指導員に求められる専門性 生活指導と保護者連携 組織力を高める寄宿舍指導の在り方 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 ベテラン教員研修講座（小学校）実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校・義務教育学校前期課程
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和8年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和7年度に受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者

3 期日及び会場

第1日 7月2日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 1月21日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

期日及び時間：7月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	9:45	講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」 センター職員	
	10:45	講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	（公開講義 教科08） 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～」 京都市総合教育センター 指導室長 東良 雅人	
	14:25	研究協議「学校の教育目標を具現化するために（計画立案）」 センター職員	302 304
	15:50	リフレクション	

※ 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～」は、公開講義とする。

期日及び時間：1月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」 義務教育課管理主事	
	10:50	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割」 甲南女子大学 教授 村川 雅弘	
	12:20	昼食	
	13:20	研究協議「学校の教育目標を具現化するために（実践発表）」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

※第2日は、オンライン研修とする。

- 5 研修講座資料等
研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
第1日 所属校のグランドデザイン
第2日 報告書

令和8年度 ベテラン教員研修講座（中学校）実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和8年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和7年度に受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者

3 期日及び会場

第1日 7月10日(金) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 1月15日(金) オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 受講者は、各所属校等において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

期日及び時間：7月10日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」 センター職員	
	10:45	講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	（公開講義 教科10） 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～」 青山学院大学 教授 益川 弘如	
	14:25	研究協議「学校の教育目標を具現化するために（計画立案）」 センター職員	307 206
	15:50	リフレクション	207

※ 講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」は、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第1日、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第1日と合同開催とする。

※ 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～」は、公開講義とする。

期日及び時間：1月15日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:40	講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」 義務教育課管理主事	
	10:50	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割」 甲南女子大学 教授 村川 雅弘	
	12:20	昼食	
	13:20	研究協議「学校の教育目標を具現化するために（実践発表）」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

※ 第2日は、オンライン研修とする。

※ 講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」は、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第2日、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第2日と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

第1日 グランドデザイン

第2日 報告書

令和8年度 ベテラン教員研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和8年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和7年度に受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者

3 期日及び会場

第1日 6月4日（木） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

第2日 1月27日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修を行う。

※ 校内研修の内容や進め方については、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

期日及び時間：6月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:45	講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」 センター職員	
	10:45	講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	（公開講義 教科01） 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～」 京都大学 准教授 石井 英真	
	14:30	実践発表・研究協議「学校の教育目標を具現化するために（計画立案）」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 第1日は、オンライン研修とする。

※ 講義・研究協議「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～」は、公開講義とする。

期日及び時間：1月27日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」 高校教育課管理主事	
	10:50	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割」 茨城大学大学院 教授 加藤 崇英	
	12:20	昼食	
	13:20	研究協議「学校の教育目標を具現化するために（実践発表）」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

第1日 所属校のグランドデザイン

第2日 報告書

令和8年度 ベテラン教員研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和8年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和7年度に受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者

3 期日及び会場

第1日 6月9日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 9月30日（水） 同上

※ 校内研修の内容や進め方については、第1日に連絡する。

4 日程

期日及び時間：6月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	10:00	講義・演習「組織力の向上～若手・中堅教員との関わりを通して～」 茨城大学 准教授 金丸 隆太	
	12:00	昼食	207
	13:00	講義・演習「これからの特別支援学校に求められるベテラン教員の役割」 センター職員	
	14:15	実践発表・研究協議「育成の視点を踏まえた研修の実践に向けて」 教諭、センター職員	
15:40	リフレクション		

期日及び時間：9月30日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	207
	10:00	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割」 福岡教育大学 教授 一木 薫	
	12:00	昼食	207
	13:00	研究協議「育成の視点を踏まえた研修の充実に向けて」 センター職員	
	15:40	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 ベテラン教員研修講座（養護教諭） 実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、国立幼稚園
職	養護教諭
条件	<p>① 以下のアとイをともに満たす者</p> <p>ア 令和8年4月1日現在で45歳の者</p> <p>イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座 <p>② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者</p>

3 期日及び会場

第1日 7月10日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 1月15日（金） 同上

※ 受講者は、各所属校等において、第1日以降に校内研修を行う。

※ 校内研修の内容や進め方については、年度初めに全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 ベテラン教員研修講座（養護教諭） 日程表

期日及び時間：7月10日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	310
	9:40	講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」 保健体育課 副参事	
	10:45	講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」 センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	実践発表・研究協議「地域連携を生かした学校保健の推進～コーディネーターとしての養護教諭の役割～」 養護教諭 センター職員	
	14:20	実践発表・研究協議「学校の教育目標を具現化するための取組の実際」 養護教諭 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」は、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第1日、講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」は、ベテラン教員研修講座（中学校）第1日、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第1日と合同開催とする。

※ 携行品 各学校のグランドデザイン

期日及び時間：1月15日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	310
	9:40	講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」 義務教育課管理主事	
	10:50	研究協議「学校の教育目標を具現化するための取組の共有」（2分散会） センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	講義・演習「専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ」 茨城大学 教授 加藤 崇英	
	15:40	リフレクション	

※ 講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」は、ベテラン教員研修講座（中学校）第2日、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第2日と合同開催とする。

※ 講義・演習「専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ」は、ベテラン教員研修講座（栄養教諭）第2日と合同開催とする。

※ 携行品 報告書

令和8年度 ベテラン教員研修講座（栄養教諭） 実施要項

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校
職	栄養教諭
条件	<p>① 以下のアとイをともに満たす者</p> <p>ア 令和8年4月1日現在で45歳の者</p> <p>イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座 <p>② ①を満たす者のうち受講を猶予されていた者で、令和8年4月1日現在で47歳以下の者</p>

3 期日及び会場

第1日 7月10日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日 1月15日（金） 同上

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

別紙のとおり

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

別紙のとおり

令和8年度 ベテラン教員研修講座（栄養教諭） 日程表

期日及び時間：7月10日（金）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	310
	9:40	講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」 保健体育課 副参事	
	10:45	講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」 センター職員	
	11:45	昼食	312
	12:45	実践発表・研究協議「学校の教育目標を具現化するための取組」 栄養教諭 センター職員	312
	15:50	リフレクション	312

※ 講義・演習「ベテラン教員に求められる役割」は、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第1日、講義・演習「特別支援教育におけるベテラン教員としての役割」は、ベテラン教員研修講座（中学校）第1日、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第1日と合同開催とする。

※ 携行品 各学校（担当校も含む）のグラウンドデザイン

期日及び時間：1月15日（金）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	311
	9:40	講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」 義務教育課管理主事	
	10:50	研究協議「学校の教育目標を具現化するための取組の共有」（2分散会） センター職員	311
	12:20	昼食	310
	13:20	講義・演習「専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ」 茨城大学 教授 加藤 崇英	
	15:40	リフレクション	

※ 講義・演習「学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント」、は、ベテラン教員研修講座（中学校）第2日、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第2日と合同開催とする。

※ 講義・演習「専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ」は、ベテラン教員研修講座（養護教諭）第2日と合同開催とする。

※ 携行品 報告書

令和8年度 ベテラン教員アドバンス研修講座（小中高特） 実施要項

1 目的

最新の教育動向の理解とこれまでの教育実践の省察を通して、自己の在り方を問うとともに、学校組織に貢献する上で必要な資質・能力を高め、専門性の深化を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校
職	教諭 ※養護教諭、栄養教諭を除く。
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和8年4月1日現在で55歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和7年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座

3 期日及び会場

第1日 5月20日（水） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

第2日 6月30日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第3日 2月5日（金） 同上

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に探究テーマに沿った実践を行う。

※ 探究テーマに沿った実践の内容や進め方については、第1日に連絡する。

4 日程

【共通研修】

期日及び時間：5月20日（水） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	13:00	イントロダクション	オンライン
	13:20	講義「学校の未来を創るために」 大学教授等	
	15:00	研究協議「これからの教育実践に向けて」 センター職員	
	15:20	選択分野についてのガイダンス センター職員	
	15:50	リフレクション	

【選択研修 マネジメント等に関する分野】

期日及び時間：6月30日（火） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	13:00	イントロダクション	別途連絡
	13:30	講義「目指すマネジメントの実現に向けて」 センター職員	
	14:20	演習・研究協議「作成してきたアクションプランの共有と検討」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：2月5日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:40	実践発表・研究協議「成果と課題の共有～今後の実践に向けて～」 センター職員	
	12:10	昼食	
	13:10	研究協議「省察と今後の展望～学校の未来を創るために～」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

【選択研修 学習指導・学びの質を高める情報活用分野】

期日及び時間：6月30日（火） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	13:00	イントロダクション	別途連絡
	13:10	講義・研究協議「これからの授業づくりに向けて」 熊本大学 特任教授 前田 康裕	
	14:40	演習・研究協議「作成してきたアクションプランの共有と検討」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：2月5日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	9:50	実践発表・研究協議「成果と課題の共有、省察～今後の授業実践に向けて～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・研究協議（午前と同じ）	
	14:20	講義「今、求められる探究的な学び～学校の未来を創るために～」 熊本大学 特任教授 前田 康裕	
	15:30	リフレクション	

【選択研修 児童生徒支援に関する分野】

期日及び時間：6月30日（火） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	13:00	イントロダクション	別途連絡
	13:20	講義・演習「みんなが安心して学べる学校に向けて」 茨城大学 准教授 金丸 隆太	
	15:00	演習・研究協議「作成してきたアクションプランの共有と検討」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：2月5日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	別途連絡
	10:00	実践発表・研究協議「実践の共有～みんなが安心して学べる学校に向けて～」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「省察と今後の展望～学校の未来を創るために～」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

イ 専門研修
 (7) 悉皆研修

担当：教職教育課
 直通：0296-78-3212

悉皆研修	44
------	----

令和8年度 新任校長研修講座（小学校） 実施要項

1 目的
 学校経営上の諸問題について必要な研修を行い、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校・義務教育学校
職	新任校長（令和7年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】5月11日（月）、5月12日（火）
 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：5月11日（月） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:50	講義「校長の役割とリーダーシップ」 教育庁学校教育部義務教育課長	
	11:00	講義・演習「人権教育の視点に立った学校づくり」 教育庁総務企画部総務課人権教育室長	
	11:50	昼食	食堂 サラサ
	12:50	講義「経営者としての役割とマネジメント」 民間企業経営者（株）トモエ乳業代表取締役社長 中田 俊之	講堂
	14:00	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 センター参与 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与	講堂 201 202 301 302
	16:50	諸連絡	
17:00	宿泊		

期日及び時間：5月12日（火） 8時20分～16時（受付開始8時10分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	8:20	イントロダクション	講堂
	8:30	演習「校内における特別支援教育の推進」 センター主査	
	9:30	講義・演習「コミュニティスクールを活用した学校づくりを目指して」 教育庁学校教育部義務教育課主任指導主事 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与	講堂 201 202 301 302
	10:50	演習「職場のウェルビーイングの向上を目指して」 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与	201 202 301 302
	11:20	昼食	食堂 サラサ
	12:20	講義「新しい学校教育の在り方」 高等学校校長	講堂
	13:20	演習「学校組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター参与 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与	講堂 201 202 301 302
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 所属校の危機管理マニュアル
- (3) 就寝用着替え、洗面用具等

令和8年度 新任校長研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

学校経営上の諸問題について必要な研修を行い、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立中学校・義務教育学校後期課程
職	新任校長（令和7年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】5月27日（水）、5月28日（木）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：5月27日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:50	講義「校長の役割とリーダーシップ」 教育庁学校教育部義務教育課長	
	11:00	講義・演習「人権教育の視点に立った学校づくり」 教育庁総務企画部総務課人権教育室長	
	11:50	昼食	101
	12:50	講義「経営者としての役割とマネジメント」 民間企業経営者（株）トモエ乳業代表取締役社長 中田 俊之	101
	14:00	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 センター参与 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与	101 201 202
	16:50	諸連絡	
	17:00	宿泊	

期日及び時間：5月28日（木） 8時20分～16時（受付開始8時10分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	8:20	イントロダクション	101
	8:30	演習「校内における特別支援教育の推進」 センター主査	
	9:30	講義・演習「コミュニティスクールを活用した学校づくりを目指して」 教育庁学校教育部義務教育課主任指導主事 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与	101 201 202
	10:50	演習「職場のウェルビーイングの向上を目指して」 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与	201 202
	11:20	昼食	101
	12:20	講義「新しい学校教育の在り方」 高等学校校長	101
	13:20	演習「学校組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター参与 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与	101 201 202
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 所属校の危機管理マニュアル
- (3) 就寝用着替え、洗面用具等

令和8年度 新任校長研修講座（高・特） 実施要項

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校、公立特別支援学校
職	新任校長（令和7年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月11日（木）、6月12日（金）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：6月11日（木） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308
	9:50	演習「人権教育の視点に立った学校づくり」 総務課人権教育室長	308
	10:50	講義・演習「校長の役割とリーダーシップ」 センター職員	高：308 特：310
	12:10	昼食	
	13:10	【高等学校】 講義・演習「高等学校における特別支援教育推進と校長の役割」 センター職員	高：308
		【特別支援学校】 講義・演習「特別支援学校のセンター的機能と校長の役割」 センター職員	特：310
	14:10	演習・研究協議「学校における危機管理」 センター職員	高：308 306 特：310
	16:00	講義「新任校長に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長	高：308 特：310
16:50	諸連絡		

期日及び時間：6月12日（金） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	8:45	実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 コミュニティ・スクール実践校校長（高等学校、特別支援学校）	308
	10:00	講義・演習「学校経営における課題と対応」 高校教育課人事担当課長補佐、特別支援教育課人事・計画担当課長補佐	高：308 特：310
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「校長としての学校マネジメント（校内組織・人事・教員評価等）」 高等学校校長、特別支援学校校長	高：308 特：310
	15:30	リフレクション	
	15:50	諸連絡	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 就寝用着替え、洗面用具等
- (3) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和8年度 新任教頭研修講座（小学校） 実施要項

1 目的
学校経営上の諸問題について必要な研修を行い、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校・義務教育学校前期課程
職	新任教頭（令和7年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月16日（火）、6月17日（水）
教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：6月16日（火）9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:50	講義「教頭の役割と学校運営」 教育庁学校教育部義務教育課長	
	11:00	講義・演習「人権教育の推進と管理職の役割」 教育庁総務企画部総務課人権教育室指導主事	
	11:50	昼食	食堂 サラサ
	12:50	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育庁義務教育課人事担当管理主事 小学校教頭	講堂
	14:10	講義「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 教育庁義務教育課人事担当管理主事	
	15:15	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」（5分散会） 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与 第5分散会 センター参与	301 303 304 305 306
17:00	宿泊		

期日及び時間：6月17日（水）8時35分～16時

区分	時間	研修内容・講師等会場	会場
第2日	8:35	イントロダクション	講堂
	8:45	演習「教育の情報化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター情報教育課長	
	9:40	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター特別支援教育課	
	10:35	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 教育庁生涯学習課 小学校教頭	
	11:35	昼食	食堂 サラサ

12:35	演習「教職員のメンタルヘルスケアと管理職の役割」 センター参与	講堂
13:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター参与	
14:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」(5分散会) 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与 第4分散会 センター参与 第5分散会 センター参与	301 303 304 305 306
15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて ～教員評価の手引き(改訂版)～
令和5年4月 茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
- (5) 就寝用着替え、洗面用具等

令和8年度 新任教頭研修講座（中学校） 実施要項

- 1 目的
学校経営上の諸問題について必要な研修を行い、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	新任教頭（令和7年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月4日（木）、6月5日（金）
教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：6月4日（木）9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:50	講義「教頭の役割と学校運営」 教育庁学校教育部義務教育課長	
	11:00	講義・演習「人権教育の推進と管理職の役割」 教育庁総務企画部総務課人権教育室指導主事	
	11:50	昼食	食堂 サラサ
	12:50	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育庁義務教育課人事担当管理主事 中学校教頭	講堂
	14:10	講義「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 教育庁義務教育課人事担当管理主事	
	15:15	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」（5分散会） 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与	303 304 305
17:00	宿泊		

期日及び時間：6月5日（金）8時35分～16時

区分	時間	研修内容・講師等会場	会場
第2日	8:35	イントロダクション	講堂
	8:45	演習「教育の情報化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター情報教育課長	
	9:40	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター特別支援教育課	
	10:35	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 教育庁生涯学習課 中学校教頭	
	11:35	昼食	食堂 サラサ

12:35	演習「教職員のメンタルヘルス」 センター参与	講堂
13:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター参与	
14:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」(3分散会) 第1分散会 センター参与 第2分散会 センター参与 第3分散会 センター参与	303 304 305
15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて ～教員評価の手引き(改訂版)～
令和5年4月 茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
- (5) 就寝用着替え、洗面用具等

令和8年度 新任教頭研修講座（高・特） 実施要項

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	<ul style="list-style-type: none"> ・新任教頭（令和7年度途中昇任者を含む） ・新任副校長（県立併設型中高一貫校、県立中等教育学校、県立高等学校で公募により選考された者） ・新任副校長（国立特別支援学校）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】4月21日（火）、4月22日（水）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：4月21日（火） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	講義・演習「教頭の役割」 センター職員	207
	10:40	講義・演習「教職員の服務管理と教頭の実務」 高校教育課人事担当課長補佐	207
	12:30	昼食	図書情報室
	13:30	講義・演習「いじめ重大事態への対応と管理職の役割」 生徒支援・いじめ対策推進室室長補佐	207
	14:40	演習「教員評価」 センター職員	高：207 206 特：310
	16:30	講義「新任教頭に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長	高：207 特：310
	16:50	諸連絡	高：207 特：310

期日及び時間：4月22日（水） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	8:45	イントロダクション	207
	9:00	講義・演習「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事	207
	10:10	研究協議「特別支援教育の充実と教頭の役割」 センター特別支援教育課長、センター特別支援教育課主査	207
	11:10	実践発表・研究協議「答えのない時代の学校づくり」 高等学校校長	207
	12:00	昼食	図書情報室
	13:00	講義・演習「学校の危機管理」 センター職員	高：207 特：310
	14:00	研究協議「学校の危機管理」 センター職員	高：207 206 特：310
	15:50	リフレクション	高：207 206 特：310

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて～教員評価の手引き（改訂版）～

令和5年4月 茨城県教育委員会

※ 教育情報ネットワークの「文書共有 → 06_教育改革課 → 教員評価」よりダウンロードする。

- (2) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
(3) 所属校の危機管理マニュアル
(4) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
(5) 就寝用着替え、洗面用具等
(6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和8年度 新任主幹教諭研修講座 実施要項

- 1 目的
主幹教諭の職務に必要な研修を通し、主幹教諭としての資質・能力の向上を図る。
- 2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	新任主幹教諭
対象外	校種を問わず、主幹教諭経験者を除く。新任教務主任研修講座（小・中・高・特）を受講していない者は、新任教務主任研修講座（小・中・高・特）も受講対象となる。

- 3 期日及び会場
7月8日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

- 4 日程
期日及び時間： 7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	304
	9:40	講義・演習「主幹教諭に求められる役割」 義務教育課、高校教育課、特別支援教育課人事担当課長補佐	小・中・義：304 高：310 特：303
	10:50	講義・演習「主幹教諭としての人材育成」 (株) ｲ!ｲ!代表 柴木憲太郎 ※高、特、新任指導と合同開催	308
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・研究協議「主幹教諭としての実践」 主幹教諭（小学校1名、中学校1名、高等学校2名）、センター職員	小・中・義：304 高・特：310
	14:10	研究協議「主幹教諭の学校におけるマネジメント」（小・中・義部会、高・特部会） センター職員	小・中・義：304 高・特：310
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「主幹教諭としての人材育成」は、新任指導教諭研修講座と合同開催とする。

- 5 研修講座資料等
研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。
- 6 携行品
(1)各校のグランドデザイン 1部
(2)年間行事計画 1部

令和8年度 新任指導教諭研修講座 実施要項

1 目的

各学校の教育指導の改善及び充実のための実践的指導力についての必要な研修を通し、指導教諭としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	新任指導教諭
対象外	校種を問わず指導教諭経験者

3 期日及び会場

7月8日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：7月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308 207
	9:40	講義・演習「指導教諭に求められる役割」（小・中・義）（高・特） 義務教育課、高校教育課指導担当課長補佐	308 207
	10:50	講義・演習「指導教諭としての人材育成」 (株) ｲ!ｲ!代表 栄木憲太郎 ※高、特、新任主幹と合同開催	308
	12:00	昼食	308 207
	13:00	実践発表・研究協議「指導教諭としての実践」 センター職員 小学校 指導教諭 1名 中学校 指導教諭 1名 高等学校 指導教諭 2名	308 207
	14:10	研究協議「地域教員の指導力向上を図る研修の工夫改善」（小・中・義） センター職員 研究協議「赴任校における教員の指導力向上を図る研修の工夫改善」（高・特） センター職員	308 207
	15:45	リフレクション	308 207

※ 講義・演習「指導教諭としての人材育成」は、新任主幹教諭研修講座と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 各校のグランドデザイン 1部
- (2) 各校の校内研修計画（小、中、義務教育学校、特別支援学校） 1部
- (3) 他校の研修等における指導助言、参加協力、指導普及等に係る資料があれば持参

令和8年度 新任教務主任研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

教務主任の職務に必要な研修を行い、教務主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程
職	新任教務主任、新任主幹教諭（本講座を未受講の者）
対象外	校種を問わず教務主任経験者

3 期日及び会場

5月8日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「教務主任のための『事務作業と事務遂行のためのポイント』」 教育改革課

期日及び時間：5月8日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:50	講義・演習「教務主任に求められる役割」 センター職員	
	11:00	講義・演習「人権教育の充実を目指した教育計画のポイント」 総務課人権教育室指導主事	
	12:00	昼食	307 308
	13:00	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおける教務主任の役割」 茨城大学大学院 教授 加藤 崇英	
	14:20	実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 新任教務主任研修講座（中学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 自校の人権教育全体計画及び推進計画

令和8年度 新任教務主任研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

教務主任の職務に必要な研修を行い、教務主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	新任教務主任、新任主幹教諭（本講座を未受講の者）
対象外	校種を問わず教務主任経験者

3 期日及び会場

5月8日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「教務主任のための『事務作業と事務遂行のためのポイント』」 教育改革課

期日及び時間：5月8日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:50	講義・演習「教務主任に求められる役割」 センター職員	
	11:00	講義・演習「人権教育の充実を目指した教育計画のポイント」 総務課人権教育室指導主事	
	12:00	昼食	302 304
	13:00	講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおける教務主任の役割」 茨城大学大学院 教授 加藤 崇英	
	14:20	実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 新任教務主任研修講座（小学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 自校の人権教育全体計画及び推進計画

令和8年度 新任教務主任研修講座（高・特） 実施要項

1 目的

教務主任の職務に必要な研修を行い、教務主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	新任教務主任、新任主幹教諭（本講座を未受講の者）
対象外	校種を問わず教務主任経験者

3 期日及び会場

5月19日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：5月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:50	【高等学校】 講義・演習「教務主任に求められる役割」 センター職員	207
		【特別支援学校】 講義・演習「教務主任に求められる役割」 センター職員	206
	11:00	講義・演習「人権教育の充実を目指した教育計画のポイント」 総務課人権教育室指導主事	207
	12:00	昼食	
	13:00	【高等学校】 講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおける教務主任の役割」 茨城大学大学院 教授 加藤 崇英	207
		【特別支援学校】 講義・演習「カリキュラム・マネジメントにおける教務主任の役割」 茨城大学 教授 新井 英靖	206
	14:20	【高等学校】 実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 教諭、センター職員	207
		【特別支援学校】 実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 教諭、センター職員	206
	15:50	リフレクション	高：207 特：206

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第48集 令和8年3月 茨城県教育委員会
- (2) 自校の人権教育全体計画及び推進計画

令和8年度 新任学年主任研修講座（小学校） 実施要項

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者
備考	対象者が3人以上で校務に支障がある場合は、担当課と相談する。

3 期日及び会場

5月18日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：5月18日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	201 202 204 205 206 207 307 310 図書情報室
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和8年度 新任学年主任研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

5月21日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：5月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302 303 304 305
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和8年度 新任学年主任研修講座（高等学校） 実施要項

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程
職	新任学年主任
条件	<ul style="list-style-type: none"> ・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

5月12日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：5月12日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員	
	10:50	講義・演習「学年のマネジメントにおける生徒支援」 生徒支援・いじめ対策推進室長補佐	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員	
	14:10	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 新任生徒指導主事研修講座 実施要項

1 目的

生徒指導主事の職務に必要な研修を行い、生徒指導主事としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	新任生徒指導主事
条件	校種を問わず本講座を未受講の者（私立は希望者のみ）

3 期日及び会場

A班（中・高）：6月3日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

B班（小・特）：6月10日（水） 同上

4 日程

期日：講座前日まで

区分	研修内容・講師等
事前学習	「生徒指導提要」（文部科学省、令和4年12月）の「第1章 生徒指導の基礎」を読んでおく。

期日及び時間：【A班】6月3日（水）【B班】6月10日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	【A班・B班】 講堂 304
	9:45	講義・演習・実践発表「生徒指導主事の役割」 教諭、センター職員	
	11:45	協議「生徒指導主事の役割」	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・演習「本県児童生徒の問題行動・不登校等の現状と課題」 【A班】生徒支援・いじめ対策推進室長補佐 【B班】生徒支援・いじめ対策推進室長補佐 特別支援教育課指導主事	
	14:20	演習「問題行動等への組織的な支援」 センター職員	
15:45	リフレクション	304	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 新任進路指導主事研修講座（中学校） 実施要項

1 目的

進路指導主事の職務に必要な研修を行い、進路指導主事としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程
職	新任進路指導主事
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

6月3日（水） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日及び時間：6月3日（水） 9時30分～12時30分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	オンライン
	9:50	講義・演習「進路指導主事の役割とキャリア教育の推進」 センター職員	
	10:55	実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 教諭、センター職員	
	12:15	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 新任進路指導主事研修講座（高・特） 実施要項

1 目的

進路指導主事の職務に必要な研修を行い、進路指導主事としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校、私立高等学校（私立は希望者のみ）
職	新任進路指導主事
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

6月10日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：6月10日（水） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	13:00	イントロダクション	【高等学校】 302 【特別支援学校】 310
	13:10	【高等学校】 講義・演習「進路指導主事の役割とキャリア教育の推進」 センター職員	
		【特別支援学校】 講義・演習「進路指導主事の役割とキャリア教育の推進」 センター職員	
	14:30	【高等学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 県立高等学校教諭、センター職員	
		【特別支援学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 県立特別支援学校教諭、センター職員	
15:50	リフレクション		

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 新任保健主事研修講座 実施要項

1 目的

学校保健活動や学校安全の管理について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	新任保健主事
対象外	校種を問わず保健主事経験者

3 期日及び会場

5月29日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日及び時間：5月29日（金） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	13:00	イントロダクション	オンライン
	13:10	講義・研究協議「学校保健・学校安全に関する県の方針と保健主事の役割」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事	
	13:50	実践発表「保健主事としての取組」 教諭 センター職員	
	15:20	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

研究協議のための資料

令和8年度 新任特別支援学校部主事研修講座 実施要項

1 目的

特別支援学校の部主事としての役割や任務、部の経営に関する研修を行い、新任部主事の資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	新任部主事

3 期日及び会場

5月12日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：5月12日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「本県の特別支援教育の現状と部主事に望むこと」 特別支援教育課人事・計画担当課長補佐	
	10:45	講義・演習「部経営と教育法規」 特別支援教育課管理主事	
	11:45	昼食	
	12:45	実践発表・研究協議「部経営の実際」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 教育小六法（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版）

令和8年度 新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座 実施要項

1 目的

特別支援学級及び通級指導教室等の指導に必要な基礎的・基本的指導事項及び指導方法について実践的研修を行い、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級、通級指導教室を新たに担当する者
対象外	・令和7年度までに本講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

班	担当	校種・地区	第1日	第2日
A班	特別支援学級担当者	中（全地区）	5月14日（木） オンライン研修	10月7日（水） 教育研修センター
	通級指導教室担当者	小・中・高（全地区）		
	言語障害特別支援学級担当者	小・中（全地区）		
B班	特別支援学級担当者	小（水戸・県北・鹿行）	5月19日（火） オンライン研修	10月20日（火） 教育研修センター
C班	特別支援学級担当者	小（県南・県西）	6月3日（水） オンライン研修	10月28日（水） 教育研修センター

- ※ オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）
- ※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：第1日受講までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「特別支援学級・通級指導教室の教育課程」 講義「個別の指導計画・個別の教育支援計画」 講義「個別の指導計画の作成」 講義「自立活動とは」

- ※ 動画を視聴する際には、Plantから視聴をする。
- ※ 「特別支援学級スタート応援ブック 学級経営編・授業づくり編」を研修センターWebページからダウンロードし、タブレット端末に保存するか、印刷して活用する。

期日及び時間：【A班】5月14日（木）【B班】5月19日（火）【C班】6月3日（水）
 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	講義・演習「障害のある児童生徒の理解と支援」 こどもカウンセリングルームつわ 室長 藤森 幸子	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・演習「特別支援学級・通級指導教室の自立活動の指導の基本～プロセスシートの作成を通して～」（分散会） 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

- ※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：【A班】10月7日（水）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	講義・演習「特別支援学級・通級指導教室におけるアセスメントと保護者との連携」 茨城大学 准教授 細川 美由紀	
	12:00	昼食	302 307 306 308
	13:00	実践発表「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」（分散会） 教諭、センター職員	301 302 307 食堂
	【特別支援学級担当者・通級指導教室担当者】		
	14:00	研究協議「特別支援学級・通級指導教室の授業の工夫～教育的効果のある教材の紹介を通して～」 教諭、センター職員	
	【言語障害特別支援学級担当者】		
14:00	講義・実習「構音指導の実際～構音のしくみの理解を通して～」 言語聴覚士 岩崎 早希、教諭、センター職員		
15:50	リフレクション		

期日及び時間：【B班】10月20日（火）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	講義・演習「特別支援学級・通級指導教室におけるアセスメントと保護者との連携」 茨城大学 准教授 細川 美由紀	
	12:00	昼食	302 303 304 308
	13:00	実践発表「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」（分散会） 教諭、センター職員	302 食堂
	14:00	研究協議「特別支援学級・通級指導教室の授業の工夫～教育的効果のある教材の紹介を通して～」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：【C班】10月28日（水）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	講義・演習「特別支援学級・通級指導教室におけるアセスメントと保護者との連携」 茨城大学 准教授 細川 美由紀	
	12:00	昼食	302 303 304 308
	13:00	実践発表「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」（分散会） 教諭、センター職員	302 食堂
	14:00	研究協議「特別支援学級・通級指導教室の授業の工夫～教育的効果のある教材の紹介を通して～」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

受講者全員 ・教材教具(実践事例を紹介できるもの) 1～2点

言語分散会受講者 ・上記の教材教具

- ・言語指導教具：<持参できる場合のみ> 新版構音検査記録用紙（構音カード）、手鏡、鼻息鏡、舌圧子、ペンライト

令和8年度 新任特別支援教育コーディネーター研修講座 実施要項

1 目的

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における特別支援教育コーディネーターとしての基礎的な知識を身に付け、実践力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）
条件	・今年度新たに特別支援教育コーディネーターに指名された者 ・校種を問わず本講座を未受講の者

3 期日及び会場

7月3日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「特別支援教育コーディネーターの役割」

期日及び時間：7月3日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	講義・演習「支援体制と連携の在り方」 学識経験者 安部 博志	
	12:00	昼食	食堂
	13:00	実践発表・研究協議「特別支援教育コーディネーターとしての取組①」（分散会） 教諭、センター職員	101 204 301 302
	14:30	研究協議「特別支援教育コーディネーターとしての取組②」（分散会） 教諭、センター職員	303 305
	15:50	リフレクション	306

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 市町村立学校新任主任研修講座 実施要項

1 目的

主任として児童生徒の教育活動に貢献するため、必要な知識・技能の習得を図る研修を行い、職務能率の一層の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・令和6年10月1日から令和7年4月1日付けで主任に昇任した者 ・令和7年10月1日から令和8年4月1日付けで主任に昇任した者

3 期日及び会場

第1日 5月28日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日 10月15日（木） 同上

4 日程

期日及び時間：5月28日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）【午前：6年次市町村立学校事務職員研修講座と合同開催】

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308
	9:40	講義・演習「給与事務－応用編－」 総務課給与担当	
	11:10	講義・演習「生徒指導の現状と課題－実践編－」 生徒支援・いじめ対策推進室室長補佐	
	12:00	昼食	
第1日	13:00	講義・演習「特別支援教育の現状と課題－実践編－」 教育庁特別支援教育課指導課長補佐	305
	13:50	実践発表「中堅事務職員としてのリスクマネジメント」（コンプライアンス確保の実践含む） 市町村立学校事務職員	
	14:30	講義・演習「本県教育行政の現状と課題」 義務教育課管理主事	
	15:00	研究協議「中堅事務職員としてのリスクマネジメントを考える」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：10月15日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	実践発表「中堅事務職員としての財務マネジメント」（学校徴収金含む） 市町村立学校事務職員	
	10:30	実践発表「中堅事務職員としての学校組織マネジメント」 市町村立学校事務職員	
	11:20	研究協議「中堅事務職員としての財務マネジメント・学校組織マネジメントを考える」 義務教育課管理主事、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「法規に基づく業務の在り方」 茨城大学 講師 高野 貴大	
	14:30	研究協議「中堅事務職員としての役割とは」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 電卓
- (5) 所属校の学校グラウンドデザイン
- (6) 共同実施活動計画

令和8年度 市町村立学校新任係長研修講座 実施要項

1 目的

係長として、学校経営・学校運営に積極的にに関わり、係長として必要な知識・技能の習得を図り、職務能率の向上に資する。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和8年4月1日付けで係長に昇任した者

3 期日及び会場

第1日 6月25日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
 第2日 10月23日（金） 同上

4 日程

期日及び時間：6月25日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	講義・演習「本県の教育行政」 総務課総務担当	
	10:20	講義・演習「給与事務―応用編―」 総務課給与担当	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「事務職員のコーチングとは」 義務教育課管理主事、センター職員	
	14:20	研究協議「学校経営・学校運営に積極的に関わる係長としての勤務とは」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：10月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	講義・演習「学校組織マネジメントを考える」 茨城大学大学院 教授 加藤 崇英	
	11:10	実践発表「学校組織マネジメントにおける課題解決・業務改善の実践」 市町村立学校事務職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「ミドルリーダーとしての実践～財務マネジメント・学校事務の共同実施～」 市町村立学校事務職員	
	14:00	研究協議「財務マネジメント、学校事務の共同実施のミドルリーダーとしての役割」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 所属校の学校ランドデザイン
- (5) 共同実施活動計画
- (6) 電卓

令和8年度 市町村立学校新任学校主査研修講座 実施要項

1 目的

学校主査として、知見や技術を生かし、学校内外の幅広い視点からリーダーシップを発揮して、地域と連携を図り児童生徒の教育活動に貢献できるよう事務職員としての自覚と心構えを養い、事務職員全体の資質向上に資する。

2 対象 (条件等)

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和8年4月1日付けで学校主査に昇任した者

3 期日及び会場

10月1日(木) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：10月1日(木) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	講義・演習「地域とともにある学校づくりのマネジメントとは」 沖縄国際大学 教授 照屋 翔大	
	11:10	実践発表「学校事務の共同実施組織の実践を生かした学校運営参画」 市町村立学校事務職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「学校主査の職務とは」 義務教育課管理主事、センター職員	
	14:10	研究協議「地域・学校・学校事務の共同実施組織のリーダーの果たす役割」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム(以下「Plant」という。)に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校教育指導方針
- (2) 所属校の学校グラウンドデザイン
- (3) 共同実施活動計画
- (4) 学校運営協議会(コミュニティースクール)に関する計画書

令和8年度 市町村立学校事務職員コア（行政リーダー）研修講座 実施要項

1 目的

専門的な知識を生かした学校運営体制の強化及び円滑化を図り、学校改善を持続的に取り組み、学校事務の共同実施組織の統括を行うなど、地域と連携・協働を主体的組織的に進め、組織の中核的（コア）役割の深化を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和8年4月1日付けで55歳に達している者

3 期日及び会場

11月26日（木） 教育研修センター 〒309-1722 茨城県笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：11月26日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	301
	9:40	講義・演習「学校改善を進め、よりよい学校づくりの学校組織マネジメントとは」 東北大学大学院 教授 青木 栄一	
	11:10	講義・演習「よりよい学校づくりに向けた組織の中核的な学校事務職員の果たす役割」 義務教育課管理主事	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「地域・学校・学校事務の共同実施組織の課題解決に向けた提案・改善」 義務教育課管理主事、センター職員	
	14:10	研究協議「こんな学校・地域を作ろう」 義務教育課管理主事、センター職員	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校教育指導方針
- (2) 所属校の学校ランドデザイン
- (3) 共同実施活動計画
- (4) コミュニティースクールに関する計画書

令和8年度 臨時的任用職員研修講座（高等学校） 実施要項

- 1 目的
 服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、栄養講師、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、栄養教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (4月当初の採用者)	4月9日(木)～4月23日(木) オンデマンド配信型研修	5月1日(金) 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者、A班で未受講の者)	10月6日(火)～10月20日(火) オンデマンド配信型研修	11月6日(金) 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

※ 養護助教諭、栄養講師は、A班・B班ともに、第2日午後の研修は講座番号70の臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月9日(木)～4月23日(木) 【B班】10月6日(火)～10月20日(火)

期間内に動画を視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・養護助教諭・栄養講師・実習助手・寄宿舎指導員】

期日及び時間：【A班】5月1日(金) 【B班】11月6日(金) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日 午前	9:30	イントロダクション	A班：307 B班：310
	9:40	講義・演習「教職員としての心構えと服務」 高校教育課管理主事	
	10:30	講義・演習「学校事故の防止と対応」 センター職員	
	11:30	講義・演習「成長・発達を支える教員の関わり」 センター職員	
	12:30	昼食	

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日 午後	【講師・実習助手・寄宿舎指導員】		
	13:30	【講師】 講義・研究協議「学習指導要領をふまえた授業づくり」 センター職員	A班：307 B班：310
		【実習助手・寄宿舎指導員】 講義・研究協議「実習助手・寄宿舎指導員の職務」 センター職員	A班：205 B班：205
	14:30	演習・研究協議「授業づくりの工夫改善」 教諭、センター職員	国語：303 地歴公民：304 数学：305 理科：402 保健体育：308 音楽：313 美術：403 外国語：306 家庭・看護・福祉：503 情報：204 農業：205 工業・水産：207 商業：206
	15:50	リフレクション	
	【養護助教諭】		
	13:30	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員	A班：311 B班：311
	14:30	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	
	【栄養講師】		
	13:30	講義・研究協議「栄養教諭の任務と役割」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、センター職員	A班：314 B班：312
	14:30	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、栄養教諭、 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 養護助教諭・栄養講師は、臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 臨時的任用職員研修講座（特別支援学校） 実施要項

1 目的

服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、栄養講師、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、栄養教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (4月当初の採用者)	4月9日(木)～4月23日(木) オンデマンド配信型研修	5月1日(金) 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者、A班で未受講の者)	10月6日(火)～10月20日(火) オンデマンド配信型研修	11月6日(金) 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

※ 養護助教諭、栄養講師は、A班・B班ともに、第2日午後の研修は講座番号69の臨時的任用職員研修講座（高等学校）と合同開催とする。

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月9日(木)～4月23日(木) 【B班】10月6日(火)～10月20日(火)

期間内に動画を視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・養護助教諭・栄養講師・実習助手・寄宿舎指導員】

期日及び時間：【A班】5月1日(金) 【B班】11月6日(金) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日 午前	9:30	イントロダクション	A班：302 B班：202
	9:40	講義・演習「教職員としての心構えと服務」 教育庁特別支援教育課管理主事	
	10:20	講義・演習「障害のある子どもの理解と対応」 センター職員	
	11:30	講義・演習「生徒支援と教育相談的対応」 センター職員	
	12:30	昼食	

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日 午後	【講師・実習助手・寄宿舍指導員】		A班：302 B班：202
	13:30	講義・演習「特別支援学校におけるティーム・ティーチング」 センター職員	
	14:45	講義・演習「特別支援学校における授業づくり」 センター職員	
	15:50	リフレクション	
	【養護助教諭】		A班：311 B班：311
	13:30	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員	
	14:30	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	
	【栄養講師】		A班：314 B班：312
	13:30	講義・研究協議「栄養教諭の任務と役割」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、センター職員	
14:30	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、栄養教諭、センター職員		
15:50	リフレクション		

※ 養護助教諭・栄養講師は、臨時的任用職員研修講座（高等学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plantに掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(イ) 推薦研修

a 概要

教職教育課の推薦研修講座

講座番号	対象・定員・実施日	内容・講師等
71	教職員マネジメント研修講座（前期） 第1日 4月30日（木） 第2日 8月10日（月） 第3日 9月9日（水） 第4日 12月8日（火）	※管理職による申込みの必要はございません。 人材育成に関する研修を通して、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ることを目的とします。主に「人権教育」や「カリキュラム・マネジメント」「学校組織マネジメント」「コミュニティー・スクール」等について学びます。事例検討やグループ協議等の演習を多く取り入れて「自ら問いを創造する」研修を進め、講義ごとに「私の思う〇〇」として、プレゼン資料を作成します。担当となる教育事務所の管理主事より講評を行い、教育の未来を創造した学校の在り方について考えを深めていきます。今後学校運営において、指導的役割を担う意欲のある方の推薦をお願いします。 講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座」 環太平洋大学教授兼兵庫教育大学院客員教授 浅野 良一 講義・演習「カリキュラム・マネジメント（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善）」 早稲田大学 教授 藤井 千春
72	教職員マネジメント研修講座（後期） 第1日 5月19日（火） 第2日 7月下旬～8月上旬 （各教育事務所実施） 第3日 8月10日（月） 第4日 11月11日（水） 第5日 1月29日（金）	※管理職による申込みの必要はございません。 学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ることを目的とします。前期では主に「カリキュラム・マネジメント」「特別支援教育」「コミュニティー・スクール」等について学びました。後期では、「学校組織マネジメント」や「教職員の働き方改革」「コーチング」「学校事故防止」等、主に人材育成について学びます。また、第2日には、各教育事務所で学校教育に求められる管理職について学びます。事例検討やグループ協議等の演習を多く取り入れて、第5日には、「私の思う『未来を生きるこどものための学校教育』の在り方」について、各自研究発表を行います。 講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座」 環太平洋大学教授兼兵庫教育大学院客員教授 浅野 良一 講義・演習「豊かな人間性を育むために ―リーダーに求められる資質・能力―」 鹿島アントラーズFC代表取締役社長兼株式会社メルカリ取締役会長 小泉 文明

情報教育課の推薦研修講座

73	情報科教育研修講座 9月11日（金）	申込URL : https://forms.gle/tgcE8XRMEFWrvN4y8 高等学校において「情報I」が必修科目となり、大学入学共通テストにも導入された中で、その指導力向上の必要性が増しています。本講座は、「情報I」担当教員を対象として、「情報I」の学習指導に関する理論と実際を学びます。内容としては「ネットワークの構築～通信の仕組みを理解する～」を研修内容とし、ネットワークがどのように情報を届け、安全な通信がどのように成り立つのかを理解し、生徒にわかりやすく指導できる力を育成することを目標とし、講義・実習に加え、研究協議を通して、実践的な授業力の向上を図ります。「情報I」またはその代替科目担当の教員をご推薦ください。 講義・実習・研究協議「ネットワークの構築～通信の仕組みを理解する～」 （所外研修） 県立産業技術短期大学校 教務課学科主任 日熊 啓介
74	産業教育（農業）研修講座 9月11日（金）	申込URL : https://forms.gle/UyWw3du3vtmkDyww9 教科農業では、農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標に日々の教育活動が行われています。本講座では、茨城大学農学部で行われている最先端の研究とその背景に関する講義、および研究の現場を体験することで、地域に根ざした農業研究の実際について学ぶことができます。これからの農業教育を牽引していただける方をご推薦ください。 講義・実習「地域に根ざした農業研究」 （所外研修） 茨城大学 農学部 担当職員

75	産業教育（工業）研修講座 申込URL：https://forms.gle/xvqqEyv62ucvWzpg8	
	A班 7月28日（火） （土木系学科対象） B班 8月21日（金） （化学系学科対象）	工業科専門高等学校で実習に関する専門性を高め、指導に関する知識・技術を習得することを目的に、実践的研修を行います。今年度は土木系分野・工業化学系分野における実習の指導に対応するためのポイントを専門人材から学びます。各学校でA班は土木系分野、B班は工業化学系分野の授業・実習を担当している方をご推薦ください。 A班 講義・実習「ドローンを用いた測量実習の実際」（所外研修） 筑波研究学園専門学校 担当職員 B班 講義・実習「工業化学実習の指導法」（所外研修） 茨城県産業技術イノベーションセンター 担当職員
76	産業教育（商業）研修講座 申込URL：https://forms.gle/9S52YoVC19P4ieg77	
	7月7日（火）	県立高等学校商業に関する学科及び総合学科に所属する者、または、商業に関する科目を担当する者に対し、授業力向上を目指して実施します。学識経験者による講義・演習、教員の実践発表による授業実践事例の提供、研究協議により、実践的な授業力の向上を図ります。令和8年度は、ビジネス情報分野での、商業科におけるプログラミング教育についての内容としています。基礎的科目及び、ビジネス情報分野の授業を担当している方、または基礎的科目及び、ビジネス情報分野の専門的な指導法の向上に興味のある方をご推薦ください。 講義・演習「ビジネス情報分野における情報活用能力の育成」 アシアル株式会社 アシアル情報教育研究所 所長 岡本 雄樹

教育相談課の推薦研修講座

77	いじめ対応研修講座 申込URL：https://forms.gle/PQ4Emhx6geFh5UFi7	
	A班（水戸） 10月29日（木） B班（県北、鹿行） 11月4日（水）	本講座は、茨城県いじめ防止基本方針に則り、県内の全教職員がいじめ問題について理解を深め、いじめ対応についての資質・能力を向上させることを目的としています。令和8年度は、A班（水戸）、B班（県北、鹿行）のすべての公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校が対象です（私立は希望校のみ）。校内研修を企画したり、研修した内容を実践し校内で広めたりしていただくことのできる方（令和6・7年度に本講座を受講した方を除く、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭）をご推薦ください。 講義・演習「ネットいじめの現状と課題」 筑波大学 准教授 藤 桂

特別支援教育課の推薦研修講座

78	特別支援学校寄宿舎指導員研修講座 申込URL：https://forms.gle/JAwp3QHDxBHEdGnW8	
	8月20日（木）	特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修を行い、寄宿舎指導員としての資質・能力の向上を図ります。講義において、特別支援教育と寄宿舎教育の最新の動向を知り、研究協議を通して、寄宿舎指導の課題について考えていきます。 講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 広島大学 准教授 船橋 篤彦

b 実施要項

推薦研修	71
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和8年度 教職員マネジメント研修講座（前期） 実施要項

1 目的

学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修をとおして、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校・中学校・義務教育学校
職	教諭（主幹教諭と指導教諭は除く）、養護教諭、栄養教諭
条件	以下の条件を全て満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・教育事務所長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず、今後の学校運営において指導的な役割を担う意欲のある者 ・概ね教職経験5年以上の者（他県や私立等での経験を含む） ・30歳以上40歳以下の者（令和9年3月31日現在） ・2年間にわたり全日程の受講が可能な者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	令和8年 4月30日（木）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	令和8年 8月10日（月）	
第3日	令和8年 9月 9日（水）	
第4日	令和8年12月 8日（火）	

※ 校内研修の内容や進め方については、年度初めに研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 日程

期日及び時間：令和8年4月30日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式、イントロダクション 義務教育課長 センター所長	302
	9:50	講話「研修参加者に期待すること」義務教育課長	
	10:50	講義「本県の教育施策」 義務教育課指導担当課長補佐	
	12:00	昼食	
	13:00	講義「教育の未来と新しい学校の在り方」 県立高等学校長	
	14:30	説明「個別研究の進め方」	
	14:50	協議「未来を生きるこどものための学校教育」の在り方（14グループ） ファシリテーター	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年8月10日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

※学校組織マネジメント（基礎）研修講座と合同

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（1） —組織マネジメントとは—」 環太平洋大学教授兼兵庫教育大学院客員教授 浅野 良一	
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（2） —組織経営面のマネジメント—」	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（3） —業務遂行面のマネジメント—」	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年9月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義「特別支援教育の推進について」 特別支援教育課指導担当課長補佐 実践発表「特別支援教育の現状と課題」 学校協力者	
	11:00	講義「いじめ・「不登校」等生徒支援上の諸問題と教育相談体制の充実」 生徒支援・いじめ対策推進室長補佐	
	12:00	昼食	
	13:00	演習「いじめ・「不登校」の事例検討」（14グループ） ファシリテーター	
	14:30	協議「未来を生きるこどものための生徒支援」の在り方（14グループ） ファシリテーター	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年12月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義「学校と地域社会の連携について」 生涯学習課 実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 学校協力者	
	11:00	講義「新たな教師の学びの姿の実現に向けて」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義「カリキュラム・マネジメント(主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善)」 早稲田大学教授 藤井 千春	
	14:40	協議「新しい学力観と学力向上に向けたカリキュラム・マネジメントの工夫」（14グループ） ファシリテーター	
	15:50	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- 第1日 「令和8年度学校教育指導方針」 令和8年4月 茨城県教育委員会
- 第2日 未定
- 第3日 所属校の「いじめ防止等基本方針」
- 第4日 所属校の「学力向上プラン」
- 全日 プレゼン資料作成用PC

令和8年度 教職員マネジメント研修講座（後期）実施要項

1 目的

学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修をとおして、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校・中学校・義務教育学校
職	教諭（主幹教諭と指導教諭は除く）、養護教諭、栄養教諭
条件	教職員マネジメント研修講座（前期）を修了した者

3 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	令和8年 5月19日（火）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	令和8年 7月下旬～8月上旬	各教育事務所
第3日	令和8年 8月10日（月）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第4日	令和8年11月11日（水）	
第5日	令和9年 1月29日（金）	

4 日程

期日及び時間：令和8年5月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	2年次開始イントロダクション	302
	9:40	講義「教職員のメンタルヘルスと働き方改革の推進」 教育改革課人事制度改革担当管理主事	
	10:50	協議「教職員のメンタルヘルスケアと働き方改革を推進する学校づくり」（14グループ）ファシリテーター	
	12:00	昼食	
	13:00	講義「学校におけるコンプライアンスの確立と学校事故の未然防止」 教育改革課人材育成担当管理主事	
	14:10	演習・協議「教職員の不祥事根絶に向けた事例検討及びコンプライアンス意識の高い職場環境づくり」（14グループ）ファシリテーター	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年7月下旬～8月上旬 9時30分～16時（受付開始9時） ※各教育事務所にて開催

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	各教育事務所
	9:40	講話「教育事務所管内の学校教育について」 各教育事務所長	
	10:40	講義「教職員の職種と職務内容について」 各教育事務所人事課管理主事 実践発表「主幹教諭・指導教諭の業務遂行の実際」 学校協力者：主幹教諭・指導教諭	
	12:00	昼食	
	13:00	講義「長期研修（内地留学）、中央研修、教職大学院における学びについて」 各教育事務所学校教育課長 実践発表「長期研修で学んだこと」 学校協力者2名程度：教職大学院等研修修了者	
	14:00	講話「これからの学校教育に求められる管理職像」 学校協力者：校長会・教頭会代表	
	15:10	協議・演習「目指す管理職像」 ファシリテーター	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年8月10日（月） 9時30分～16時（受付開始）

※学校組織マネジメント（基礎）研修講座と合同

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（1） —組織マネジメントとは— 環太平洋大学教授兼兵庫教育大学院客員教授 浅野 良一	
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（2） —組織経営面のマネジメント—	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「学校組織マネジメント基礎研修講座（3） —業務遂行面マネジメント—	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和8年11月11日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	講義「教育法規の基本理解」 義務教育課人事担当管理主事	
	10:40	演習「事例研究 問題の焦点化と関連法規」（14グループ） ファシリテーター	
	12:00	昼食	
	13:00	協議「研究発表に向けた内容検討」（14グループ） ファシリテーター	
	14:20	講義「豊かな人間性を育むために —リーダーに求められる資質・能力—」 鹿島アントラーズFC代表取締役社長兼株式会社メルカリ取締役会長 小泉 文明	
	15:50	リフレクション	

期日及び時間：令和9年1月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	研究発表「私の思う、『未来を生きるこどものための学校教育』の在り方」 （5分散会）ファシリテーター	303 304 305 306
	12:00	昼食	308
	13:00	研究発表（午前に同じ）	308
	15:30	修了式「研修成果の活用について」 教育研修センター所長	302

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

第1日 「信頼される学校であるために」 平成28年3月 茨城県教育委員会

第4日 「教育小六法」等教育法規が確認できる資料

「管理職のためのサービス管理ハンドブック」 令和2年12月 教育庁学校教育部義務教育課

全日 プレゼン資料作成用PC

令和8年度 情報科教育研修講座 実施要項

1 目的

情報科教育について専門的かつ実践的な知識・技能を身に付けることにより、指導力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校・中等教育学校後期課程
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	情報科を担当する者（代替している場合はその担当）で校長が推薦する者
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）を受講する者

3 期日及び会場

9月11日（金） 県立産業技術短期大学校 〒311-1131 水戸市下大野町 6342

4 日程

期日及び時間：9月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	県立産業技術短期大学校
	9:45	講義・実習・研究協議「ネットワークの構築～通信の仕組みを理解する～」 (所外研修) 県立産業技術短期大学校 教務課学科主任 日熊 啓介、センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・実習・研究協議（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）第4日Ⅲ期と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 産業教育（農業）研修講座 実施要項

1 目的

産業教育（農業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	農業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

9月11日（金） 茨城大学農学部 〒300-0393 稲敷郡阿見町中央3-21-1

4 日程

期日及び時間：9月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	茨城大学農学部
	9:45	講義・実習「地域に根ざした農業研究」（所外研修） 茨城大学 農学部 担当職員、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 現地集合、現地解散。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 産業教育（工業）研修講座 実施要項

1 目的

産業教育（工業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	A班：工業に関する科目（土木系学科）を担当する者で校長が推薦する者 B班：工業に関する科目（化学系学科）を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

A班 7月28日（火） 筑波研究学園専門学校 〒300-0811 土浦市上高津1601

B班 8月21日（金） 茨城県産業技術イノベーションセンター 〒311-3195 東茨城郡茨城町長岡3781-1

4 日程

【A班：工業に関する科目（土木系学科）】

期日及び時間：7月28日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	筑波研究学園専門学校
	9:45	講義・実習「ドローンを用いた測量実習の実際」（所外研修） 筑波研究学園専門学校 担当職員、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 現地集合、現地解散。

【B班：工業に関する科目（化学系学科）】

期日及び時間：8月21日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	茨城県産業技術イノベーションセンター
	9:45	講義・実習「工業化学実習の指導法」（所外研修） 茨城県産業技術イノベーションセンター 担当職員、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 現地集合、現地解散。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 産業教育（商業）研修講座 実施要項

1 目的

産業教育（商業）に関する基礎科目の専門的研修を通して、専門教育の指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	商業に関する学科及び総合学科に所属する者、または、商業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

7月7日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：7月7日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	204
	9:45	講義・演習「ビジネス情報分野における情報活用能力の育成」 アシアル株式会社 アシアル情報教育研究所 所長 岡本 雄樹	
	12:15	昼食	
	13:15	実践発表・研究協議「商業における学習指導の実際」 教諭、センター職員	204
	15:45	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

教育情報ネットワークアカウント（メールアドレスとパスワード）、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

令和8年度 いじめ対応研修講座 実施要項

1 目的

いじめの現状や、未然防止・早期発見を含めた組織的な対応について理解を深め、いじめ対応についての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
地区	水戸、県北、鹿行（県東）
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭
条件	校長が推薦する者（私立は希望校のみ）
対象外	令和6年度又は令和7年度に本講座を受講した者

3 期日及び会場

A班（水戸）：10月29日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
B班（県北、鹿行（県東））：11月4日（水） 同上

4 日程

期日及び時間：【A班】10月29日（木）【B班】11月4日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	10:00	（公開講義 相談03） 講義・演習「ネットいじめの現状と課題」 筑波大学 准教授 藤 桂	
	12:00	昼食	101 201
	13:00	講義・研究協議「いじめへの組織的な対応」 センター職員	202 301 302 303 304 305 306 308
	15:45	リフレクション	311

※ 講義・演習「ネットいじめの現状と課題」は、公開講義とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

学校いじめ防止基本方針 5部

令和8年度 特別支援学校寄宿舎指導員研修講座 実施要項

1 目的

特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修をとおり、寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舎指導員（臨時的任用職員を含む）
条件	校長が推薦する者（今年度新規に任用された者は、必ず推薦する）

3 期日及び会場

8月20日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

4 日程

期日及び時間：8月20日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	10:00	講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 広島大学 准教授 船橋 篤彦	
	12:00	昼食	
	13:00	演習「担任・保護者との連携」 センター職員	
	14:20	研究協議「寄宿舎における課題解決に向けた今後の実践」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(ウ) 希望研修

a 概要

教職教育課の希望研修講座

講座番号	対象・定員・実施日	内容・講師等
79	高等学校等マネジメント研修講座 高 30人程度 全8日 6月22日(月) 6月23日(火) 7月7日(火) 9月11日(金) 10月6日(火) 10月7日(水) 11月5日(木) 12月17日(木)	申込URL : https://forms.gle/U3AYsLQnar6RbN45A 学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上に資することを目的とします。8回にわたる本研修と学校での実践経験を通して、教育活動を多角的に問題意識を持って考察し、第8日に「私がつくりたい未来の学校」と題し、受講者がつくりたい未来の学校についてのビジョンを発表していただきます。 講話「生徒と教職員のウェルビーイングを高める学校づくり」 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長 藤原 文雄 講義・演習「学校ビジョンの構築」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学教授 浅野 良一 講義・演習「新しい学びの推進」 学校法人桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学教授 溝上 慎一
80	学校組織マネジメント(基礎)研修講座 小中高特 50人 8月10日(月)	申込URL : https://forms.gle/eFErkPTayT2k24AC8 学校ビジョンの役割と構成要素(めざす姿、力の入れどころ、行動規範等)について解説します。演習では、学校の戦略マップを各自作成し、意見交換しながらマネジメント力の向上を図ります。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学 教授 浅野 良一
81	学校組織マネジメント(発展)研修講座	※令和8年度は実施しない。学校組織マネジメント(基礎)研修講座の隔年実施とする。
82	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座 小中高特 100人 8月18日(火)	申込URL : https://forms.gle/ujfXksjDzZE9pDYX8 日本語指導の在り方や今日の課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。 講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導ーことばの力を知り、育てる教育へー」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
83	「自己を見つめ、考え、語る」道徳教育研修講座 小中高特 80人 9月16日(水)	申込URL : https://forms.gle/y1nTc5PV5wW4UKZYA 教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。 講義「『自己を見つめ、考え、語る』道徳教育」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次
84	自治的能力を育む特別活動研修講座 小中高特 80人 7月31日(金)	申込URL : https://forms.gle/XKcvcQtSASGphDq29 文部科学省の教科調査官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生方の実践を共有し、協議を行うことで、自治的能力を育むために大切なことについて理解を深めます。 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井 伸彦

教科教育課の希望研修講座

85	<p>こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座</p> <p>小特 60人 第1日 共通：8月19日(水) 第2日 I期：1月28日(木) II期：2月9日(火)</p>	<p>申込URL：https://forms.gle/zpzmYt5ydSmxoXe8</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について学び、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。昨年度同様、事前提出課題の共有や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化の具体について探究し、確かな授業力の向上を図ります。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 東京学芸大学 教授 中村 和弘</p>
86	<p>生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座</p> <p>中高特 30人 第1日 8月4日(火) 第2日 2月3日(水)</p>	<p>申込URL：https://forms.gle/TrZgJmofwz4Vkyx8</p> <p>生徒が探究的に学ぶ授業デザインについての講義・研究協議・演習を通して自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ります。第1日は、事前に構想した授業について指導と評価の一体化を意識して授業の構想を具体化します。第2日は、各校で実践した成果と課題を共有し、研究協議を通して授業改善へ向けた今後の課題を明確にしていきます。提出課題・実践があります。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」 文教大学 教授 藤森 裕治</p>
87	<p>思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり研修講座(社会・地理歴史・公民)</p> <p>小中高特 計56人 A班(小) 20人 B班(中) 24人 C班(高) 12人 第1日 A班：9月4日(金) B班：9月18日(金) C班：9月15日(火) 第2日 全班：1月22日(金)</p>	<p>申込URL：https://forms.gle/3dSd4bWFzeNGpi fm6</p> <p>指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力、判断力、表現力等を育成する実践的な指導力の向上を目指します。第1日は歴史的分野を中心に、県立歴史館での所外研修を行います。第2日は各校での授業実践事例の提示や研究協議を通して、実践的な指導力の向上を図ります。提出課題(指導案作成、実践報告)があります。</p> <p>A班：講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 東京学芸大学 准教授 渡部 竜也 B班：講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 埼玉大学 教授 桐谷 正信 C班：講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 大正大学 教授 中嶋 則夫 全班：講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 東北学院大学 教授 佐藤 正寿</p>
88	<p>シティズンシップ教育研修講座</p> <p>小中高特 45人 8月19日(水)</p>	<p>申込URL：https://forms.gle/6F1xztmnlvGh1SHy9</p> <p>社会科、地理歴史・公民科および特別活動や総合的な学習の時間、総合的な探究の時間を中心としたシティズンシップ教育を教科等横断的に実施していくための講義や実践発表、演習(模擬裁判等)、研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を目指します。</p> <p>講義・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学 教授 唐木 清志</p>
89	<p>「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座(算数・数学)</p> <p>小中高特 計64人 A班(小) 32人 B班(中) 16人 C班(高) 16人 第1日 A班：9月16日(水) B班：9月18日(金) C班：9月15日(火) 第2日 A班：2月17日(水) B班：2月12日(金) C班：2月2日(火)</p>	<p>申込URL：https://forms.gle/3GNjvumXrWYXUwH6</p> <p>算数・数学教育に関する講義・演習を踏まえ、「深い学び」を実現する授業を立案、実践、省察することを通して、主体的・対話的で深い学びの視点について考えを深め、授業力の向上を図ります。提出課題・実践があります。</p> <p>A班：講義・研究協議「『深い学び』を追究する算数科学習指導の在り方」 千葉大学 教授 松尾 七重 講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 明星大学 客員教授 細水 保宏 B班：講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 文教大学 教授 永田 潤一郎 講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」 横浜国立大学 教授 両角 達男 C班：講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 講義・研究協議「数学科における探究的な学び」 東京学芸大学 准教授 成田 慎之介</p>

90	小学校理科観察・実験研修講座		申込URL : https://forms.gle/tdHVjPmZnNqFdXWA
	小特 48人 7月28日(火)	小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。観察・実験・研究協議を行い、理科の楽しさを実感していきます。 観察・実験・研究協議「問題解決の力を育成する観察・実験」(4領域)	
91	思考力、判断力、表現力等を育成する理科観察・実験研修講座		申込URL : https://forms.gle/39CgwpKGXBDYtkFG9
	中高特 48人 8月18日(火)	観察・実験・研究協議を通して、思考力、判断力、表現力等を育成する実践的な指導力の向上を図ります。観察・実験を中心としたプログラムとし、理科の4領域それぞれについて、70分程度の観察・実験を行います。 観察・実験・研究協議「エネルギー領域・粒子領域・生命領域・地球領域における思考力、判断力、表現力等を育成する観察・実験の工夫」	
92	音楽科授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/Gg7RuUF4cFz9zMiZ7
	小特 40人 8月7日(金)	午前、領域や分野、学年の学びのつながりを意識した小学校音楽における授業づくりについて実践発表や受講者同士の対話を通して考えていきます。午後は、児童の気付きや感じ方を大切に授業づくりについて、講師の講義等から学びます。 講義・実技「児童の気付きや感じ方を大切に授業づくり」 筑波大学 非常勤講師 高倉 弘光	
93	我が国の伝統音楽研修講座		申込URL : https://forms.gle/o7i95VKQRQTZVuEs8
	小中高特 計25人 8月19日(水)	児童生徒が我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わうことができる授業づくりについて考えていきます。午前、主に茨城県を中心とした民謡について講義や実技研修を通して学びます。午後は、郷土の音楽と民謡をテーマとした授業づくりについて、講師による講義や演習を通して学びます。 講義・実技「我が国の伝統的な歌唱」 茨城県民謡協会 講師 講義・演習「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫と評価」 玉川大学 教授 清水 宏美	
94	図画工作・美術科授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/arAd5qsWta1SJFTVA
	小中高特 各班25人 第1日 共通：7月22日(水) 第2日 A班：8月18日(火) B班：8月20日(木)	第1日は、茨城県近代美術館での所外研修です。講師の講義を聴講したり、展覧会では対話型鑑賞の演習を行ったり、美術館と連携した授業づくりについて学びます。第2日は、研修センターで実践発表・演習を行います。センターでの作品づくりを通して、表現と鑑賞を関連させた授業づくりについて考えます。 講義・研究協議「これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」 東京学芸大学 教授 西村 徳行	
95	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/tzQjwUwS3zdrkxJ8
	小中高特 40人 10月30日(金)	昨年度と同様、体育・保健体育のエキスパートである細越淳二先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、体育・保健体育の授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 国土館大学 教授 細越 淳二	
96	みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/trG258CRz3zGizye9
	中特 25人 8月19日(水)	技術・家庭科(技術分野)の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えていきます。 講義・研究協議「技術・家庭科[技術]教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 渡邊 茂一	
97	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/Bu936KTYueR9tgdI6
	小中特 30人 高特 15人 8月20日(木)	児童生徒の「できるがいっぱい！」を実現する、家庭科の授業づくりについて一緒に考えていきます。午後は校種別の部会で、実践発表や演習などを通して、授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの家庭科の授業改善」 茨城大学 教授 石島 恵美子	
98	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座		申込URL : https://forms.gle/d4xwC7eH2zQq9mAa7
	小中 80人 10月8日(木)	小・中学校の外国語活動・外国語(英語)科において、言語活動を通して児童生徒の英語発信力の向上を目指す、実践的指導力の向上を図ります。 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省初等中等教育局調査官 鹿嶋 成子	

99	自ら問いを立て探究する英語科研修講座 申込URL : https://forms.gle/FfzTMzqY21VDxgVu9	
	中高特 20人 第1日 7月22日(水)	「研修観の転換」に基づいた、参加者を主語とした講座です。経験から生じる「問い」より自身の課題を設定し、集合型研修のよさを生かした対話や協働を取り入れながら、探究的に授業改善を進めます。第2日の前には、実践の共有に向けた課題提出があります。
	第2日 12月16日(水)	演習・研究協議「実践の振り返りと課題の設定」、「行動計画の立案」 研究協議「実践の共有と省察」
100	夏季自然体験活動研修講座 申込URL : https://forms.gle/8tLrocN7jSm7Rj3p6	
	小中高特 24人 A班：7月30日(木)	自然博物館における動物・植物・地学分野の観察、体験、博物館の活用事例の紹介、授業における博物館の利用など自然体験活動の充実について研修します。 実習・講義「博物館を活用した理科教育」 ミュージアムパーク茨城県自然博物館職員
	小中高特 24人 B班：8月20日(木)	河川の上・中・下流域の様相の違いや水質調査等のフィールドワークを通して、体験的に環境教育について研修します。 実習「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員
101	未来を創るSTEAM教育研修講座 申込URL : https://forms.gle/swBDshDuVwPSxDfA	
	小中高特 80人 第1日 8月7日(金)	多様な課題が生じ、変化の大きい現代社会で必要とされる資質・能力を育む教育として、教科等を横断した「STEAM教育」が注目されています。本講座では、茨城県内で行われている小学校・中学校・高等学校の具体的な実践例を紹介するとともに、子どもたちの探究心と新たな価値を創造する授業づくりを目指します。文系・理系や校種の枠を超えて、共に新しい学びを創り出しましょう。
	第2日 12月3日(木)	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 白鷗大学 准教授 小川 博士 講義・演習・研究協議「STEAM教育による創造的な学び」 東京学芸大学大学院 教授 大谷 忠
102	探究的な学びをデザインする研修講座～学校図書館、地域リソース等とともに～ 申込URL : https://forms.gle/FTrR93wSxtX4TbAWA	
	小中高特 40人 第1日 7月31日(金)	探究的な学びの授業デザインを追究することを通して、持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する指導力の向上を図ります。第1日はJICA筑波で講義・実践発表・研究協議を通して探究的な授業デザインを具体化し、第2日では各校で実践した成果と課題を共有し、次年度以降の糧とします。課題提出・実践があります。
	第2日 1月29日(金)	講義・研究協議「探究的な学びを支える学校図書館」 放送大学 客員教授 堀川 照代 講義・研究協議「探究的な学びにおける地域との連携」 一般社団法人こたえのない学校代表理事 藤原 さと

情報教育課の希望研修講座

103	体験する農業教育研修講座 申込URL : https://forms.gle/Hxin6P9NLAh335uMA	
	小中高特 10人 10月8日(木)	本県の農業の現状や概要を学ぶことは、地域の農業を知る機会となり、興味や関心を高めることにつながると考えています。今回はJANAめがたしおさいを舞台に、管内で栽培されている天皇杯受賞の「甘藷を軸とした魅力ある地域活性化の取組」の事例から、課題設定や問題解決のための戦略を学ぶことができます。また、収穫等の体験も予定しており、本講座で習得したことが、今後の探究的な学びの一助になればと期待しています。収穫した甘藷は、お持ち帰りになれます。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「茨城県農業の現状～甘藷の取組から学ぶ～」 JANA茨城県中央会 櫻井 美穂 JANAめがたしおさい 栗山 裕仁
104	体験する工業教育研修講座 申込URL : https://forms.gle/1mVHMLuhY9mtKXSGA	
	小中高特 10人 8月18日(火)	工業とは、工業資源などの原材料を加工して付加価値を加えた製品を作る産業です。現代のものづくりにおいては「マイコン」による制御や、モノがインターネットにつながる「IoT」技術を組み込むことが、製品に大きな付加価値をもたらします。本講座では、電子工作を通してマイコンを搭載した製品を仕上げるプロセスを体験します。ハードウェアの組み立てから、それを制御する仕組みまで、これからの製造現場に不可欠な次世代のものづくりに触れてみませんか。体験した教材は、お持ち帰りになれます。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「マイコンボードを用いたものづくり実習」

105	体験する商業教育研修講座 小中高特 13人 9月4日(金)	申込URL : https://forms.gle/cN8vt3bsx84CnzBK9 本講座では、「商業」の学びに生かすための広い知見を得ることを目的として、スーパーマーケット「カスミ」本社および中央流通センターで、マーケティングと流通の実際について学びます。地域のライフラインを支えるスーパーマーケットの役割について、生活に身近な小売業と流通業のしくみを通して、貴重な体験から新たな視点とスキルが得られる講座です。この機会にぜひ、ビジネスや生活に必要な実践的な力となる「商業」の魅力に触れてみませんか。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(株式会社カスミ人事付外向) デジタル本部 デジタル開発ITサービス担当マネージャー 安藤 元一 講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実際」 株式会社カスミ 営業統括本部 SCM 池延 太夫夫
106	基礎からはじめる生成AIを活用した授業づくり研修講座 小中高特 各期50人 I期:7月23日(木) II期:8月20日(木)	申込URL : https://forms.gle/tkEL21gxYVjRcwCNA 本講座では、生成AIによる教育現場の変革に対応するため、生成AIを活用するにあたっての基礎的な知識と技術の習得を目指します。講義では、生成AIを活用した授業づくりについて学び、実践発表からは、具体的な活用方法についても知ることができます。さらに、9月以降実施する単元・題材の授業づくりとその協議を行い、実践的指導力の向上を図ります。皆さんぜひ、教員の強力なパートナーを使いこなして、「AI時代」の教育現場をリードしてみませんか。 講義「学校における生成AIを活用した授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の促進～」 研究協議・実践発表「授業における生成AIの活用と実際」 演習・実習「授業における生成AIの活用」 演習・研究協議「生成AIを活用した授業づくり」
107	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座 小中高特 60人 7月24日(金)	申込URL : https://forms.gle/EaghbY9hNQ1r8TnW8 今年度取り上げる教育課題は、「学校における生成AIを活用した校務DX」です。令和6年度に「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(Ver.2.0)」が公表されたことに加え、教育現場において生成AIへの関心が一層高まっています。こうした状況を踏まえ、生成AIを校務に活用するニーズや課題意識に対応するため、本講座では、働き方改革の視点を取り入れた研修を行います。具体的には、事例を交えながら、講義、実践発表、演習、研究協議を通して学んでいきます。皆さんぜひ、教員の強力なパートナーを使いこなして、「AI時代」の教育現場をリードしてみませんか。 講義「学校における校務DXと生成AIの活用」 札幌国際大学基盤教育部 准教授 安井 政樹
108	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座 小中高特 45人 7月31日(金)	申込URL : https://forms.gle/PwEY72ATfLfkBhI9 義務教育段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。小学校と中学校の実践発表の後、実習を二つ実施します。 ※ 小・中・高のつながりを意識して、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等が受講可能です。実習は小学校段階①、②、中学校段階①、②の4コースの中から二つ選択できます。義務教育段階でどのようなプログラミング教育に取り組んでいるかを理解し、小・中・高の連携を図っていきましょう。 実習 【小学校段階①】 「Scratch」を使用した音楽科におけるプログラミング 【小学校段階②】 「MESH」を使用した教科等横断的なプログラミング 【中学校段階①】 無料のビジュアル型プログラミングアプリを使用した、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング 【中学校段階②】 ドローンを使用した計測・制御のプログラミング

教育相談課の希望研修講座

109	「不登校」を考える研修講座 小中高特 84人 7月27日 (月)	子ども理解や不登校等を専門とする講師から、「不登校」児童生徒との関わりについて学びます。演習や研究協議を通して支援方法等について交流し、明日からの教育活動に生かしましょう。令和5年度不登校対応研修講座、令和6年度、7年度「不登校」を考える研修講座を受講していない方が対象です。 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 茨城大学 名誉教授 生越 達	申込URL : https://forms.gle/C4nCz5Ww35k1BHRC7
110	思春期の子どもと保護者の心に寄り添う研修講座 小中高特 72人 10月21日 (水)	自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の子どもの特徴と適切な関わり方について学びます。子どもや保護者の心に寄り添うための演習を体験し、今後の関わりに生かしましょう。令和5年度～令和7年度に受講していない方が対象です。 講義・演習「思春期の子どもの心の危機と向き合う」 東京都立大学 准教授 勝又 陽太郎	申込URL : https://forms.gle/77oct49mtmfzXAwJ7
111	教育相談 (初級) 研修講座 小中高特 各班56人 第1日 A班 : 8月20日 (木) B班 : 9月11日 (金) 第2日 A班 : 12月16日 (水) B班 : 12月22日 (火)	講義・演習や研究協議を通して、教育相談で用いる基本的なカウンセリングの理論や方法を学びます。さらに、実際の個別面接を想定したロールプレイを録音し研究協議を行い、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。全日程を受講できる方が対象です。A班かB班のいずれかを申込み時に選択してください。 第1日 : 講義・演習「教育相談の基礎」 茨城大学 名誉教授・特任教授 正保 春彦	申込URL : https://forms.gle/QpVSLmisjLnFvZHN8
112	教育相談 (中級) 研修講座 小中高特 36人 第1日 7月22日 (水) 第2日 1月13日 (水)	講義・演習や研究協議を通して、教育相談で用いる実践的なカウンセリングの理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。教育相談 (初級) 研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した個別面接の記録を持参することが可能な方が対象です。 第2日 : 講義・演習「教育相談の実践」 筑波大学 教授 飯田 順子	申込URL : https://forms.gle/eAWQJhk5A4HmVF8p9
113	教育相談 (上級) 研修講座 小中高特 24人 第1日 7月2日 (木) 第2日 10月8日 (木) 第3日 1月15日 (金)	講義・演習や研究協議を通して、教育相談で用いる応用的なカウンセリングの理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。教育相談 (中級) 研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した個別面接の記録を持参することが可能な方が対象です。 第1日 : 講義・演習「教育相談の応用」 放送大学 教授 丸山 広人 第2日 : 講義・演習「教育相談の発展」 茨城大学 教授 三輪 壽二	申込URL : https://forms.gle/oiFi2KRYqwEF2vRB6

特別支援教育課の希望研修講座

114	<p>自立活動指導力向上研修講座</p> <p>小中高 120人</p> <p>第1日 8月18日(火)</p> <p>第2日 12月16日(水)</p>	<p>申込URL : https://forms.gle/LBpKaMZhEf4M462VA</p> <p>第1日は、講義・演習、実践発表、プロセスシートの作成を通して、自立活動について学びます。第1日終了後、各学校において自立活動の実践を行っていただきます。第2日は、研究協議を通して各学校での自立活動の授業実践について情報共有を行います。また、演習を通して授業改善を目指し、自立活動の授業づくりについて考えます。2日間の研修と学校での自立活動の指導の実践を通して、自立活動の指導力向上を目指します。</p> <p>第1日：講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 聖和学園短期大学 学長 三浦 光哉</p>
115	<p>読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座</p> <p>小中高特 140人</p> <p>11月24日(火)</p>	<p>申込URL : https://forms.gle/7wxPZUCvmsgAeUjB8</p> <p>読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、講義や実践発表を通して理解を深めます。3つの分科会(①ひらがな・漢字の指導、②文・文章の指導、③アルファベット・英単語の指導)から2つ選択していただき、読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法について考えていきます。</p> <p>講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章</p>
116	<p>通常の学級における特別支援教育研修講座</p> <p>小中高 120人</p> <p>8月5日(水)</p>	<p>申込URL : https://forms.gle/tg5d9NqCgknVYZae9</p> <p>通常の学級における多様なニーズのある児童生徒や、特別支援教育の視点を踏まえた学級経営について、講義・演習や実践発表を通して考えていきます。また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応への支援方法を様々な角度から考えることで、特別支援教育についての理解を深めていきます。</p> <p>講義・演習「通常の学級における特別支援教育～インクルーシブ教育の視点を踏まえて～」 明星大学 教授 小貫 悟</p>
117	<p>特別支援教育の専門性を高めるための研修講座</p> <p>小中高特 70人</p> <p>第1日 7月22日(水)</p> <p>第2日 11月10日(火)</p>	<p>申込URL : https://forms.gle/jTvErkDTr37NhtGu5</p> <p>第1日は、グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方についての講義・演習を通して、特別支援教育の方向性と課題について学びます。また、障害のある児童生徒を理解するためのアセスメントについて演習を通して考えます。第2日は、行動の背景にある目的を科学的に捉える応用行動分析について、講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表や研究協議を通して、望ましい行動を増やす支援について考えます。</p> <p>第1日：講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 株式会社 RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS 代表 小嶋 悠紀</p> <p>第2日：講義・演習「応用行動分析学とは」 山梨大学 准教授 松下 浩之</p>

b 実施要項

希望研修	79
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和8年度 高等学校等マネジメント研修講座 実施要項

1 目的

学校教育に関する組織マネジメント及び人材育成に関する研修を行い、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立中学校・高等学校・中等教育学校
職	高等学校籍の教諭（主幹教諭・指導教諭を含む）、養護教諭
条件	<p>○以下の条件を全て満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講を希望する者又は校長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず学校マネジメントに関心があり、校内のミドルリーダーとして今後の学校運営等に改革意欲のある者 ・より広い視野に立った教員として、資質向上の意欲に富み、学校運営において指導的な役割を担うことができる者 ・原則として、令和9年3月31日現在で、35歳から45歳の者 ・全日程の受講が可能な者 <p>○提出書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己PR文「今後、学校改革に向けて取り組みたいこと」（400～600字） <p>〔様式〕：https://drive.google.com/drive/u/2/folders/112N_fuzjQI_P6rL_2oG2FU-N3N_76fd 〔提出先〕：message@edu.pref.ibaraki.jp 〔締切り〕：令和8年4月24日</p>
対象外	前年度までに本講座を受講した者

3 定員

30名程度

4 期日及び会場

区分	期日	備考
第1日	6月22日（月）	茨城県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	6月23日（火）	
第3日	7月7日（火）	
第4日	9月11日（金）	
第5日	10月6日（火）	
第6日	10月7日（水）	
第7日	11月5日（木）	
第8日	12月17日（木）	

5 日程

期日及び時間：6月22日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	開講式	101
	9:45	講話「これからのスクールリーダーに期待すること」 高校教育課長	
	10:30	講話「生徒と教職員のウェルビーイングを高める学校づくり」 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長 藤原 文雄	
	12:00	昼食	
	13:00	講話「リーダーとは」 株式会社FCE 代表取締役社長 石川 淳悦	
	14:25	講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方Ⅰ」 県立高等学校校長	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：6月23日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	講話「本県の教育課題と新たな改革プラン」 高校教育課高校教育改革推進室長	
	10:30	講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方Ⅱ」 県立高等学校長	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「学校ビジョンの構築」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学教授 浅野 良一	
	15:30	リフレクション	

期日及び時間：7月7日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	207
	9:50	講義・演習「県立学校の法的位置付け」 高校教育課人事担当管理主事	
	11:00	講義・演習「教育公務員の身分」 高校教育課人事担当管理主事	
	12:00	昼食	207
	13:00	講義・演習「教員のサービスの在り方」 高校教育課人事担当管理主事	
	13:50	講義・演習「勤務時間の関連規定」 高校教育課人事担当管理主事	
	14:40	講義・演習「共通テーマ『休日・休暇』」 高校教育課人事担当管理主事	
	15:20	研究協議「個別テーマ研究の進め方」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	202 205 207 301 310
	15:50	リフレクション	207

期日及び時間：9月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第4日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	研究協議「個別テーマ研究の中間検討会Ⅰ」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	205 206 207 308 310
	12:00	昼食	
	13:00	演習・協議（5分散会） 「共通テーマ研究の中間検討会」 高校教育課人事担当管理主事	205 206 207 308 310
	15:30	リフレクション	

期日及び時間：10月6日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第5日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	講義・演習「新しい学びの推進」 学校法人桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学教授 溝上 慎一	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「本県の教育課題とその取り組み」 高校教育課副参事	
	14:40	研究協議「私がつくりたい未来の学校」 センター職員（学校経営支援グループ）	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：10月7日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第6日	9:30	イントロダクション	310
	9:40	研究協議「個別テーマ研究の中間検討会Ⅱ」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	101 310
	12:00	昼食	312 314
	13:00	研究協議「個別テーマ研究の発表準備」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	図書情報室
	15:30	リフレクション	310

期日及び時間：11月5日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第7日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	講義・演習「事例研究～事例に学ぶ、問題の焦点化と関連法規～」 高校教育課人事担当管理主事	
	10:10	研究発表「個別テーマ研究の研究発表」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	204 205 206 207 310
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議「個別テーマ研究の研究協議」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事	204 205 206 207 310
	14:10	研究発表「個別テーマ研究の研究協議結果発表」（全体会） 高校教育課人事担当課長補佐、高校教育課人事担当管理主事	207
	15:30	リフレクション	

期日及び時間：12月17日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第8日	9:30	イントロダクション	302
	9:40	研究発表「私がつくりたい未来の学校」 センター職員（学校経営支援グループ）	
	12:00	昼食	
	13:00	研究発表（午前と同じ）	
	15:40	閉講式	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

詳細は、Plantに掲載する。

令和8年度 学校組織マネジメント（基礎）研修講座 実施要項

1 目的

学校組織マネジメントの基本的事項に関する研修をとおし、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校、私立学校
職	副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等

3 定員

50人

4 期日及び会場

8月10日（月） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：8月10日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメントとはー」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学教授 浅野 良一	
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー組織経営面のマネジメントー」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学教授 浅野 良一	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習（午前に続く）	
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー業務遂行面のマネジメントー」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学教授 浅野 良一	
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

学校要覧やランドデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。

令和8年度 学校組織マネジメント（発展）研修講座 実施要項

※ 令和8年度は実施しない。学校組織マネジメント（基礎）研修講座との隔年実施とする。

1 目的

学校組織マネジメントの戦略・ビジョンに関する研修をとおり、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校、私立学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等
対象外	令和7年度までに本講座を受講した者

3 定員

60人

4 期日及び会場

*月*日（*） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメント概論ー」 大学教授	
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー学校の戦略マップづくりー」 大学教授	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習（午前に続く）	
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー戦略の共有と振り返りー」 大学教授	
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 学校要覧やグランドデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。
- (2) 自校に対して組織的な学校経営を行うことを想定し、SWOT分析を行った上で、どこに突破口（機会や強み）や問題（脅威や弱み）があるのかを整理し、今後の自校に必要なことを考察しておく。

令和8年度 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座 実施要項

1 目的

日本語指導における今日的課題とともに、授業の工夫・改善に係る理論と実践について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

100人

※ ワークショップ②については、申込時に選択する。

4 期日及び会場

8月18日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日：講座前日まで

区分	ワークショップ②	研修内容・講師等
事前準備	B	外国人児童生徒受け入れ時の課題とその対応について、当日のグループで協議できるよう学校の現状をまとめておく。（提出の必要はありません。）
事前視聴	C	文部科学省の研修動画「日本語指導の方法1」（約22分）を視聴しておく。
事前準備	D	文部科学省『ことばの発達と習得のものさし（ことばの力のものさし）実践ガイド』「実践編（第5章 実践記録集）」を読んでおく。

※ ワークショップAは、事前準備はありません。

期日及び時間：8月18日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	講堂
	9:40	講義「帰国・外国人児童生徒への日本語指導ーことばの力を知り、育てる教育へー」 筑波大学 准教授 澤田 浩子	
	10:50	実践発表「帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導の実際」 教諭、センター職員	303 304 305
	11:30	昼食	
	12:30	ワークショップ①「日本語指導の実践」 （A：小学校 B：中学校 C：高等学校） センター職員	
	13:40	ワークショップ②	A「アセスメントの実施と指導計画」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
B「初期適応支援（異文化理解、サバイバル日本語）と校内指導体制」 センター職員			
C「日本語初期指導（日本語基礎）」 麗澤大学 准教授 井上 里鶴			305 306
D「日本語と教科の統合学習」 センター職員			
15:50	リフレクション		

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

日本語指導において活用している教材や教具等

令和8年度 「自己を見つめ、考え、語る」 道徳教育研修講座 実施要項

1 目的

道徳教育に係る授業の理論と実践についての理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

9月16日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：9月16日（水）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	204 301 302 講堂
	9:40	（公開講義 教職02） 講義「『自己を見つめ、考え、語る』道徳教育」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次	
	11:20	実践発表・協議「『自己を見つめ、考え、語る』道徳教育の実際」 教諭、センター職員	
	12:20	昼食	
	13:20	演習・研究協議「『自己を見つめ、考え、語る』道徳教育を目指して」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義「『自己を見つめ、考え、語る』道徳教育」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 小・中学校

- ・自校で使用している道徳科の教科書
- ・担当校種の学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編 文部科学省

(2) 高等学校

- ・自校で使用している道徳教育の資料

(3) 特別支援学校

- ・自校で使用している道徳科の教科書又は道徳資料

令和8年度 自治的能力を育む特別活動研修講座 実施要項

1 目的

特別活動の果たすべき役割とこれからの課題を明確にし、特別活動における指導力の向上と教育活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

※ 実践発表・協議については、第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)～(3)、第2分科会 児童会活動、第3分科会 生徒会活動のいずれかを申込時に選択する。

※ 学級（ホームルーム）活動(1)～(3)は、学習指導要領の分類による。

4 期日及び会場

7月31日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：7月31日（金） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	13:00	イントロダクション	オンライン
	13:10	（公開講義 教職01） 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井 伸彦	
	14:50	実践発表・協議「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」（3分科会） 【第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)、(2)、(3)】 教諭、センター職員 【第2分科会 児童会活動】 教諭、センター職員 【第3分科会 生徒会活動】 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省

(2) 担当校種の以下の資料（教員向けパンフレット）

・みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）

・学校文化を創る特別活動（中学校・高等学校編）

※ 教員向けパンフレットは、国立教育政策研究所のWebページからダウンロードできる。

令和8年度 こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座 実施要項

1 目的

単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化について学び、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を探究することを通して、確かな授業力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校、私立小学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

60人

4 期日及び会場

第1日：共通 8月19日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日：Ⅰ期 1月28日（木） 同上

Ⅱ期 2月9日（火） 同上

※ 第2日は、申込時の調査をもとに決定する。

5 日程

期日及び時間：【共通】 8月19日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	（公開講義 教科13） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 東京学芸大学 教授 中村 和弘	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた国語科の授業改善」 センター職員	
	14:00	演習・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の構想」（3分散会） センター職員	第1：302 第2：202 第3：301
	15:50	リフレクション	302

※ 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」は、公開講義とする。

期日及び時間：【Ⅰ期】 1月28日（木） 【Ⅱ期】 2月9日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	302
	9:50	講義・研究協議「国語科の授業づくりと評価の改善」 センター職員	
	11:00	研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の共有」（3分散会） センター職員	【Ⅰ期】 第1：302 第2：304 第3：101
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
		15:50	リフレクション
			302

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 小学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省
- (2) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校国語】 令和2年3月
- (3) 担当学年の教科書

令和8年度 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座 実施要項

1 目的

生徒が探究的に学ぶ授業デザインについての講義・研究協議・演習を通して自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立中・高・中等教育学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	国語科を担当する者

3 定員

30人

4 期日及び会場

第1日：8月4日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

第2日：2月3日（水） 同上

5 日程

期日及び時間：8月4日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	10:00	（公開講義 教科12） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」 文教大学 教授 藤森 裕治	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議・演習「探究的な授業デザインの構想」（3分散会） センター職員	第1：207 第2：206 第3：204
	15:30	リフレクション	207

※ 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」は、公開講義とする。

期日及び時間：2月3日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	9:40	講義・研究協議「探究的な授業づくりと評価の改善」 センター職員	
	10:30	研究協議・演習「授業実践の共有と省察」（3分散会） センター職員	第1：307 第2：311 第3：314
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議・演習（午前と同じ）	
	15:10	研究協議「これからの授業実践に向けて～課題の設定～」 センター職員	
	15:50	リフレクション	307

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- 中学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省
- 高等学校学習指導要領解説 国語編 平成30年7月 文部科学省
- 担当している授業の教科書
- 所属先の年間指導計画

令和8年度 思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民） 実施要項

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力、判断力、表現力等を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校で社会科を担当する者 B班：中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校で社会科を担当する者 C班：高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校で地理歴史・公民科を担当する者

3 定員

A班 20人、B班 24人、C班 12人 計56人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校)	9月4日(金) 県立歴史館	1月22日(金) 教育研修センター
B班 (中学校)	9月18日(金) 県立歴史館	
C班 (高等学校)	9月15日(火) 県立歴史館	

※ 県立歴史館 〒310-0034 水戸市緑町2丁目1-15

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

【A班（小学校）】

期日及び時間：9月4日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	県立歴史館
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員	
	10:30	講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 東京学芸大学 准教授 渡部 竜也	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」 県立歴史館職員 センター職員	
	15:30	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【B班（中学校）】

期日及び時間：9月18日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	県立歴史館
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員	
	10:30	講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 埼玉大学 教授 桐谷 正信	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」 県立歴史館職員 センター職員	
	15:30	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【C班（高等学校）】

期日及び時間：9月15日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	県立歴史館
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 センター職員	
	10:30	講義・研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくりと学習評価」 大正大学 教授 中嶋 則夫	
	12:30	昼食	
	13:30	講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」 県立歴史館職員 センター職員	
	15:30	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、地理歴史・公民）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力、判断力、表現力等を育成する授業づくり～歴史的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【全班共通】

期日及び時間：1月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	302
	9:45	講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 東北学院大学 教授 佐藤 正寿	
	11:15	研究協議「思考力、判断力、表現力等を育成する授業改善の共有～表現する場面でのパフォーマンス評価～」（3分散会） センター職員	302 308
	12:00	昼食	311
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:30	リフレクション	302

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 平成30年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 公民編 平成30年7月 文部科学省

8 その他

- ・第1日の昼食については、受講決定後に改めて連絡する。

令和8年度 シティズンシップ教育研修講座 実施要項

1 目的

社会科、地理歴史・公民科および特別活動や総合的な学習の時間、総合的な探究の時間を中心としたシティズンシップ教育を教科等横断的に実施していくための講義や実践発表、演習・研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を図る。

2 対象(条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

45人

4 期日及び会場

8月19日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：8月19日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	10:00	講義・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学 教授 唐木 清志	
	11:30	実践発表・模擬授業・演習「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育の実際」（3分散会） 第1分散会 教諭 高校教育課指導主事 センター職員 ※社会科、地理歴史・公民科での実践発表 ※小中、高校 第2分散会 教諭 センター職員 ※特別活動での実践発表 第3分散会 教諭 センター職員 ※総合的な学習の時間、総合的な探究の時間での実践発表	101 311 312
	12:30	昼食	
	13:30	模擬授業・演習「模擬裁判から取り組んだシティズンシップ教育の実際」（3分散会） 第1分散会 裁判所職員 教諭、センター職員 第2分散会 検察庁職員 教諭、センター職員 第3分散会 弁護士会職員 教諭、センター職員	
	14:30	研究協議「シティズンシップ教育を取り入れた実践の構想」（3分散会） 第1分散会 教諭 高校教育課指導主事 センター職員 第2分散会 教諭 センター職員 第3分散会 教諭 センター職員	101
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 「深い学び」を追究する算数・数学科授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

算数・数学教育に関する講義・演習を踏まえ、「深い学び」を実現する授業を立案、実践、省察することを通して、主体的・対話的で深い学びの視点について考えを深め、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校で算数科を担当する者 B班：中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校で数学科を担当する者 C班：高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校で数学科を担当する者

3 定員

A班 32人、B班、C班 各16人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校・小学部)	9月16日(水) 教育研修センター	2月17日(水) 教育研修センター
B班 (中学校・中学部)	9月18日(金) 教育研修センター	2月12日(金) 教育研修センター
C班 (高等学校・高等部)	9月15日(火) 教育研修センター	2月2日(火) 教育研修センター

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

【A班（小学校・小学部）】

期日及び時間：9月16日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:45	(公開講義 教科16) 講義・研究協議「『深い学び』を追究する算数科学習指導の在り方」 千葉大学 教授 松尾 七重	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・研究協議「今、求められる算数科の授業改善」 センター職員	
	14:00	実践発表・研究協議「算数科の授業デザインの実際」 教諭 1人 センター職員	
	14:45	演習「授業改善の構想」（4分散会） センター職員	
	15:50	リフレクション	第3：201 第4：202

※ 講義・研究協議「『深い学び』を追究する算数科学習指導の在り方」は、公開講義とする。

期日及び時間：2月17日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	第1：304 第2：305 第3：306 第4：311
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（4分散会） センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	14:00	講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 明星大学 客員教授 細水 保宏	304
	15:45	リフレクション	

【B班（中学校・中等部）】

期日及び時間：9月18日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	201
	9:45	（公開講義 教科17） 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 文教大学 教授 永田 潤一郎	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業改善」 センター職員	
	14:00	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実践」 教諭 1人 センター職員	
	14:45	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第4日と合同開催とする。

※ 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、公開講義とする。

期日及び時間：2月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	第1：201 第2：203
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	
	14:00	講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」 横浜国立大学 教授 両角 達男	201
	15:45	リフレクション	

※ 講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第7日と合同開催とする。

【C班（高等学校・高等部）】

期日及び時間：9月15日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	201
	9:45	(公開講義 教科15) 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業改善」 センター職員	
	14:00	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実際」 教諭 1人 センター職員	
	14:45	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員	
	15:50	リフレクション	第2：203

※ 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第4日と合同開催とする。

※ 講義・研究協議「『深い学び』を追究する数学科学習指導の在り方」は、公開講義とする。

期日及び時間：2月2日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	第1：201 第2：203
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前と同じ）	201
	14:00	講義・研究協議「数学科における探究的な学び」 東京学芸大学 准教授 成田 慎之介	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・研究協議「数学科における探究的な学び」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第7日と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 算数編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 数学編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 数学編理数編 平成30年7月 文部科学省

令和8年度 小学校理科観察・実験研修講座 実施要項

1 目的

小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校、私立小学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

48人

4 期日及び会場

7月28日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：7月28日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	観察・実験・研究協議「問題解決の力を育成する観察・実験」（4分散会） 外部機関職員、センター職員	401 402 501 502
	12:15	昼食	
	13:15	観察・実験・研究協議（午前と同じ）	401 402 501 502
	15:50	リフレクション	207

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 思考力、判断力、表現力等を育成する理科観察・実験研修講座 実施要項

- 1 目的
観察・実験・研究協議を通して、思考力、判断力、表現力等を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立中・高・中等教育学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	理科を担当する者

- 3 定員
48人

- 4 期日及び会場
8月18日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

- 5 日程
期日及び時間：8月18日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	204
	9:45	観察・実験・研究協議（4分科会） 「エネルギー領域における思考力、判断力、表現力等を育成する観察・実験の工夫」	401 402
		「粒子領域における思考力、判断力、表現力等を育成する観察・実験の工夫」	501 502
		「生命領域における思考力、判断力、表現力等を育成する観察・実験の工夫」	501 502
		「地球領域における思考力、判断力、表現力等を育成する観察・実験の工夫」 教諭、センター職員	
	12:15	昼食	
13:15	観察・実験・研究協議（午前に同じ）	401 402 501 502	
	15:45	リフレクション	204

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 音楽科授業づくり研修講座 実施要項

- 1 目的
音楽科教育に関する講義及び体験的な研修を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校、私立小学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤を除く）
条件	小・義務教育学校前期課程・特別支援学校で音楽科を担当する者

- 3 定員
40人

- 4 期日及び会場
8月7日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

- 5 日程
期日及び時間：8月7日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308
	9:45	実践発表・研究協議「学びのつながりを意識した授業づくり」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
第1日	13:00	講義・実技「児童の気付きや感じ方を大切にした授業づくり」 筑波大学 非常勤講師 高倉 弘光 センター職員	307
	15:30	リフレクション	

- 6 研修講座資料等
研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

- 7 携行品
・小学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省

令和8年度 我が国の伝統音楽研修講座 実施要項

- 1 目的
音楽科における我が国の伝統・文化に関する教育に対する認識を深め、基本的な授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	音楽科を担当する者

- 3 定員
25人

- 4 期日及び会場
8月19日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

- 5 日程
期日及び時間：8月19日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	304
	9:40	講義・実技「我が国の伝統的な歌唱」 茨城県民謡協会 講師 センター職員	
	12:00	昼食	
第1日	13:00	講義・演習「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫と評価」 玉川大学 教授 清水 宏美 センター職員	307
	15:45	リフレクション	

- 6 研修講座資料等
研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編 平成30年7月 文部科学省

令和8年度 図画工作・美術科授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく図画工作・美術科の授業づくりについて理解を深めることを通して、授業力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	A班：小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校で図画工作科を担当する者 B班：中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校で美術科を担当する者

3 定員

A班、B班 各25人

4 期日及び会場

第1日：共通 7月22日（水） 茨城県近代美術館 〒310-0851 水戸市千波町東久保666の1
第2日：A班 8月18日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
B班 8月20日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：【共通】 7月22日（水） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	10:00	イントロダクション	県近代美術館
	10:30	（公開講義 教科11） 講義・研究協議「これからの社会を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」 東京学芸大学 教授 西村 徳行、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「美術館と連携した授業づくり」 県近代美術館職員、センター職員	
	15:30	リフレクション	

※ 講義・研究協議「これからの社会を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」は、公開講義とする。

期日及び時間：【A班】8月18日（火）【B班】8月20日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	403
	10:00	【A班】 実技「造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員	
		【B班】 実技「生活や社会の中の美術の働きについて考える授業づくり」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	【A班】 実践発表・実技・研究協議「造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員	
		【B班】 実践発表・実技・研究協議「生活や社会の中の美術の働きについて考える授業づくり」 教諭、センター職員	
15:30	リフレクション		

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 第1日、第2日共通

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 図画工作編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術編 平成30年7月 文部科学省

(2) 第2日

別途連絡する。

8 その他

- ・第1日の昼食は、弁当持参を基本とするが、館内レストランを利用してもよい。

令和8年度 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

授業改善に関する実践的・体験的な研修を通して、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する態度を育む体育・保健体育科の授業づくりについて理解を深めるとともに授業力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	・小学校勤務者は、保健体育科の免許状を有する者、または体育主任を担当する者 ・申込者多数の場合は、令和7年度の未受講者を優先とする

3 定員

40人

4 期日及び会場

10月30日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：10月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	10:15	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 国士舘大学 教授 細越 淳二	
	12:15	昼食	
	13:15	演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 センター職員	アリーナ
	15:30	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 保健体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 保健体育編 平成30年7月 文部科学省

(2) 運動のできる服装、運動靴

(3) PC等の端末

担当：教科教育課
 直通：0296-78-3213
 担当：情報教育課
 直通：0296-78-3211

令和8年度 みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり研修講座 実施要項

1 目的
 実践的・体験的な学習活動に関する研修を通して、Technology教育の授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程・特別支援学校、私立中学校・中等教育学校前期課程
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	技術・家庭科〔技術〕を担当する者

3 定員
 25人

4 期日及び会場
 8月19日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程
 期日及び時間：8月19日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	204
	10:00	（公開講義 教科14） 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 （併）情報教育振興室教科調査官 渡邊 茂一	
	11:45	昼食	食堂
	12:45	実践発表・演習「『Technology』の指導と評価の工夫」 教諭、センター職員	204
	15:40	リフレクション	

※ 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省

令和8年度 できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

実践的・体験的な学習活動に関する研修を通し、家庭科教育について理解するとともに授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	小・中・義務教育学校・高・中等教育学校は、家庭科を担当する者

3 定員

小・中・特部会 30人
高・特部会 15人

4 期日及び会場

8月20日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：8月20日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの家庭科の授業改善」 茨城大学 教授 石島 恵美子	
	11:45	昼食	
	12:45	【小・中・特部会】 実践発表・演習「知識と技能の習得に向けた家庭科の授業づくり」 教諭、センター職員	302
		【高・特部会】 実践発表・演習「生徒の主体的な学びを促す授業づくりと学習評価」 教諭、高校教育課指導主事	303
15:45	リフレクション	302 303	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 家庭編 平成30年7月 文部科学省

(2) 担当校種の教科書

(3) 【小・中・特部会】については、裁縫用具

令和8年度 英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

小中学校の外国語（英語）科の授業における言語活動を充実させることを通して、児童生徒の英語発信力向上につながる授業力を身に付ける。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校前期課程、私立小学校・中学校・中等教育学校前期課程
職	国公立：教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	外国語活動、外国語（英語）科を担当する者

3 定員

80人

4 期日及び会場

10月8日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：10月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	（公開講義 教科19） 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室 教科調査官 鹿嶋 成子	
	11:30	昼食	
	12:30	実践発表・演習「英語発信力向上を目指した授業づくりの実際」 教諭 センター職員	
	14:00	研究協議「英語発信力向上を目指した言語活動の構想」 センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
中学校学習指導要領解説 外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
- (2) 担当学年で使用している教科書

令和8年度 自ら問いを立て探究する英語科研修講座 実施要項

1 目的

自らの授業実践の特徴や考え方の枠組みについて振り返り、言語化や対話をすることで、何についてどのように学ぶのかを参加者自身が導き出し、行動計画の立案、実践と省察を通して、英語科教員としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校・義務教育学校後期課程・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立中学校・高等学校・中等教育学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	外国語（英語）を担当する者

3 定員

20人

4 期日及び会場

第1日：7月22日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日：12月16日（水） 同上

5 日程

期日及び時間：7月22日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	308
	10:00	演習・研究協議「実践の振り返りと課題の設定」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「行動計画の立案」 センター職員	
	15:30	リフレクション	

期日及び時間：12月16日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	308
	10:00	研究協議「実践の共有と省察」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:30	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 夏季自然体験活動研修講座 実施要項

1 目的

自然博物館や環境科学センターの施設を活用した観察・実験、実習・調査などを通して、自然体験活動に係る指導力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く） 私立：教頭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

A班（博物館を活用した理科教育） 24人

B班（河川観察等を通じた体験型環境教育） 24人

※ 申込時に希望班を選択する（両班への参加も可）

4 期日及び会場

A班：7月30日（木） ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 坂東市大崎700

B班：8月20日（木） 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 〒300-0023 土浦市沖宿町1853

5 日程

【A班（博物館を活用した理科教育）】

期日及び時間：7月30日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	10:00	イントロダクション	県自然博物館
	10:10	実習・講義「動物分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員	
	11:20	実習・講義「植物分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員	
	12:30	昼食・館内施設見学	
	13:30	実習・講義「地学分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員	
	14:30	講義・演習「博物館における教育普及・授業における博物館の利用」 自然博物館職員、センター職員	
	15:30	リフレクション	

【B班（河川観察等を通じた体験型環境教育）】

期日及び時間：8月20日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	10:00	イントロダクション	県霞ヶ浦 環境科学センター
	10:10	実習「河川源流の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	実習「河川中流の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員	
	13:30	実習「河川河口付近の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員	
	14:30	実習「河川上流から下流の水質調査」（色、におい、透視度、COD等） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員	
	15:30	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 共通

- ・昼食、飲み物
- ・雨具（合羽等）
- ・野外活動に適した服装（長袖、帽子等）
- ・（必要に応じて）デジタルカメラ、虫よけスプレー、採取したものをを入れるファスナー付きビニル袋等

(2) 班別

- A班（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）：飲み物は、ふたのあるペットボトルや水筒とする。
雨具は、折りたたみ傘は館内に持ち込めない。
- B班（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）：長靴又はよごれてもよい靴

8 その他

- ・実習のため、動きやすい服装で参加する。
- ・茨城県霞ヶ浦環境科学センターと実習場所の往復は、茨城県霞ヶ浦環境科学センターのバスを利用する。

令和8年度 未来を創るSTEAM教育研修講座 実施要項

1 目的

科学 (Science) 、技術 (Technology) 、工学 (Engineering) 、アート (Art) 、数学 (Mathematics) の5つの領域を中心に、探究と創造を組み合わせた教科等横断的な学びについて理解し、指導力の向上と教育活動の充実を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校、県・市町村教育委員会、県教育事務所
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）、指導主事等 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

第1日 8月7日(金) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日 12月3日(木) 同上

5 日程

期日及び時間：8月7日(金) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	9:45	講義・研究協議「教科等横断的な学びにつながるSTEAM教育」 センター職員	
	10:15	実践発表・研究協議「STEAM教育の実際」 教諭 3人(小中高) センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 白鷗大学 准教授 小川 博士 センター職員	
	15:15	リフレクション	

期日及び時間：12月3日(木) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるプログラミング」 センター職員	204 207
	12:15	昼食	302
	13:15	講義・演習・研究協議「STEAM教育による創造的な学び」 東京学芸大学大学院 教授 大谷 忠 センター職員	
	15:15	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム(以下「Plant」という。)に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 探究的な学びをデザインする研修講座～学校図書館、地域リソース等とともに～ 実施要項

1 目的

探究的な学びの授業デザインを追究することを通して、持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、司書教諭、講師（非常勤除く）、学校司書 私立：教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員 40人

4 期日及び会場

第1日 7月31日（金） JICA筑波 〒305-0074 つくば市高野台3-6
第2日 1月29日（金） 県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：7月31日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	JICA筑波
	9:40	講義・研究協議「今、求められる探究的な学び」 センター職員	
	10:00	講義・研究協議「探究的な学びを支える学校図書館」 放送大学 客員教授 堀川 照代	
	11:30	昼食（図書館見学・施設見学を含む）	
	13:00	実践発表・研究協議「探究的な学びの実際」 JICA筑波職員 教諭（JICA依頼） センター職員	
	14:30	研究協議・演習「探究的な学びの授業デザインの構想」 教諭（JICA依頼） センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：1月29日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	9:45	研究協議「探究的な学びの実践の共有」 センター職員 3人	
	12:30	昼食	
	13:30	（公開講義 教科20） 講義・研究協議「探究的な学びのさらなる発展へ向けて」 一般社団法人こたえのない学校 代表理事 藤原 さと	
	15:30	リフレクション	

※ 講義・研究協議「探究的な学びのさらなる発展へ向けて」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 体験する農業教育研修講座 実施要項

1 目的

農業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても農業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、農業）を受講する者

3 定員

10人

4 期日及び会場

10月8日（木） JAなめがたしおさい なめがた地域センター 〒311-3835 行方市島並857-35

5 日程

期日及び時間：10月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	JAなめがたしおさい なめがた地域センター
	9:40	講義・実習「茨城県農業の現状～甘藷の取組から学ぶ～」（所外研修） 関連施設担当職員（JA中央会・JAなめがたしおさい）、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習（午前と同じ）	
	15:45	リフレクション	

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、農業）第8日IV期と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 体験する工業教育研修講座 実施要項

1 目的

工業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても工業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

10人

4 期日及び会場

8月18日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：8月18日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	講義・実習「マイコンボードを用いたものづくり実習」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習（午前と同じ）	207
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 体験する商業教育研修講座 実施要項

1 目的

商業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても商業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業・水産）を受講する者

3 定員

13人

4 期日及び会場

9月4日（金） 午前：株式会社カスミつくばセンター 〒305-0831 つくば市西大橋599-1
午後：株式会社カスミ中央流通センター 〒315-0056 かすみがうら市上稲吉2045-1

5 日程

期日及び時間：9月4日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	株式会社カスミ つくばセンター
	9:45	講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（株式会社カスミ人事付外向）デジタル本部 デジタル開発ITサービス担当 マネージャー 安藤 元一、センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実際」 株式会社カスミ 営業統括本部 SCM 池延 太実夫、センター職員	株式会社カスミ 中央流通センター
	15:45	リフレクション	

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業）第4日Ⅱ期、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、水産）第4日Ⅱ期と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 基礎からはじめる生成A Iを活用した授業づくり研修講座 実施要項

1 目的

生成A Iを活用した授業づくりをするための糸口となる基礎的な知識と技術を習得することにより、生成A Iの飛躍的な発展がもたらす教育現場の変革に対応するとともに、個別最適な学びや協働的な学びの推進に資する。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

I期 50人

II期 50人

4 期日及び会場

I期 7月23日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

II期 8月20日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：【I期】7月23日（木）【II期】8月20日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	講義「学校における生成A Iを活用した授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の促進～」 センター職員 研究協議・実践発表「授業における生成A Iの活用と実際」 教諭、センター職員	
	11:00	演習・実習「授業における生成A Iの活用」 教諭、センター職員	204 205 206 207
	12:00	昼食	
	13:00	演習・研究協議「生成A Iを活用した授業づくり」 教諭、センター職員	204 205 206 207
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 教材作成に必要な資料（教科書、資料集等）

※ 電子データ（動画、静止画ファイル等）を使用する場合は、Googleドライブにて持参

(2) 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

令和8年度 新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座

1 目的

教育の情報化に係る課題解決の糸口となる知識と技術の習得により、社会や学校の情報化の進展に対応する資質・能力を育成する。本年度のテーマは、「学校における生成A Iを活用した校務D X」とする。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）、事務職員（市町村立学校の県費負担職員） 私立：教諭

3 定員

60人

4 期日及び会場

7月24日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：7月24日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:45	（公開講義_情報01） 講義「学校における校務D Xと生成A Iの活用」 札幌国際大学基盤教育部 准教授 安井 政樹	
	11:15	研究協議「学校における校務D Xと生成A Iの活用」 札幌国際大学基盤教育部 准教授 安井 政樹、センター職員	
	11:45	昼食	
	12:45	実践発表・研究協議「学校における校務D Xと生成A Iの活用の実際」 教諭等、事務職員、センター職員	204 205 206 207
	13:55	演習・研究協議「学校における校務のD X化に向けて～働き方改革と生成A Iの活用から展望する～」 教諭等、事務職員、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義「学校における校務D Xと生成A Iの活用」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、I C T端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのI C T端末を使用して受講する。）

令和8年度 義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座 実施要項

1 目的

プログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深め、実践力を身に付けることにより、学校段階を貫いたプログラミング教育の体制づくりに資する。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

45人

※ 実習については、小学校段階2コース（クラウド上で操作できるビジュアル型プログラミング言語やセンサの機能が付いた機材を活用することを想定）、中学校 技術・家庭科〔技術〕（内容D(2)、(3)を想定）2コースの計4コースのうち2コースを申込時に選択する。

4 期日及び会場

7月31日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：7月31日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	207
	9:40	演習・研究協議「教育の情報化と義務教育段階におけるプログラミング教育」 センター職員 実践発表「義務教育段階におけるプログラミング教育の実際」 教諭	
	11:00	実習「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 【小学校段階①】「Scratch」を使用した音楽科におけるプログラミング 教諭、センター職員 【小学校段階②】「ME SH」を使用した教科等横断的なプログラミング センター職員 【中学校段階①】無料のビジュアル型プログラミングアプリを使用した、 ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング 教諭、センター職員 【中学校段階②】ドローンを使用した計測・制御のプログラミング センター職員	204 205 206 207 図書情報室
	12:10	昼食	
	13:10	実習（午前中に同じ）	
	14:30	演習・研究協議「プログラミング教育の授業づくり」 教諭、センター職員	204 205 206 207 図書情報室
	15:45	リフレクション	図書情報室

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 演習・研究協議「プログラミング教育の授業づくり」に必要な資料（教科書等）
- (2) 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード、ICT端末（所内のゲストWi-Fiにつなぎ、講座で使用する。なお、持参不可の場合は、本センターのICT端末を使用して受講する。）

令和8年度 「不登校」を考える研修講座 実施要項

1 目的

「不登校」の現状を理解し、「不登校」に対する教員の支援力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和5年度不登校対応研修講座 ・令和6年度、令和7年度「不登校」を考える研修講座

3 定員

84人

4 期日及び会場

7月27日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日：講座前日まで

区分	研修内容・講師等
事前学習	「生徒指導提要」（文部科学省 令和4年12月）の「第10章 不登校」を読んでおく。

期日及び時間：7月27日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101 202 301 303 305 307 310 311
	9:45	講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 茨城大学 特任教授 生越 達	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・研究協議「社会的自立に向けた支援」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 思春期のこどもと保護者の心に寄り添う研修講座 実施要項

1 目的

思春期の特徴を理解し、児童生徒や保護者と信頼関係を築きながら、児童生徒の成長を支援するための資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和5年度思春期のこどもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル研修講座 ・令和6年度、令和7年度思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座

3 定員

72人

4 期日及び会場

10月21日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：10月21日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	201 202 302 303 305 306 312
	9:45	（公開講義 相談02） 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」 東京都立大学 准教授 勝又 陽太郎	
	11:45	昼食	
	12:45	講義・演習「こどもと保護者の心に寄り添うための関わり」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 教育相談（初級）研修講座 実施要項

1 目的
教育相談で用いる基本的なカウンセリングの理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	全日程の受講が可能者（ <u>全日程を受講した者が受講修了となる</u> ）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 ・本講座

3 定員

A班、B班 各56人 ※ 申込時に希望班を選択する。

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班	8月20日(木) 教育研修センター	12月16日(水) 教育研修センター
B班	9月11日(金) 教育研修センター	12月22日(火) 教育研修センター

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（初級編）」

期日及び時間：【A班】8月20日（木）【B班】9月11日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	【A・B班】 307
	9:45	（公開講義 相談01） 講義・演習「教育相談の基礎」 茨城大学 名誉教授・特任教授 正保 春彦	
	11:45	昼食	【A班】 301 304 305 306 307 308 311 【B班】 101 301 303 304 305 306 307
	12:45	講義・演習「個別面接の基礎1」 センター職員	
15:45	リフレクション		

※ 講義・演習「教育相談の基礎」は、公開講義とする。

期日及び時間：【A班】12月16日（水）【B班】12月22日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	【A班】 101 301 302 303 305 306 311
	9:40	講義・演習「個別面接の基礎2」 センター職員	
	12:00	昼食	【B班】 101 302 303 304 305 306 311
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等

令和8年度 教育相談（中級）研修講座 実施要項

- 1 目的
教育相談で用いる実践的なカウンセリングの理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能なる者（ <u>全日程を受講した者が受講修了となる</u> ） ・教育相談（初級）研修講座 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 イ 第2日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面接をし、その録音と記録（個別面接の記録）を持参することが可能な者
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和7年度教育相談（初級）研修講座 ・本講座

- 3 定員
36人

- 4 期日及び会場
第1日：7月22日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日：1月13日（水） 同上

- 5 日程
期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（中級編）」

期日及び時間：7月22日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「個別面接の実際」 教諭、センター職員	
	12:00	昼食	101 201 202 303 305 306 310 311 312
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：1月13日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「教育相談の実践」 筑波大学 教授 飯田 順子	
	11:45	昼食	101 201 202 303 305 306 310 311 312
	12:45	研究協議「個別面接の記録を基にした検討」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第1日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第2日：個別面接の記録5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和8年度 教育相談（上級）研修講座 実施要項

1 目的
教育相談で用いる応用的なカウンセリングの理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校、私立学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能なる者（ <u>全日程を受講した者が受講修了となる</u> ） ・教育相談（中級）研修講座 ・他の機関が主催した、教育相談（中級）研修講座と同等若しくはそれ以上の研修 イ 第3日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面接をし、その録音と記録（個別面接の記録）を持参することが可能な者
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和7年度教育相談（中級）研修講座 ・本講座

3 定員
24人

4 期日及び会場

第1日：7月2日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日：10月8日（木） 同上
第3日：1月15日（金） 同上

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（上級編）」

期日及び時間：7月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「教育相談の応用」 放送大学 教授 丸山 広人	
	11:45	昼食	201 202 301 303 306 312
	12:45	講義・演習「個別面接の実際1」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：10月8日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	101
	9:45	講義・演習「教育相談の発展」 茨城大学 教授 三輪 壽二	
	11:45	昼食	301 303 305 306 311 312
	12:45	演習「個別面接の実際2」 センター職員	
	14:10	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」 センター職員	
	15:45	リフレクション	

期日及び時間：1月15日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第3日	9:30	イントロダクション	101
	9:40	研究協議「個別面接の記録を基にした検討」 センター職員	201 202 301 303 305 306
	12:00	昼食	
	13:00	研究協議（午前に同じ）	
	15:40	閉講式	101

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、Plant に掲載する。Plant にログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第3日：個別面接の記録5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和8年度 自立活動指導力向上研修講座 実施要項

1 目的

自立活動の指導に関する講義及び演習等を通して、専門的な知識を深め、指導力の向上を図る。

2 対象(条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級又は通級指導教室を担当している者
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

120人

4 期日及び会場

第1日 8月18日(火) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
 第2日 12月16日(水) 同上

5 日程

期日及び時間：8月18日(火) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	307 308
	10:00	(公開講義 特支03) 講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 聖和学園短期大学 学長 三浦 光哉	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「自立活動の授業の実際」 教諭、センター職員	
	14:10	演習「自立活動におけるプロセスシートの作成～実態把握から指導の手立ての検討～」(分散会) 教諭、センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」は、公開講義とする。

期日及び時間：12月16日(水) 9時30分～16時(受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	304 307
	9:50	演習・研究協議「学びを支える自立活動の授業の実際～プロセスシートを生かして～」(分散会) センター職員	
	12:30	昼食	
	13:30	演習・研究協議「学びを支える自立活動の授業改善を目指して」(分散会) センター職員	
	15:50	リフレクション	

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム(以下「Plant」という。)に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 2日間共通

- ・特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 平成30年3月 文部科学省
- ・「小・中学校の先生のための自立活動の指導プロセス解説『すんなり自立活動』」及び「自立活動実践事例集」をPlantからダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して持参する。なお、どちらも事前によく読んでから講座に参加すること。

(2) 第2日

- ・第1日に作成したプロセスシートに実践内容まで記入したワークシート5部、実践で用いた教材教具等

令和8年度 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座 実施要項

1 目的

読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法に関する講義及び演習等を通して、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

140人

※ 演習・研究協議については、第1分科会（ひらがな・漢字の指導）、第2分科会（文・文章の指導）、第3分科会（アルファベット・英単語の指導）のうち二つの分科会を申込時に選択する。

4 期日及び会場

11月24日（火） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：11月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	オンライン
	10:00	（公開講義 特支05） 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 横浜国立大学 准教授 後藤 隆章	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」 教諭、センター職員	
	14:10	演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 教諭、センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 センター職員	
15:50	リフレクション		

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）第5日【選択研修】と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 通常の学級における特別支援教育研修講座 実施要項

1 目的

小・中・高等学校の通常の学級における授業、学級運営における特別な教育的支援を要する児童生徒への支援の在り方について、知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
条件	通常の学級を担任している者
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・本年度、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・過去に本講座を受講した者

3 定員

120人

4 期日及び会場

8月5日（水）教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：8月5日（水）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302 304
	10:00	（公開講義 特支02） 講義・演習「通常の学級における特別支援教育～インクルーシブ教育の視点を踏まえて～」 明星大学 教授 小貫 悟	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応」 教諭、センター職員	
	14:10	演習・研究協議「すべての児童生徒の学びを支えるためのアプローチ」 教諭、センター職員	
	15:45	リフレクション	

※ 講義・演習「通常の学級における特別支援教育～インクルーシブ教育の視点を踏まえて～」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和8年度 特別支援教育の専門性を高めるための研修講座 実施要項

- 1 目的
 特別支援教育に関する専門的な知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師 (非常勤除く)
条件	小・中：特別支援学級・通級指導教室を2年以上担当した者 高：通級指導教室を2年以上担当した者
対象外	・本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座 (特別支援学校) を受講する者 ・本年度、新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座を受講する者

- 3 定員
 70人

4 期日及び会場

第1日：7月22日 (水) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
 第2日：11月10日 (火) 同上

5 日程

期日及び時間：7月22日 (水) 9時30分～16時 (受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	9:30	イントロダクション	302
	10:00	(公開講義 特支01) 講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 株式会社RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS 代表 小嶋 悠紀	
	12:00	昼食	
	13:00	演習「障害のある児童生徒を理解するためのアセスメント」 センター職員	
	15:20	リフレクション	

期日及び時間：11月10日 (火) 9時30分～16時 (受付開始9時)

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	9:30	イントロダクション	307
	10:00	(公開講義 特支04) 講義・演習「応用行動分析学とは」 山梨大学 准教授 松下 浩之	
	12:00	昼食	
	13:00	実践発表・研究協議「応用行動分析に基づいた問題行動への新しいアプローチの仕方」 教諭、センター職員	
	15:50	リフレクション	

※ 講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」は、公開講義とする。

※ 講義・演習「応用行動分析学とは」は、公開講義とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、全国教員研修プラットフォーム (以下「Plant」という。) に掲載する。Plantにログイン後、受講する研修講座から資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(14) 公開講義

- ・研修講座や教育研究において実施する主に外部講師による講義を公開します。
- ・研修講座の受講ではなく、講義の聴講として参加いただけます。
- ・記載内容は令和8年1月31日現在の予定であり、今後、内容や講師の役職名等が変更となる場合がございます。
- ・募集に関する詳細は、令和8年4月下旬に改めてお知らせいたします。

教職教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
教職01	一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動		7月31日(金)	13:10～14:40
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井 伸彦	特別活動の最新の動向を向うとともに、全国各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践事例を基にご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 80
教職02	「自己を見つめ、考え、語る」道徳教育		9月16日(水)	9:40～11:10
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次	主体的・対話的で深い学びの視点からの道徳科の授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 100

教科教育に関する公開講義

教科01	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～		6月4日(木)	12:45～14:20
	京都大学 准教授 石井 英真	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	高 50
教科02	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～		6月22日(月)	9:30～11:00
	大妻女子大学 教授 權山 敏郎	教育振興基本計画が求める「ウェルビーイングの向上」を、国語科の学びとどう結びつけ、個別最適な学びや協働的な学びと連携させるかについて、具体的な実践事例を通して学びます。	対面	小・中・高 20
教科03	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～		6月24日(水)	10:30～12:00
	敬愛大学 教授 向後 秀明	教育振興基本計画が求める「ウェルビーイングの向上」を、外国語科の学びとどう結びつけ、個別最適な学びや協働的な学びと連携させるかについて、具体的な実践事例を通して学びます。	オンライン	小・中・高 20
教科04	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～		6月24日(水)	9:30～11:00
	玉川大学教職大学院 教授 久保田 善彦	教育振興基本計画が求める「ウェルビーイングの向上」を、理科の学びとどう結びつけ、個別最適な学びや協働的な学びと連携させるか、具体的な実践事例を通して学びます。	オンライン	小・中・高 50
教科05	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		6月26日(金)	9:45～11:45
	国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 白水 始	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	高 50
教科06	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～		6月29日(月)	10:30～12:00
	文部科学省初等中等教育局 視学官 志民 一成	教育振興基本計画が求める「ウェルビーイングの向上」を、音楽科の学びとどう結びつけ、個別最適な学びや協働的な学びと連携させるか、具体的な実践事例を通して学びます。	オンライン	小・中・高 20
教科07	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		7月1日(水)	9:45～11:45
	早稲田大学 教授 田中 博之	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	小 50
教科08	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～		7月2日(木)	12:45～14:05
	京都市総合教育センター 指導室長 東良 雅人	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	小 50
教科09	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		7月7日(火)	9:45～11:45
	文部科学省初等中等教育局 主任視学官 田村 学	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	中 50
教科10	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～		7月10日(金)	12:45～14:05
	青山学院大学 教授 益川 弘如	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	中 50

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
教科11	これからの社会を生きることもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育		7月22日(水)	10:30~12:00
	東京学芸大学 教授 西村 德行	学習指導要領の改訂を踏まえながら、生活や社会の中の造形や美術、美術文化との関わりについて全国各学校の実践事例を基にご講義いただきます。	対面	小・中・高・特 50
教科12	主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン		8月4日(火)	10:00~12:00
	文教大学 教授 藤森 裕治	生徒が探究的に学ぶ国語科の授業デザインについての講義・研究協議を通して、自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を目指します。	対面	中・高・特 30
教科13	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		8月19日(水)	10:00~12:00
	東京学芸大学 教授 中村 和弘	「主体的・対話的で深い学び」の視点から、国語科の授業づくりについてのご講義をいただき、新たな視点を得ることで、授業力の向上につなげます。	対面	小・特(小) 10
教科14	技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題		8月19日(水)	10:00~11:30
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 渡邊 茂一	技術・家庭科〔技術分野〕の現状と課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて理解を深め、授業力向上につなげます。	オンライン	中・特(中)・私(中) 50
教科15	「深い学び」を追究する数学科学習指導の在り方		9月15日(火)	9:45~11:45
	国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉	高等学校数学科における、「深い学び」を実現する授業づくりや授業改善についてご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 50
教科16	「深い学び」を追究する算数科学習指導の在り方		9月16日(水)	9:45~11:45
	千葉大学 教授 松尾 七重	小学校算数科における、「深い学び」を実現する授業づくりや授業改善についてご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 50
教科17	「深い学び」を追究する数学科学習指導の在り方		9月18日(金)	9:45~11:45
	文教大学 教授 永田 潤一郎	中学校数学科における、「深い学び」を実現する授業づくりや授業改善についてご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 50
教科18	国語科の授業づくりと評価の改善		9月18日(金)	9:30~12:00
	国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官 山内 裕介	中学校国語科における、指導と評価の一体化についてご講義をいただきます。国語科で育成を目指す資質・能力の育成に向けて、授業づくりや授業改善について学びます。	対面	中・特(中) 10
教科19	英語発信力向上を目指す授業づくり		10月8日(木)	10:00~11:30
	文部科学省初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室 教科調査官 鹿嶋 成子	言語活動を通して「話すこと」「書くこと」の発信力向上を目指す授業づくりについて、小中連携の視点を踏まえてご講義いただきます。	対面	小・中 20
教科20	探究的な学びのさらなる発展へ向けて		1月29日(金)	13:30~15:30
	一般社団法人こたえのない学校 代表理事 藤原 さと	全国の先進的な取組のご紹介を含めて、今、求められる探究的な学びの授業デザインに関してご講義いただきます。	対面	小・中・高・特 20
教科21	創造的な学びに着目した理科教育		2月2日(火)	13:30~15:30
	日本大学 教授 野内 頼一	新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するために、高校理科教員は何かができるのか。様々な事例を参考に、これからの理科教育の在り方を考えます。	オンライン	高 50
教科22	創造的思考力を育むアート		2月2日(火)	13:30~15:30
	武蔵野美術大学 准教授 石川 卓磨	近現代アートやメディア芸術の専門的知見から、芸術教育に関する研究や創造的思考力の基礎等、高校美術のメディア教育に通づる内容についてご講義いただきます。	オンライン	小・中・高・特 50
教科23	創造的な学びに着目した理科教育		2月12日(金)	14:00~15:30
	玉川大学教職大学院 教授 久保田 善彦	新しいテクノロジーを使った理科教育や、教育イノベーション、STEAM教育など、これからの新しい理科の学び等について広く知識を深める。	オンライン	中 50
教科24	豊かな情操を培う造形遊び		2月18日(木)	13:30~15:30
	茨城大学 准教授 小口 あや	図画工作科の造形遊びについての研究、実践事例を紹介していただきます。造形的な見方・考え方の視点で授業づくりについて学びます。	オンライン	小・中・高・特 50

情報教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
情報01	学校における校務DXと生成AIの活用		7月24日(金)	9:45～11:15
	札幌国際大学基盤教育部 准教授	「学校における生成AIを活用した校務DX」をテーマとし、情報リテラシーの重要性や働き方改革の視点も取り入れ、管理職や事務職員も対象とした内容でご講義をいただきます。	オンライン	小・中・高・特
	安井 政樹			100
情報02	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～		11月20日(金)	10:00～11:30
	一般社団法人メディア教育研究室 代表理事	これからの学校教育活動において、デジタル・シティズンシップ教育をどのように進めていくべきかを、実践事例を交えながら学びます。	オンライン	小・中・高・特
	今度 珠美			100

教育相談に関する公開講義

・教育相談に関する公開講義は、全てオンデマンド動画配信となります。指定された期間内に動画を視聴してください。

相談01	教育相談の基礎		9月11日(金)以降に通知	
	茨城大学 名誉教授・特任教授	臨床心理学、グループアプローチが専門であり、カウンセリングについて独自の見地から提案を行っている講師の講義・演習を通して、話を聴く態度や信頼関係を築く関わりについて理解を深めましょう。	オンデマンド	小・中・高・特
正保 春彦	制限なし			
相談02	思春期のこどもの心の危機と向き合う		10月21日(水)以降に通知	
	東京都立大学 准教授	令和6年、令和7年と同様、『子どものSOSに対するサポートガイドブック』の共著者でもあり、自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期のこどもの特徴と適切な関わり方について学びます。	オンデマンド	小・中・高・特
	勝又 陽太郎			制限なし
相談03	ネットいじめの現状と課題		11月4日(水)以降に通知	
	筑波大学 准教授	社会心理学、インターネット心理学が専門で、ネットいじめの心理的過程やネット上での行動内容の分析をテーマに研究を続けている講師の講義・演習を通して、ネットいじめの現状と課題について理解を深めましょう。	オンデマンド	小・中・高・特
	藤 桂			制限なし

特別支援教育に関する公開講義

特支01	グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～		7月22日(水)	10:00～12:00
	株式会社RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS 代表	発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断までには至っていない「グレーゾーン」の児童生徒がいます。グレーゾーンの児童生徒の二次障害を防ぐためには、どのような支援を行うとよいか一緒に考えます。	オンライン	小・中・高・特
小嶋 悠紀	100			
特支02	通常の学級における特別支援教育～インクルーシブ教育の視点を踏まえて～		8月5日(水)	10:00～12:00
	明星大学 教授	通常の学級の中にも、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍しています。インクルーシブ教育の視点から、すべての児童生徒が「わかる・できる」を実感できる授業づくりや多様なニーズに寄り添う支援について考えます。	オンライン	小・中・高・特
	小貫 悟			100
特支03	学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～		8月18日(火)	10:00～12:00
	聖和学園短期大学 学長	自立活動について、理論から具体的な指導の実践について学びます。児童生徒の困り事をどう捉え、どのように指導に生かすのか。困難さの改善・克服に向けた具体的な視点について考えていきます。日々の指導をアップデートし、指導力向上を目指します。	オンライン	小・中・高・特
	三浦 光哉			100
特支04	応用行動分析学とは		11月10日(火)	10:00～12:00
	山梨大学 准教授	「なぜ、その行動をするの？」応用行動分析学は、行動の背景にある目的を科学的に捉える手法です。児童生徒の「困った行動」の理由を分析し、どのように関われば望ましい行動が増えるのか、具体的な支援について学びます。	オンライン	小・中・高・特
	松下 浩之			100
特支05	読み書き困難のある児童生徒への指導		11月24日(火)	10:00～12:00
	横浜国立大学 准教授	知的な遅れがないにもかかわらず、読み書きに苦勞する子供たち。その背景にある要因は一人一人異なります。児童生徒の具体的な困難の実態から出発し、それぞれの特性に合わせた指導・支援の手立てについて理解を深めます。	オンライン	小・中・高・特
	後藤 隆章			50

(15) 特別研修

ア 長期研修（内地留学）

a 目的

長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。

b 実施期間及び研究分野

3か月：令和8年9月25日（金）から令和8年12月24日（木）まで

6か月：令和8年9月25日（金）から令和9年3月24日（水）まで

研究分野	実施期間
○各教科に関する研究 国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業	3か月
○小学校における外国語活動に関する研究	3か月
○総合的な学習（探究）の時間に関する研究	3か月
○生徒指導に関する研究	3か月
○教育の情報化（ICTを活用した授業研究、プログラミング教育、ネットワークの教育利用、情報モラルの指導、校務の情報化、事例研究）に関する研究	3か月、6か月
○道徳に関する研究	3か月
○特別活動に関する研究	3か月
○学級（ホームルーム）経営に関する研究	3か月
○教育相談（人間関係づくり、個別対応・集団対応の在り方等）に関する研究	3か月
○特別支援教育（障害のあるこどもの教育相談、特別支援教育に係る調査研究及び教材開発等）に関する研究	3か月

イ スキルアップ研修

a 目的

指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は4月～9月の6か月間とし、通所研修は、計6回とする。

c 研修方法

研修は、校内研修を基本とし、教育研修センターへの通所研修を月1回実施する。

ウ 指導改善研修

a 目的

学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は原則として1年間、研修の開始時期は原則として4月とする。

c 研修方法

教育研修センターで実施する。ただし、研修の内容等によっては、所属校、所属校以外の学校及び学校以外の教育機関等においても実施する。

2 教育研究に関する事業

(1) 目的

学校との協力による実践的研究から効果的な指導の在り方を追究し、研究成果の提供等を通して学校の教育活動を支援する。

(2) 研究事業

● 研究期間：令和6年4月～令和8年3月（令和8年度研究発表会）

研究分野	教育の情報化に関する研究
研究主題	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する研究
研究の内容	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する上での課題把握と、それらを解決する方策について構想する。そして、その構想に基づき、新しい時代における子供たちの学びのスタイルの実践を提案し、1人1台端末の効果的な活用について探究する。
研究方法	1年次には、研究協力員を委嘱して研究協議会4回と授業研究会1回を開催し、子供たちの学びのスタイルや新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する実態調査を行い、課題を把握する。そして、その調査結果を踏まえ、新しい時代における子供たちの学びのスタイルについて検討し、授業研究で検証する。2年次には、新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の効果的な活用について検証する。さらに、本研究の成果をまとめるとともに、その成果を広く公表する。

● 研究期間：令和7年4月～令和9年3月（令和9年度研究発表会）

研究分野	教育相談に関する研究
研究主題	安心して学べる学校
研究の内容	こども基本法や子どもの権利条約に基づき、児童生徒の声を聴き、児童生徒の声を基にした実践を通して、誰もが安心して学べる学校に向かう方法について提案する。
研究方法	年間3回の研究協議会を設定し、有識者からの指導・助言を受ける。 担当指導主事による年間3回程度の学校訪問を行い、研究協力校との連携を図りながら研究を推進する。

● 研究期間：令和7年4月～令和10年3月（令和9・10年度研究発表会）

研究分野	教科に関する研究
研究主題	ウェルビーイングの向上に資する児童生徒の学びの在り方 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～
研究の内容	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じ、ウェルビーイングの向上に資する児童生徒の学びの在り方を追究する。
研究方法	1年次は、研究協議会を5回実施し、全教科でテーマに関する理論研究を行う。2・3年次は全教科をA班（令和8年度）、B班（令和9年度）に分け、研究主題を踏まえ教科ごとに理論研究を行うとともに研究協力員を委嘱して年5回の研究協議会を開催し、授業研究を行う。

● 研究期間：令和8年4月～令和10年3月（令和10年度研究発表会）

研究分野	教職に関する研究
研究主題	組織としての自律性を高めるマネジメントの在り方 ～ミドル層を軸とした組織づくりを通して（仮）～
研究の内容	学校内で中堅の立場にある教員（ミドル層）がその核となるのではないかという仮説の下、ミドル層が教員一人一人の「主体性」をいかに引き出し、どのように組織全体の活力を高めているかを多角的に検証する。
研究方法	(1) 理論研究を踏まえ、事例を通じた実践的研究を行う。 (2) 有識者から指導・助言を受けながら、研究協力校と茨城県教育研修センター教職教育課指導主事で、組織としての自律性を高めるマネジメントの在り方について研究する。 (3) 教育研修センターにて、年間4回の研究協議会を設定し、組織としての自律性を高めるマネジメントの在り方について協議する。うち2回は、有識者からの指導・助言を受ける。 (4) 担当指導主事が、年間4回程度の学校訪問を行い、授業参観、研究協議等における指導・助言を行う。

● 研究期間：令和8年4月～令和10年3月（令和10年度研究発表会）

研究分野	特別支援教育に関する研究
研究主題	通常の学級における特別支援教育の在り方
研究の内容	公立小学校・中学校・高等学校の研究協力校を対象に、自校の強みを生かした校内支援体制づくりを通して通常の学級における特別支援教育の在り方を追究する。
研究方法	有識者の指導・助言を受けながら、研究協力校と教育研修センター特別支援教育課指導主事とともに、自校の課題を踏まえた組織的な支援体制づくりに取り組む。 研究協力校には複数の研究協力員を置く。研究協力員は教育研修センターにおいて実施する、年間4回の研究協議会に参加し、組織的な支援体制づくりの進め方等について協議する。

(3) 教育研修センター研究発表会

趣 旨	茨城県教育研修センターにおける研究成果を全県の教育関係者に向けて発表し、その理解と普及を図り、本県教育の向上に資する。
主催・会場	茨城県教育研修センター
期 日	令和8年8月6日（木）
発表内容	教育の情報化に関する研究
参加対象	県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員、県・市町村教育委員会の職員、就学前教育を担当する教職員、県内大学の大学生・大学院生及び全国の教育関係者

3 研修支援に関する事業

担当：教育相談課
直通：0296-78-3219

- (1) 目的 課題解決を必要とする学校等に対し、指導主事等が訪問し助言を行うことにより、課題の解決と学校等の自走する校内研修体制づくりに寄与する。
- (2) 形態 研究授業、研究協議、演習等（オンライン開催を含む）
- (3) 対象 学校、複数の学校のグループ、市町村教育委員会（以下「学校等」という。）
- (4) 訪問期間 I期：令和8年6月1日(月) から令和9年1月29日(金) まで
II期：令和8年10月1日(木) から令和9年1月29日(金) まで
- (5) 訪問者 教育研修センター指導主事、参与、主査、茨城大学教職大学院担当教員
※（10）研修支援の分野における21の学校運営については、原則として教育研修センター指導主事等と茨城大学教職大学院担当教員の双方が訪問する。
- (6) 応募要件 以下のいずれの要件も満たす学校等からの申し込みを受け付ける。
- 研修体制**
ア 対象分野について、年間の研修計画及びOJT等の体制が構築されている。
イ 校内研修会の形態を基本とし、参加人数は場合によりその都度少なくとも5人以上とする。
ウ 研修支援の形態は、研究授業、研究協議、演習等（オンライン開催を含む）とし、講義のみの研修は対象としない。
エ 申込みをしようとする分野において、国・県・市町村の研究推進校や教育研究会等の研究団体の研究指定校等に該当しない。
- 訪問の回数等**
ア 市町村立学校は、各期1分野の申込みができる。ただし、県立学校及び市町村教育委員会はこの限りではない。
イ 1分野での訪問は、各期2回を上限とする。そのうち1回においては研究授業等を実施する。
ウ 同一学校への訪問は、各期2回を上限とする。
- (7) 手続き等 **申込み**
ア 支援を希望する学校等は、様式1-1「研修計画書」を作成する。
※ 市町村単位等を含め、複数校での合同研修も可能とする。合同研修を行う場合は、代表する学校が申込みを行う。
イ 市町村立学校は、様式1-1を市町村教育委員会へ提出する。
ウ 県立学校及び市町村教育委員会は、すべての申し込みについて優先順位をつける。
エ 県立学校及び市町村教育委員会は、次のGoogleフォームに必要事項を入力し、様式1-1をアップロードした上で教育研修センターへ申し込む。
申込期限は、令和8年4月22日（水）〔必着〕とする。
I期申込用URL：<https://forms.gle/kvnc8x7FSmfRTL4A>
※ II期については、令和8年7月末日までに教育研修センターWebサイトに掲載する。
- 訪問校等選定と決定後の手続き**
ア 教育研修センターは、申込みフォームや様式1-1の記載内容を基に審査を行い、訪問する学校等を決定する。
イ 教育研修センターは、県立学校又は市町村教育委員会に、I期は令和8年5月15日まで、II期は令和8年9月末日までに通知する。

- ウ 通知後、教育研修センターは、学校等と支援内容について調整を行い、実施日時を決定する。
- エ 学校等は、指導案等の資料を実施日の2週間前までに教育研修センターに提出する。
- オ (10) 研修支援の分野において、1～10の分野を申し込む市町村立学校は、学力向上プランを実施日の2週間前までに教育研修センターに提出する。

事後アンケート

学校等は、研修支援を実施した後、次のGoogleフォームからアンケートに回答する。回答期限は、2週間とする。

アンケートURL：<https://forms.gle/3399Sku93WpXvTa28>

成果検証

学校等は、様式1-2「研修報告書」を記載し、既に提出済みの様式1-1に連結させて、令和9年2月末日までに、次のGoogleフォームから教育研修センターへ提出する。

提出用URL：<https://forms.gle/T15u5E9cEJEMjjsQ9>

- (8) 訪問者の旅費 教育研修センターが負担する。(予算の範囲内で支援を行う)
- (9) その他 申込数の状況や研修計画書の内容等により要請に応じられない場合もある。

(10) 研修支援の分野・研修テーマ (例)

学校及び市町村教育委員会は、1～21の各分野から選択して申し込んでください。1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課(0296-78-3219)までお問い合わせください。

番号	分野	研修テーマ (例)
1	国語	根拠を明確にして自分の考えを表現する力を育てる授業づくり
2	社会 地理歴史 公民	習得した知識及び技能を活用し、多角的に考える力(多面的・多角的に考察する力)を育成する授業づくり
3	算数 数学	数学的な思考力、判断力、表現力等を育む授業づくり
4	理科	問題解決の力、科学的に探究する力を育てる授業づくり
5	生活	気付きの質を高め、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する授業づくり
6	音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
7	図画工作 美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
8	家庭 技術・家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業づくり
9	体育 保健体育	豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指した授業づくり
10	外国語(英語) ※外国語活動を含む	言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくり
11	道徳	自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業づくり
12	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	探究的な見方・考え方を働かせた、横断的・総合的な学習過程の充実
13	特別活動	なすことによって学ぶ特別活動の充実
14	教育の情報化	情報活用能力の育成(プログラミング教育、デジタル・シティズンシップ教育を含む)、ICTを活用した授業づくり、校務の情報化のためのICT活用

番号	分野	研修テーマ (例)
15	食育	各教科等における食に関する指導の工夫
16	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実
17	人権教育	一人一人を大切にする人権教育の進め方
18	生徒支援	生徒指導・教育相談に関する資質・能力の向上
19	特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
20	学校保健	健康づくり推進を目指す学校保健の在り方
21	学校運営	学校組織マネジメント等の工夫、改善
22	その他	※ 1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課（0296-78-3219）までお問い合わせください。

4 教育相談に関する事業

(1) 目的

電話相談及び来所相談の充実を図り、不登校やいじめ、非行及び怠学、発達遅れ等の悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に適切に対応する。

(2) こどもの教育相談

ア 相談内容

- ・不登校に関する事
- ・いじめに関する事
- ・非行や怠学に関する事
- ・子育てやしつけに関する事
- ・進路に関する事
- ・その他必要と認める事

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前8時30分から午後6時まで)
土曜日(午前8時30分から午後5時まで)
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-71-3870

来所相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時から午後4時30分まで)
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-3219(教育相談課)
※ 電話予約の上、来所日時を決定

FAXでの相談

- ・受付日(時間) : 毎日(24時間)
- ・FAX番号 : 0296-71-3870

メールでの相談

- ・受付日(時間) : 毎日(24時間)
- ・メールアドレス : 7830@center.ibk.ed.jp

(3) 発達が気になるこどもの教育相談

ア 相談内容

- ・発達が気になるこどもに関する事
- ・学習のつまずきや遅れに関する悩み
- ・その他、身体的・精神的な悩みに関する事
- ・心理的な問題で悩んでいるこどもに関する事
- ・就学や進路に関する事

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時30分から午後4時30分まで)
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-2777(特別支援教育課)
※ 電話相談に基づき、必要に応じて来所相談を行う

来所相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時30分から午後4時30分まで)
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-2777(特別支援教育課)
※ 電話予約の上、来所日時を決定

(4) 専門医による心の健康相談

ア 相談内容

- ・専門医による指導・助言が必要と思われる相談

イ 対象

- ・来所相談の中で専門医による指導・助言が必要と思われる対象者

ウ 相談方法

- ・来所相談

(5) 外部専門家による教育相談

ア 相談内容

- ・発達障害や情緒障害等に関する諸問題
- ・言語障害等に関する諸問題

イ 対象

- ・発達が気になるこどもの教育相談において外部専門家による指導及び助言が必要と認められる幼児、児童及び生徒並びにその保護者
- ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒と関わる機会のある教職員

ウ 相談方法

- ・来所相談
- ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）

※ 電話予約の上、来所日時を決定

5 教育情報の収集及び提供に関する事業

本教育研修センターでは、教育研修センター内の図書情報室に資料等を収集するとともに、教材データベースに登録し、これを公開することにより教育に役立つ情報の提供に努めている。

(1) 目的

教育に関する情報を収集し、教育機関・学校等に提供する。

(2) 教育情報の種別と提供方法

種別	内容・提供方法
教育文献	[内 容] 研究指定校研究報告書、研究紀要等
	[提供方法] 図書情報室で閲覧、教育研修センター内貸出
学習指導案	[内 容] 県内の教員から提供された学習指導案
	[提供方法] 茨城県教育情報ネットワークの教材データベースを利用して提供 教育研修センターのWebページで一部を閲覧可能
教材・教具・素材	[内 容] 県内の教員や教育研修センターの指導主事が作成した教材・教具・素材
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研究成果	[内 容] 教育研究に関する研究報告書等
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研修資料等	[内 容] 研修講座の資料等
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能

(3) 教材データベースへのアクセス方法

茨城県教育情報ネットワーク（IEIネット）のWebページ (<https://portal.ibk.ed.jp/material-db/list>) にアクセスし、各画面に表示される説明に従って操作することで利用できる。

(4) 図書情報室の利用時間

平日 9:00～17:00（教育研修センターの休所日を除く）

6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務

(1) 業務内容

- ア 教育情報ネットワークシステムの運用、保守、管理
- イ 教育情報ネットワーク利用者のアカウント管理
- ウ 教育の情報化に係る情報提供、利用支援
- エ 各教育機関からの技術的相談窓口、技術支援

(2) 提供する主なサービス

- ア 回線サービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- イ フィルタリングサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- ウ ポータルサイト
 - ・お知らせ、文書通知
 - ・教材データベース
 - ・教育用コンテンツ
- エ Google Workspace for Education
(Gmail、Meet、カレンダー、ドライブ、Classroom、YouTube、Gemini、NotebookLM、組織アドレス帳)
- オ Webサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- カ 県立学校合格発表サービス

7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和8年度 いばらき輝く教師塾Ⅰ期 実施要項

1 目的

教職に関心のある大学・短期大学生、高校生等に対し、教員の魅力を伝えるとともに、教員に求められる人間性や専門性について、実践的、協働的に学ぶ研修を行うことにより、教員志望への意欲を高める。

2 対象（条件等）

大学、短期大学、大学院等及び高等学校に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

3 定員

220人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	8月21日（金）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	【A班】9月9日（水） 【B班】9月11日（金）	笠間市内の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

5 日程

期日及び時間：8月21日（金） 10時00分～15時40分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場	
第1日	10:00	イントロダクション	講堂	
	10:30	グループワーク「教員になりたいあなたの夢を応援します」 茨城大学教職大学院生、センター職員		
	11:30	昼食		
	12:30	講義・演習「教員の仕事の実際」 センター職員		
	13:00	グループワーク「教員の魅力を語り合おう」 教諭、センター職員		別途連絡
	14:30	グループワーク「主体的に体験研修に参加するために」 センター職員		
	15:00	第2日ガイダンス（担当職員との顔合わせ、諸連絡等） センター職員		
	15:30	リフレクション		

期日及び時間：【A班】9月9日（水）【B班】9月11日（金） 8時00分～15時40分

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	8:00	移動 友部駅 → 各学校	別途連絡
	9:00	体験研修「児童生徒、教職員との交流」 笠間市内の公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校	
		昼食（訪問する学校による）	
	15:00	リフレクション（各学校）	
	15:40	移動 各学校 → 友部駅	

6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

令和8年度 いばらき輝く教師塾Ⅱ期 実施要項

1 目的

県内の公立学校教員を目指す者に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたかわり、授業におけるICT活用、および教科の授業づくりについて、教育現場で求められる実践的なスキルや考え方に触れ、教員になって必要となる指導力の向上を目指す。

2 対象（条件等）

大学1年生から3年生の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

3 定員

240人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月27日（日）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410
第2日	10月18日（日）	

5 日程

期日及び時間：9月27日（日） 10時00分～15時40分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	10:00	イントロダクション	別途連絡
	10:10	演習・ワークショップ「一人一人の教育的ニーズに応じたかわり」 センター職員	
	12:15	昼食	
	13:15	講義、ワークショップ「授業におけるICT活用」 センター職員	
	15:30	リフレクション、諸連絡	

期日及び時間：10月18日（日） 10時00分～15時40分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	10:00	イントロダクション	別途連絡
	10:10	講義・演習「一人一人の子供が主体的に取り組む授業づくり」 センター職員	
	11:10	ワークショップ「一人一人の子供が主体的に取り組む授業づくり」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	ワークショップ「一人一人の子供が主体的に取り組む授業づくり」 センター職員	
	15:20	リフレクション、諸連絡	

6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

令和8年度 いばらき輝く教師塾Ⅲ期 実施要項

1 目的

県内の公立学校教員採用予定者に対し、教職に必要な素養を養うとともに、実務に即したスキルや考え方を学ぶことを通して専門性を高め、4月からの教員生活への見通しをもつ。

2 対象（条件等）

大学生及び大学院生のうち、県内の公立学校新規採用予定者。

3 定員

240人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	11月15日（日）	オンライン
第2日	11月29日（日）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410

5 日程

期日及び時間：11月15日（日） 10時00分～15時40分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第1日	10:00	イントロダクション	オンライン
	10:10	講義「教員の使命とは～社会人として～」 センター職員	
	11:10	講義「福利厚生について」 本庁講師	
	12:00	昼食	
	13:00	講義・演習「接遇について」 センター職員	
	14:10	座談会 茨城大学教職大学院生、センター職員	
	15:30	リフレクション、諸連絡	

期日及び時間：11月29日（日） 10時00分～15時40分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等	会場
第2日	10:00	イントロダクション	別途連絡
	10:10	ワークショップ「よりよい人間関係を築くために大切にしたいこと」 センター職員	
	12:00	昼食	
	13:00	ワークショップ「魅力ある学級づくり」 センター職員	
	15:30	リフレクション、諸連絡	

6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

8 その他の事業

(1) 茨城大学教職大学院との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城大学教職大学院が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(2) 常磐大学との連携

- ・目的

教育研修センターと常磐大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(3) 茨城キリスト教大学との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城キリスト教大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。



茨城県教育研修センター

〒309-1722

茨城県笠間市平町1410

TEL : 0296-78-2121 (代表)

FAX : 0296-78-2122

URL : <https://www.center.ibk.ed.jp/>



各課直通

- ・企画管理課企画係…………… (0296) 78-3629
- ・教職教育課…………… (0296) 78-3212
- ・教科教育課…………… (0296) 78-3213
- ・情報教育課…………… (0296) 78-3211
- ・教育相談課…………… (0296) 78-3219
- ・特別支援教育課…………… (0296) 78-4437
- ・教育情報ネットワーク管理室…………… (0296) 78-3003